

教育・研究年報

2024年



徳島文理大学短期大学部

令和7年5月1日

短期大学部年報の刊行にあたって

短期大学部長 岡部 千鶴

本年報では短期大学部教員の令和6年度の活動を研究、教育、学外及び学内活動の3つの項目別にまとめている。

開学以来、短期大学部（以下、「本学」）では、「自立協同」の建学精神に基づき、一人ひとりの学生を大切にすきめ細かい指導を行っている。この建学精神のもと、「高度の知識技術を研究教授し、人格の陶冶を図り、文化の創造と発展に貢献する人材の育成」を教育理念に掲げ、それを具現化するため、以下の二つの観点から教育課程を編成している。

その一つは、社会的常識や幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力の豊かな人材を育てること（教養教育の充実）である。もう一つは、専門的職業能力を養い、実社会に必要な資格取得やスキルを修得すること（キャリア教育の実践）である。

修業年限が2年間という限られた期間に学生への教育効果を高め学習成果の獲得を達成するため、本学では様々な取り組みを実践している。

まず入学前教育としてガイダンスを行うとともにe-ラーニングを利用した課題を示し、入学後の学習に対する素地の形成と導入を行っている。入学後の「新入生アンケート」では学生の目的意識等を質問し、「ニーズ」把握を行っている。在学時には「授業調査」「学習状況調査」「個別面談」を実施している。本学は社会での即戦力として活躍できる人材の育成を目指しており、各種調査結果を速やかに教育内容に反映させ改善するべく、教員は日々研鑽を積んでいる。

卒業時は「卒業生に対する満足度調査」を実施し、教育内容の見直しに活用している。さらに就職先企業を対象にした調査を行い、本学の教育内容に関する外部評価を真摯に受け止め、改善につなげている。

本年報は「自己点検・自己評価」として、教育の内部質保証に関わるPDCAサイクル実践に相当する。教育内容がさらに充実し、教員の資質向上に資するものとなることを期待している。

目 次

§ 短期大学部年報の刊行にあたって

頁

* 生活科学科

岡 部	千	鶴	・	1
藤 本	和	代	・	4
松 下	純	子	・	13
松 村	晃	子	・	21
新 居	佳	孝	・	26
佐 賀	啓	子	・	34
儀 宝		修	・	39
近 藤		幸	・	41

* 保 育 科

児 嶋	輝	美	・	46
釘 宮	貴	子	・	53
田 尾	公	生	・	66
島 田	俊	朗	・	69
山 越		明	・	72
船 本	孝	子	・	76
下 内	新	吾	・	80
森 万	里	子	・	82
木 内		聖	・	87

* 言語コミュニケーション学科

堀 口	誠	信	・	94
早 雲	洋	一	・	100
井 内	孝	明	・	102
小 川	陽	子	・	104
金 澤	朋	紀	・	107
リチャード ジャスティン デッカー			・	110

* 音 楽 科

原 井	俊	典	・	112
熊 谷	公	博	・	115
石 井	恭	二	・	118
井 村	幸	子	・	120

* 商 科

則 包	光	徳	・	123
森 本	卓	治	・	126
山 村		晃	・	129
佐 尾	秀	樹	・	131
岡 山	武	由	・	133
川 本	映	里	・	135

* 一般総合科目

青 山	佳	裕	・	139
永 本	智	富	・	141
金 金	徑	希	・	144

○ 全学授業アンケート	・	148
○ 在学生対象・学修状況アンケート	・	152
○ 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	・	158

氏 名	岡 部 千 鶴 (お か べ ち づ る)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教 授 (学部長・生活科学科長)			
最終学歴	お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻 (家政学修士)			
着任の年月	令和 3 年 4 月 1 日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学人間生活学部人間生活学科			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 1.『持続可能な 社会をつくる生活 経営学』	共	令和 2 年 (2020年) 9 月	朝倉書店	生活経営学では、生活上の諸問題に 対し、個人や家庭、社会や環境、そ してそれらの相互的関りについてア プローチしている。本書では、生活 設計、家計、生活時間、家事労働、 消費者問題、家族法、ジェンダー問 題等について、持続可能な社会の実 現という視点から論じたものである。 岡部は「第 2 部 生活の組織と地域 第 4 章 家族に関わる法律 4.1 民 法における家族に関わる規程」を担 当した。
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔大学院関係〕 ①前期担当授業科目名等 「家族関係学特論Ⅰ」不開講 ②後期担当授業科目名等 「家族関係学特論Ⅱ」不開講 〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「家庭経営学」(人間生活 1 年、食物栄養 1 年、建築デザイン 1 ～ 4 年。計 44 名。 月曜日 1 講時)			

授 業	②後期担当授業科目名等 「消費生活論」(人間生活 2 年、食物栄養 1 年、建築 2 ～ 4 年、総政 4 年、計43名。水曜 2 講時) 「家族関係学」(人間生活 3 年、食物栄養 2 年、心理 3 年、計34名。木曜 4 講時) 「家庭支援論」(児童 3 ～ 4 年、人間生活 3 年 計34名。金曜 1 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「生活科学論」(生活科学科生活科学専攻 1 年生。5 名。金曜 2 講時) 「総合科目 D (スイーツ開発)」(生活科学科生活科学専攻 1 年生。メディアデザイン学科 4 年 計 8 名。金曜 5 講時) ②後期担当授業科目名 「家庭支援論」(保育 2 年。18名。水曜 4 講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (3) コマ} \\ \text{後期 (4) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (7) コマ 〔その他の指導状況〕 なし 〔大学院等の論文の指導〕 なし
学生指導	1. 単位不足学生への指導 2. レポート作成に関する個別指導 3. 就職に対する助言・指導
活 動	
学外活動	〔公的機関の活動〕 徳島県「職業能力開発審議会」委員 徳島県「大規模小売店舗立地審議会」委員 徳島県「消費生活審議会」委員 徳島県「徳島地方労働審議会」委員・副会長 徳島県「生活環境審議会」委員 徳島県「とくしま消費者政策研究・高等教育機関ネットワーク」会議委員 福岡県「久留米市伝統的町並み保存審議会」委員 久留米ユニセフ協会 評議員 〔非常勤〕 八女筑後看護専門学校へ出講。担当科目「文化と生活」 (9 ～ 12 月、集中講義) 〔全出講回数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (4) 回} \\ \text{後期 (4) 回} \end{array} \right\}$ 計 (8) コマ 〔学会関連〕 日本家政学会家族関係学部会役員 日本家政学会中国四国支部機関幹事 〔その他の活動〕 ブロック別進学説明会等

学外活動	短期大学認証評価 ALO 受審 令和6年8月26日
学内活動	①短期大学部学部長、生活科学科長 ②認証評価ALO ③各種委員会委員

氏 名	藤 本 和賀代 （ ふじもと わかよ ）			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教授			
最終学歴	奈良女子大学大学院 博士（生活工学）			
着任の年月	平成26年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	奈良県立高等技術専門校 教員			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 ① 査読論文 1 「日常的に健康を見守るセンシングウェア及び支援技術の研究」 学長賞受賞	単	令和 2 年 3 月	お茶の水女子大学・奈良女子大学生生活工学共同専攻博士後期課程学位論文	日常的に誰もが自分で健康管理をできることが求められているが、今の生体計測技術は、時間や場所に大きく拘束されるうえ、窮屈や違和感といったストレスも伴う。そこで本研究では、健康見守り支援技術の開発に取り組んだ。これは、各種のウェアラブル／ユビキタスなセンサを用いて、日常生活の中で簡易に生体／環境情報をモニタリングすることを可能にし、ユーザの健康状況を主治医や家族、その他関係者と共有すると共に、本人にも分かりやすくフィードバックすることができる。本論文では、衣服とセンサを一体化した常時呼吸計測可能なセンシングウェアと、そこから取得した健康管理に必要な情報やアドバイスを言葉で伝える対話型ロボット（IoTロボットナース）の開発に取り組んだ結果について報告する。
2 「プリントドエレクトロニクスを用いた呼吸周期を計測可能なセンシングウェアの開発」 原著論文 第21回ヒューマンインタフェース学会論文賞受賞	共	令和 2 年 5 月	ヒューマンインタフェース学会論文誌 第22巻第 2 号	プリントドエレクトロニクスの技術を用いて呼吸器計測可能なセンシングウェアの開発に取り組んだ。ウェアに印刷した導電性ゴムが呼吸動作により伸長しそれを電圧変化として捉え呼吸周期を計測する。常時計測を可能にするためウェアは着用者のストレスにならないよう肌触りや柔軟性に拘った。そして、より正確に呼吸情報を捉えるためのセンサ印刷位置の検討も行った。評価実験では呼吸器専門医の指導の下、医療用に用いられる携帯型呼吸計測機（鼻フローカニューラ）とセンシングウェアを装着して同時計測し、医

3 「プリンテッドエレクトロニクスを用いた身体運動中の関節角度計測のためのセンシングサポータの開発」 原著論文	共	令和3年1月	ヒューマンインタフェース学会論文誌 第22巻第4号	療機器と比較しても遜色なく呼吸周期計測が可能であり、さらに鼻フローカニューラでも見分けがつかなかった奇異性呼吸など睡眠時無呼吸症候群の判定に必要なデータが取得可能な事を示した。 藤本和賀代、川治和奏、本田麻由美、安在絵美、山内基雄、才脇直樹
② 研究紀要 1 「プリント柄を活かしたカラードレスのデザイン」	単	令和3年3月	徳島文理大学研究紀要第101号	本研究において、自然でより快適な状況で体の動きを監視するために、伸縮性があり布に印刷可能なセンサにより構成されたセンシングサポータの開発を行った。このセンサは、最大100%まで伸ばしても安定して電気抵抗がゆるやかに変化し、従来の印刷可能なセンサよりも高い伸縮性を示した。新しいデバイスの安定動作を確認するために、肘の伸展および屈曲中の関節角度をカメラベースの測定システムと比較した結果、両デバイスの波形間の相関係数は $r=0.88\pm0.04$ でした。さらに、伸展および屈曲サイクルは、 $80.6\pm34.0\%$ の確率でピークカウントアルゴリズムによってカウントすることができた。一方、二乗平均平方根誤差（RMSE）は、低速運動と高速運動でそれぞれ 21.2 ± 5.7 度と 45.4 ± 17.4 度で示した。特に、RMSEは最大屈曲付近で増加したが、日常の身体活動の目標範囲で良好に機能した。 安在絵美、川治和奏、藤本和賀代、本田麻由美、才脇直樹
2 「徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り	共	令和5年3月	徳島文理大学研究紀要第105号	プリント柄を最大限に活かしたドレス制作に取り組んだ。一般的にプリント柄は刺繍や模様織りに比べ安価なイメージが強いが、それを一新するような、上品で、豪華な印象まで感じられるカラードレスに仕上げることを目的とした。そのため、プリント柄をアピールできるようドレスの中で占める面積の大きいスカート部分に使用した。また、スカートの派手さに負けないよう、黒地のビステュはケミカルレースやラインストーンで飾った。 本学では2016年から、徳島県及び徳島大学と連携してボランティアパスポート制度を導入し、一定の講義と活動時間の条件を満たすことによっ

組みについて —遠隔授業による ボランティア活動 推進の試み—				て「総合科目 A（ボランティア）」 として単位を認定している。しか し、2020年はコロナ禍によって授業 を開講することができず、学生の活 動も停滞した。そこで2021年度は感 染予防対策と学生の受講の利便性を 考慮して、グーグル・クラスルーム とZoomを用いて遠隔授業を行った。 本研究は受講者に対するアンケート 調査によってその成果を検証すると ともに、ボランティアパスポートの 意義や今後の課題について考察する ものである。 児嶋輝美・島田俊朗・藤本和賀代・ 松下純子・則包光徳・堀口誠信
3 「ファッショ ン分野における地 域貢献の取り組み —サステナブル ファッションショー 参加より—	単	令和5年9月	徳島文理大学研究紀 要第106号	この度、当専攻の総合実習授業にお いても地域貢献活動に取り組んだ。 活動内容としては徳島県が主催する 「とくしまSDGsシンポジウム2022」 において県内の企業や他学校と連携 しサステナブルファッションショー 行うことである。学生は古着のリメ イクを自分達で行いそれらを着用し サステナブルファッションショーに 出演した。そして多くのことを感じ たようである。先ず、興味の無かつ たサステナブルファッションに興味 を持った。リメイクは簡単では無 かったが面白さを学んだ。発想力・ 技術力の向上に繋がった。服を大切 に思うようになったなど、アンケー ト調査より確認できた。そして、地 域貢献活動は、学生を学外へ連れだ す絶好の機会となった。また多くの 制約の中、いままでの被服製作とは 異なった視点からファッションにつ いて考えるようになった。
4 「後期高齢女 性の熱中症対策に 有効なブラウスデ ザインの検討」	単	令和6年3月	徳島文理大学研究紀 要第107号	熱中症による死亡率は80代女性が最 も多く、また熱中症の発生場所は圧 倒的に住居内が多い。そこで、高齢 女性が日常的に着用する衣服で多少 なりとも改善できないか検討を行っ た。 夏用衣服の選び方としては通気性な どの機能面が最重要であるが、女性 にとってデザインなど好みも大切な 要素である。そこで機能と嗜好の両 面から検討を行った。 結果、機能面では衣服内の湿度が快 適性に大きく影響しており、日本な ど高温多湿の中では袖はより短い方 が適している事が分かった。しか し、高齢者がこだわるデザインは、 ①袖無しを避ける、②襟元は開き過

5 「寒さ対策に効果的な冬物衣服の着用法について―衣服内気候の計測結果より―」	単	令和6年9月	徳島文理大学研究紀要第108号	ぎない、③着丈はヒップラインが隠れるなど機能面と嗜好面では相反する結果となった。 高齢者にとって夏の暑さより冬の寒さの方が健康に対するダメージが大きいと言われている。実際、冬はヒートショックによる心臓疾患・脳血管疾患をはじめ、さまざまな病気が増える時期である。そのため高齢者は厚着をする傾向にあるが、ただでさえ筋肉がこわばり動きにくくなる上に、厚着をすれば行動が制限され怪我のリスクを増大させてしまう。冬を快適に暮らすためには、ただ単に厚着をするのではなく効率良く重ね着をすることが重要である。そこで今回、体の一部のみを厚着した時の平均衣服内温度を測定し、どの部分を厚着するのが最も効果的かを調べた。結果、膝下を厚着した時が最も平均衣服内温度が上昇し、保温に効果的であることが分かった。
〔発表〕 1 「センシングウェアによる睡眠時無呼吸症候群検出可能性の検討」	共	令和2年6月	日本繊維製品消費科学学会2020年年大会（於：武庫川女子大学）リモート発表	最近、スマートテキスタイルの応用例として、心拍や運動量などの生体情報を日常的に計測し、健康管理に役立てることができる簡易型のシステムが注目されている。本研究では就寝中、もしくは安静時の呼吸に注目し、プリントドエレクトロニクスの技術を用いてセンサを衣服の適切な個所に印刷形成することで、簡易に呼吸周期を計測できるセンシングウェアの開発に取り組んだ。そして、臨床検査用の呼吸計測装置の一つとして睡眠時無呼吸症候群(SAS)検出に使われる鼻フローカニューラと比較し、同程度の呼吸周期計測精度を有することを示した。 ○藤本和賀代、安在絵美、才脇直樹
2 「熱中症対策に有効な高齢者向け衣服デザインの検討」	単	令和2年11月	ファッションビジネス学会・2020年全国大会（於：香蘭女子短期大学）リモート発表	高齢者女性の熱中症対策に有効な衣服デザインの検討をおこなった。まず、高齢者向け夏服のシルエットを選別し、それらの衣服内気候を超小型IoTデバイスを用い計測を行った。結果、日本の高温多湿の気候では袖無しが最も適していることが明となったが高齢者にとって暑い日であっても腕を大きく出すデザインには大きな抵抗がある。（アンケート結果より）その為、機能面と嗜好面より再度検討を行った。結果、袖寸

3 「高齢者向け夏物トップスデザインの検討—衣服内気候の計測結果より—」	単	令和3年3月	ファッションビジネス学会・2020年関西支部大会 (於：大阪文化服飾専門学校) リモート発表	10cm程度を身頃より持ち出しフレンチスリーブとすることで受け入れられることが分かった。風の通りの良い煙突効果を得るため、張りのある薄手綿100%素材に身頃はゆとりをとり、裾口、袖口、襟ぐりを大きくする。これらにより、機能面と嗜好面が両面満たさせる結果となった。 藤本和賀代
4 「後期高齢者における夏用ブラウスのデザイン検討」	単	令和3年5月	服飾文化学会第22回大会 (於：杉野服飾大学) オンライン	高齢者にとっても涼しい衣服選びは重要である。今回高齢者トップス衣料に焦点を当てデザインの違いによる快適な衣服を評価した。夏物衣服の快適さには衣服内の温度のみならず湿度が大きく関わる。トップスでは袖の寸法も衣服内気候に大きな影響を及ぼす。袖なし、半袖、七部袖、長袖と衣服内の温度は長くなるにつれ高くなるが湿度は異なった。湿度80%までは長袖の方が低く快適である。それを超えると急に上がり不快となることが分かった。 藤本和賀代
5 「熱中症対策に有効な後期高齢者向け衣服デザインの検討」	単	令和3年5月	日本家政学会全国大会第73回 (於：神戸女子大学) オンライン	後期高齢者における夏服の快適性には衣服内の湿度が大きく影響する。衣服内湿度が高くなってくると服地の吸湿・放湿作用の限界値(衣服内湿度80%前後)を超え、袖の長い方が急に湿度が上がる。高温・多湿の日本の夏季では袖はより短い方が適していると言える。しかし、日常生活の実証試験では、盛夏の中でも暑い屋外から涼しい屋内への移動場面が多く、袖丈が短いと環境変動の影響をダイレクトに受けることになり夏バテを起こしやすくなる。 藤本和賀代
				モニター(78歳女性)の日常生活における衣服内温度・湿度を計測し夏服の快適性について調査を行った。高温低湿度では長袖、高温高湿であれば袖はより短い方が適していた。日本では袖はより短い方が適しているが盛夏の日常生活では暑い屋外から涼しい屋内など温度差の大きい場所への移動場面が多く、袖丈が短いと温度差の影響をもろに受け衣服内気候が急激に変動することによる夏バテを起こしやすいことが分かった。 藤本和賀代

6 「寒さ対策に効果的な冬物衣料の着用法について—衣服内気候の計測結果より—」	単	令和3年10月	日本家政学会第67回中国四国支部大会（於：徳島文理大学）オンライン	重ね着する場合の効果的着用部位の検討を行った。被験者には2歳、30歳代、50歳代、80歳代の世代別で4名である。世代を問わず上半身対下半身では下半身を温める方が体の平均温度が上昇した。続いて肩胸、お腹、腿、膝下の4部位の比較を行った。その結果、肩胸を温めるのが一番効果的であった。また、冷え性の人にはどの部位を温めようと膝下の温度が一番低く、平均温度の上昇も鈍いことが分かった。幼児においては常時胸につけた計測機の温度が飛びぬけて高かった。 藤本和賀代
7 「ファッションビジネス授業に必要なECショップ運営の知識」	単	令和4年10月	日本家政学会中国四国支部大会（於：山口教育大学）	今回ファッションビジネス授業に「ECショップによるネット販売」の導入を目指して、学生へのアンケート調査と試験的にECショップの運営を試みた。アンケート結果では、ネット購入は日常化している。また、販売にも興味を持ち、学べる機会を期待している学生が半数以上であることが分かった。 試験的に行ったECショップで分かったことはオープンが簡単だが運営においてはかなりの手間が掛かる。（こまめなSNSによる販売促進、商品の写真撮影、商品説明 他）ネット販売の重要点や指導すべきポイントの検討ができた。 藤本和賀代
8 「リメイク授業における地域貢献の取組み—サステナブルファッションショー—」	単	令和5年5月	服飾文化学会第24回大会（於：相模女子大学・女子美術大学）	この度、当専攻で地域貢献活動に取り組んだ。具体的には「とくしまSDGsシンポジウム2022」において県内の企業や他学校と連携しサステナブルファッションショーを実施することである。学生達は古着を自らリメイクしモデルとしてショーに出場した。サステナブルファッションショーは好評のうちに終えることができた。地域貢献活動は、学生を学外へ連れ出す絶好の機会でありコロナ禍で閉鎖的になりがちな学校生活の中で視野を広げる機会となった。
9 「とくしまSDGsシンポジウム2022サステナブルファッションショーに参加して」	単	令和5年10月	日本家政学会中国四国支部大会（於：岡山県立大学）	ファッションを学ぶ学生達がとくしまSDGsシンポジウム2022サステナブルファッションショーに参加した。古着をリメイクしモデルも務めた。イベント終了後、参加した学生にアンケートを行ったので結果(1)リメイクに興味を持つようになっ

10 「熱中症対策に有効な幼児向け下着素材の検討—衣服内気候計測結果より—」	単	令和6年11月	ファッションビジネス学会・2024年全国大会 (於：大阪文化服装学院)	た。(2)リメイクの面白さを知った。 (3)発想力・技術力の向上に繋がった。 (4)何より服を大切に思うようになった。他、学生の感想について報告する。 年々過酷になる夏の暑さは体力の無い幼児にとって厳しい季節である。幼児は体温調整機能が未熟で熱中症のリスクが高い。そこで、真夏の子供用下着について検討を行った。 まず2歳児、5歳児に設定温度の異なる部屋を移動して過ごしてもらい衣服内温度、湿度を計測した。その結果、体温調整は5歳児より2歳児の方が未熟であり、衣服内温度が上がってから汗をかくまでに時間が掛かった。低年齢児ほど熱がこもりやすく熱中症に対する注意が必要であることが分かった。 次に、猛暑日を想定し、タイプの異なる4種類の下着を着用して快適度合いを検討した。その結果、新機能素材が一番優れていることが分かった。 藤本和賀代
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	〔作品発表〕 1 「輝く未来」 カクテルドレス部門 令和5年9月 日本デザイン協会第88回NDKファッションショー サステイナブルファッション 女児晴れ着の着物を利用したリメイクドレス			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「被服構成学実習」(建築デザイン学科4年1名、食物栄養学科3年3名 その他1名 月曜日3、4講時) 「被服材料学」(人間生活学科3年16名、4年2名 食物栄養学科3年1名、 建築デザイン学科3年3名 水曜日4講時) 「被服管理学」(人間生活学科2、4年19名、食物栄養学科3、4年7名 建築デザイン学3、4年3名 木曜日1講時) ②後期担当授業科目名等 「カラーデザイン論」第3クォーター科目			

授 業	(人間生活学科 3 年 4 名 木曜日 1 講時・金曜日 1 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「ファッションクリエイション 1」(生活科学科 1 年 6 名 火曜日 2 講時) 「ブライダルコーディネート」(生活科学科 1 年 6 名 水曜日 1 講時) 「被服構成学」(生活科学科 1 年 6 名 水曜日 2 講時) 「カラーコーディネート」(生活科学科 1 年 4 名、 メディアデザイン学科 4 年 3 名、木曜日 3 講時) 「文理学」(生活科学科 1 年 6 名 木曜日 4・5 講時) ②後期担当授業科目名 「ファッショングッズ」(生活科学科 2 年 11 名、人間生活 3 名 月曜日 4 講時) 「ブライダルプランニング」(生活科学科 1 年 5 名 月曜日 2 講時) 「総合実習」(生活科学科 2 年 8 名 火曜日 1・2 講時) 「被服構成学実習」(生活科学科 1 年 5 名、水曜日 1・2 講時) 「総合ゼミナール」(生活科学科 1 年 5 名 水曜日 5 講時) 「カラーコーディネート検定対策」第 3 クォーター (生活科学科 1、2 年 5 名、木曜日 1 講時・金曜日 1 講時) 「ファッションクリエイション 2」(生活科学科 1 年 4 名 月曜日 2 講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (10) コマ} \\ \text{後期 (9) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (19) コマ
学生指導	生活科学科生活科学専攻 1 年担任 面接や日々のかかわりの中で学業面、生活面で助言、指導を行う。 ①色彩検定対策の直前個別指導。 ②オープンキャンパス学生による学科説明におけるパワーポイント資料作成、プレゼンテーションの指導を複数回行う。 ③保育科イベント「おとぎのくに」2 年生ミュージカル衣装製作指導
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ①NDK 日本デザイン協会会議・ファッションショー打合せ 令和 5 年 7 月・8 月 〔公的機関の活動〕 〔各種講演〕 ①講義依頼 [サステイナブルファッション] 「パーソナルカラー診断」 徳島県消費者大学校大学院 令和 6 年 10 月 4 日 〔その他の活動〕 ①出張講義 [サステイナブルファッションについて考えてみよう] 阿南工業高等専門学校 令和 6 年 7 月 ②出張講義 [サステイナブルファッションについて考えてみよう] 小松島西高等学校 令和 7 年 1 月

学内活動	①短大教務委員 専攻長 ②短大ホームページ委員 ③短大インターシップ委員 ④大学入学共通テスト担当 ⑤学科ブログ・インスタグラム配信担当 ⑥短大認証評価ワーキンググループ ⑦短大フェスタ運営 ⑧学校案内2025年版学科別担当 ⑨卒業制作展Ⅱ期開催
-------------	---

氏 名	松 下 純 子 （ まつした じゅんこ ）			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教 授			
最終学歴	徳島文理大学家政学部家政学科管理栄養士専攻（ 学士 ）			
着任の年月	昭和54年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	な し			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 1 伝え継ぐ 日 本の家庭料理 第 2 期 米のおやつともち	共	令和 2 年11月	農山漁村文化協会 p 110	日本調理科学会 徳島県「かしわもち」について執筆 坂井真奈美、松下純子
2 伝え継ぐ 日 本の家庭料理 第 2 期 そば・うどん・粉 もの	共	令和 2 年11月	農山漁村文化協会 p 24、111	日本調理科学会 徳島県「そば切り」「お好み焼き」 について執筆 松下純子、坂井真奈美
3 伝え継ぐ 日 本の家庭料理 第 3 期 どんぶり・雑炊・ おこわ	共	令和 3 年12月	農山漁村文化協会 p 95	日本調理科学会 徳島県「赤飯」について執筆 松下純子、坂井真奈美
4 伝え継ぐ 日 本の家庭料理 第 3 期 年取りと正月の料 理	共	令和 3 年12月	農山漁村文化協会 p 36、37	日本調理科学会 徳島県「雑煮」について執筆 坂井真奈美、松下純子
5 伝え継ぐ 日 本の家庭料理 第 3 期 野菜のおかず 春 から夏	共	令和 3 年12月	農山漁村文化協会 p 112、113	日本調理科学会 徳島県「ずきがし」「はすと太刀魚 の酢の物」について執筆 松下純子、坂井真奈美
〔論文〕 1 徳島県小学生 の栄養素摂取状況 と野菜の摂取量	共	令和 2 年 3 月	徳島文理大学研究紀 要第99号、 p 35-42	徳島県における将来の糖尿病発症予 防に繋げることを目的とし、小学生 を対象に調査した。郡部男子児童は 果実、穀物、市内女子は緑黄色野菜。

2 食生活の現状と100円朝食利用が食生活に及ぼす効果	共	令和3年9月	徳島文理大学研究紀要第102号、p 43-51	嗜好飲料の摂取が多かった。女子の太め群で油脂類が有意に多く、肥満との関連が示唆された。野菜の摂取が多かったのは痩せ群男子、普通群女子であった。 植田莉奈、犬伏知子、松下純子、小川直子、橋田誠一
3 徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて —遠隔授業によるボランティア活動推進の試み—	共	令和5年3月	徳島文理大学研究紀要第105号、p 25-35	食生活状況及び100円朝食についてのアンケートを実施した。一人暮らしの学生に加え実家から通っている学生でも、朝食を自分で用意・購入・100円朝食の利用頻度は週1回以上の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣を確立する効果が期待できることが明らかとなった。 坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、佐賀啓子、原理沙、田村友莉香
〔発表〕 1 徳島県の実家庭料理 行事食の特徴—ひなまつりの楽しい思い出—遊山箱—	共	令和3年9月	日本調理科学会2021年度大会（実践女子大学）	2016年から徳島県等と連携、ボランティアパスポート制度を導入して、「総合科目A（ボランティア）」単位を認定しているが、2020年はコロナ禍により授業開講できず、学生の活動も停滞した。2021年度は感染予防対策と受講の利便性を考慮し、Google・クラスルームとZoomを用いて遠隔授業を行った。受講者に対するアンケート調査により成果を検証し、ボランティアパスポートの意義、今後の課題について考察した。 児嶋輝美、島田俊朗、藤本和賀代、松下純子、則包光徳、堀口誠信
2 徳島県の実家庭料理 地域の特徴	共	令和4年9月	日本調理科学会2022年度大会（アクリエ	行事食・儀礼食の認知度が高かったひな祭りについて、徳島で欠かせない遊山箱について報告した。子供の誕生に与えられる引き出し式3段重の遊山箱は、寿司や菓子、おかずなどを詰めてある。子供のころに使ったことがあるのは60歳以上で高い割合を示し、同世代における県民の共通の思い出として残っていることが分かった。 高橋啓子、三木章江、宇野美和子、川端紗也花、後藤月江、長尾久美子、松下純子、近藤美樹、坂井真奈美、金丸芳
				かき混ぜ寿司には人参、大根、高野豆腐、椎茸、卵、春は筍や山菜、金

—地域で親しまれてきた料理—			ひめじ)	時豆の甘煮、里芋は全域で使用されており、地域性も見られ、姿寿司はボウゼ、アジなど、寿司酢には全域で木酢（すだち、ゆず、ゆこう）が使用されていた。県南や県中央部では主菜、副菜、汁物に魚介類や海藻を使用した料理、山間部、吉野川北岸、県西部では主菜に川魚やジビエ肉、副菜には山菜を使用した料理が挙げられた。 三木章江、高橋啓子、後藤月江、川端紗也花、長尾久美子、松下純子、坂井真奈美、近藤美樹、金丸芳
3 中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査—全国調査：学生による家庭料理の喫食状況と調理法の現状について—	共	令和5年9月	日本調理科学会2023年度大会（県立広島大学）	中国・四国支部16の大学・短期大学の学生における家庭料理の調理法および調理器具等に関する調査を行った。自宅群では多くの料理で「家で作る」割合が有意に多く、調理法は、焼き魚に専用器具使用で有意差がみられ、めんつゆなど11種類の使用が有意に多かった。多くの家庭料理は、家庭内調理が残っていたが、手間のかかる料理は外部化しつつある傾向がみられ、調理法は従来からある専用器具の使用に変化がみられた。 次田一代、後藤月江、松下純子、合谷祥一、武田珠美、高橋啓子、岡本洋子、福留奈美
4 中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査—徳島県出身者の郷土料理の喫食状況と郷土料理に対するイメージ・中四国8県と比較して—	共	令和6年9月	日本調理科学会2024年度大会（鎌倉女子大学大船キャンパ）	伝統的な家庭料理や郷土料理の家庭での調理や喫食状況について中・四国地域で調査を行った。徳島の郷土料理、金時豆入り寿司、そば米汁は、中四国他県で認知・喫食率が低かった。徳島での喫食経験は、半田そうめん、そば米雑炊、たらいうどんで多かった。郷土料理への継承意識は高く、教育機関での学修、SNSなどIT技術活用の有効性が考えられた。 松下純子、後藤月江、三木章江、佐賀啓子、高橋啓子
〔雑誌〕 伝え継ぐ日本の家庭料理「そば・うどん・粉もの」	共	令和2年3月	農文協 p 24、111	徳島県「そば切り」「お好み焼き」について執筆、著作委員を担当した。 松下純子、坂井真奈美
伝え継ぐ日本の家庭料理「どんぶり・雑炊・おこわ」	共	令和2年8月	農文協 p 95	徳島県「赤飯」について執筆、著作委員を担当した。 松下純子、坂井真奈美

伝え継ぐ日本の家庭料理「年取りと正月の料理」	共	令和2年12月	農文協 p 36、37	徳島県「雑煮」について著作委員を担当した。 坂井真奈美、松下純子
伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 春から夏」	共	令和3年3月	農文協 p 112、113	徳島県「ずきがし」「はすと太刀魚の酢の物」について執筆、著作委員を担当した。 松下純子、坂井真奈美
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	令和2年度 ○日本調理科学会における、伝え継ぐ日本の家庭料理について、出版に関わる掲載料理の執筆を担当する。 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○100円超食についての現状と活用状況について研究を進める 令和3年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を始める。 ○徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて ―遠隔授業によるボランティア活動推進の試み―を分担する。 令和4年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を進める。 ○徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて ―遠隔授業によるボランティア活動推進の試み―をまとめる。 令和5年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を進める。 令和6年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を進める。			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「フードコーディネート論」(人間生活3年、19名、木曜日2講時) 「生活科学論」(人間生活3年、2名、金曜日2講時) 分担 ②後期担当授業科目名等 「食品学総論」(心理3年、39(37)名、月曜日2講時)			

授 業

〔短大関係〕

①前期担当授業科目名

「食品学各論」	(食物 1 年、6 名、月曜日 3 講時・水曜日 3 講時)
「食品学概論Ⅰ」	(食物 1 年、6 名、月曜日 3 講時・水曜日 3 講時)
「給食運営管理実習(校内)」	(食物 2 年、8 名、火曜日 1・2 講時)
「調理学」	(食物 1 年、6 名、木曜日 3 講時)
「フードコーディネート論」	(食物 2 年、5 名、木曜日 2 講時)
「文理学」	(食物 1 年、6 名、木曜日 4 講時・5 講時) 分担、担任
「生活科学論」	(生活 1 年、6 名、金曜日 2 講時) 分担

②後期担当授業科目名

「食品学概論Ⅱ」	(食物 1 年、6 名、金曜日 1 講時)
「給食計画論」	(食物 1 年、6 名、木曜日 2 講時)
「給食実務論」	(食物 1 年、6 名、木曜日 2 講時)
「調理科学実験」	(食物 2 年、8 名、木曜日 1・2 講時)
「給食運営管理実習(臨地実習)」	(食物専攻 2 年 8 名 集中講義)

③通年担当授業科目名

「総合ゼミナール」	(食物 1 年、6 名、前期 金曜日 5 講時 後期 水曜日 5 講時) 分担、担任
-----------	---

$$〔全コマ数〕 \left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (7.0) コマ} \\ \text{後期 (5.0) コマ} \end{array} \right\} \text{計 (12.0) コマ}$$

〔その他の指導状況〕

○前期

①食物専攻 2 年生給食運営管理実習

グループでの授業のため、内容を検討する際には、座席を移動し、随時対応した。

②食物専攻 1 年生：「総合ゼミナール 通年」を今年度より開講した。初回説明および栄養士についての説明、担任として複数回の授業を担当した。

③生活科学科 1 年生：生活科学論を分担した。食に関わる内容について 3 回担当した。

○後期

①食物専攻 2 年生対象研修

電化厨房セミナーを、調理科学実験授業の一環として実施した。調理に関わる機器を使用し、実演していただいた。

②食物専攻 2 年生対象補習授業

栄養士実力認定試験受験およびフードスペシャリスト資格受験に対する補講授業を、後期 5 時間目を使用して実施 (13コマ)、模擬試験を 2 回実施し、試験監督を行った。

③食物専攻 2 年生栄養士実力認定試験

栄養士実力認定試験の実施にあたり、試験監督及び事務処理を担当した。

○食物専攻 1 年生および 2 年生への対応

前期及び後期にわたり、質問がある場合は授業時間以外にかかわらず、随時対応した。食物 1 年講義および食物 2 年講義教科をはじめ心理学科人間生活学科の授業担当において、単元終了後に複数回確認テストを行い授業の振り返りを実施した。心理学科対象の授業における確認テストは、令和 3 年度から開始している。

○食物 1 年生：総合ゼミナール

<学内>

臨地校外実習、就職活動状況、教育実習報告会を 2 年生と 1 年生で実施し、1

授 業	年生からの質問を受け付けた。 給食関連授業として、14号館給食経営管理実習室を見学した。 ＜学外での研修＞ テーブルマナー研修を、ノビア・ノビオで実施した。2年生は参加せず、生活科学専攻学生および教員と参加した。（1年生5名、教職員3名、生活科学専攻学生及び教員1名）
学生指導	○担任関連 短期大学部食物専攻1年担任として、学生の動向に注意しながら担任2名で指導に当たった。担任およびチューターとして面接時間を設け、前期および後期に実施した。面接時には、学生の発言に耳を傾け、その学生に応じた授業科目の取り方、資格や進路、就職活動について質問に応じ、指導した。 個人相談のある学生については、個別に個人の希望を活かせるよう対応し、実施した。 ホームルームは、学期始めの時期及び学期終了時、長期休暇の前において時間を設定し、クラス全体に対し注意点や心がける点を話した。授業の取り方についても、随時説明した。 単位取得に関連しては、常に保護者との連絡を取り、学生本人の状況を確認するとともに、指導を行った。 夏季に開催された沖縄県保護者会に出席し、保護者との面談を行った。 ○就職進路関連 就職活動に関しては、各クラス対象の就職説明会に同席し、学生と一緒に状況を確認した。個人面談を含めて、学生個人の希望や進路を話し合い、就職支援部と共同して指導に当たった。 学生と企業の交流会には前日の説明会より学生と参加し、当日は学生の様子を見守り、来場した企業の方と懇談した。 ○勉学について 担任学生はもとより、授業を担当した学生については、個別の質問に随時対応し、わかりやすい説明を心がけた。授業においては、必要に応じて資料を作成し、指導内容を補完した。給食実習（短大食物2年生）にあたっては、提供実習に関わる計画立案から給食の実施、終了後のまとめに至るまで指導に携わった。 ○給食運営管理実習（臨地実習）、栄養教育実習 臨地校外実習では、博愛記念病院へ巡視に伺った。 次年度の予定を実習先に確認し、予定を作成した。
活 動	
学外活動	〔公的機関の活動〕 ①小松島市立小学校給食調理業務民間委託先選定会議委員（会長） 小松島市小学校給食調理業務民間委託先の選定について会議が開催され、全2回の会長として出席し、会議の進行に携わった。 ②とくしま災害栄養チーム構成員 徳島県内における大規模な地震、台風等の自然災害等発生時を想定し、災害時災害栄養・食生活支援に関して被災者の栄養状態の悪化を食い止め、健康状態を維持するために必要な栄養・食生活支援体制の充実強化を図る目的である。 3月4日(火)に令和6年度「とくしま災害栄養チーム」連携会議がアスティとくしまで開催され、出席した。栄養士養成施設としての意見を求められ、大学全体の動向と食物専攻学生を含めた支援の可能性について発言した。 ③アグリビジネスアカデミー 6次産業化コース講師 徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校において、農業者又は農業の

学外活動	基礎的分野を習得している方で農業の6次産業化を目指す方を対象に、1年間で具体的なアグリビジネスプランが作成できる実務能力を養成できるプログラムである。7月19日(金)と8月2日(金)に「食の栄養と機能性」について講義した。 ④協会けんぽ徳島支部へのコラム掲載 協会けんぽより依頼があり、HPにおける夏季のコラムを学生の献立を中心として、1項目担当した。 〔学会活動〕 ①日本調理科学会中国四国支部大会出席 令和6年10月12日に、香川短期大学で開催された2024年度日本調理科学会中国・四国支部大会に出席した。 ②日本調理科学会特別研究 令和6年9月6日に鎌倉女子大学で開催された日本調理科学会で、「中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査—徳島県出身者の郷土料理の喫食状況と郷土料理に対するイメージ・中四国8県と比較して—」についてポスター発表を行った。中国四国版アンケート「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」についてまとめ、徳島県と中国・四国他県との伝承に関する調査の実施を報告した。
学内活動	〔学内における活動〕 ○臨地校外実習担当 令和6年度臨地校外実習について、臨地校外実習先との連絡および交渉に携り、実習先の巡視等について検討、実施した。 令和7年度臨地校外実習の予定について、実習先と連絡を取り臨地実習計画を立案した。 2月6日(木)に大学内で開催された臨地校外実習打合せ会に短期大学部担当として出席し、懇談会の進行と質問の返答を担当した。 ○進学説明会担当 5月8日に、国際会議場で開催された徳島ブロック進学説明会に大学側として出席した。6月21日に、徳島赤十字病院本学実習支援センターで開催された小松島ブロック進学説明会に、短大として出席した。6月28日にレストハウスウエノで開催された三好ブロック進学説明会に、短大として出席した。 ○保護者会面談担当 9月7日に実施された沖縄県保護者会面談において、食物専攻1年生保護者と面談を行った。 ○オープンキャンパス担当 オープンキャンパスにおいては、3月20日に「お豆腐でふわふわプチケーキを作ろう!」を、7月27日に「暑いときにはこれ!見た目にも涼しいゼリーはいかが?」の体験授業を担当した。6月16日および9月15日のオープンキャンパス学科説明を担当した。 ○短大フェスタ 10月26日に開催された短大フェスタにおいて実施した、食物専攻1年生の野菜摂取量測定の指導を行った。 ○栄養士実力認定試験担当 12月7日に栄養士実力認定試験が本学で実施され、試験監督担当及び事務処理を行った。 ○全学研究者倫理教育委員会委員 短期大学部の全学研究者倫理教育委員会委員として、短期大学部教員へAPRIN

学内活動	の受講連絡を行い、3月3日に開催された令和6年度全学研究者倫理教育委員会に出席した。 ○ウェルカムデイ担当 2月15日に実施したウェルカムデイについて、実施に向けて内容の検討及び計画を立て、卒業生との連携を取り、当日は2号館1階会場の準備を中心に活動した。 ○アカンサス会 ①アカンサス会本副会長 令和6年7月6日に大学で開催されたアカンサス会本部役員会において、副会長の犬伏知子氏の補佐を担当した。 ②アカンサス会奨学金担当 令和5年度のアカンサス会奨学金給付に当り、事務担当として申請、審査委員会、給付該当者への連絡文送付等に携わった。アカンサス会奨学金審査委員会は、6月1日に審議を行い、奨学金申請者に対し採用の有無について連絡を行った。 ③アカンサス会徳島県支部役員 徳島県支部役員として、6月1日に開催された令和6年度徳島県支部総会に出席し、3月1日に開催された徳島県支部役員会に出席した。 〔入試担当〕 ○総合型選抜入試担当 生活科学科食物専攻の総合型選抜入試担当として、本年度の実施に携わり、次年度に向けた総合型選抜入試実施に関わる内容についても検討した。総合型選抜入試受験生に面談日の調整を行い教員2名で面談を担当した。 ○ミライのわたし面接担当 9月28日と9月29日に、総合型選抜入試面接とミライのわたし予約型応援奨学金の面接を担当した。 ○入学前ガイダンス担当 2月23日に実施した入学前ガイダンスでは、学科別の交流会で進行を担当した。
------	---

氏名	松村 晃子（まつむら あきこ）			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教授			
最終学歴	徳島大学医学部栄養学科（栄養学士）			
着任の年月	令和6年4月			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島市民病院栄養管理室 栄養指導アドバイザー			
研 究 （業績：過去5年間）				
著書・学術論文等の名称	単著 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 1 歯科衛生士のための糖尿病指導マニュアル（第2版） 〔論文査読〕 1 Early enteral nutrition with arginine compensates for negative nitrogen balance in patients undergoing curative total gastrectomy 〔発表〕 1 高齢者のフレイル予防における栄養指導	共	令和6年9月 令和5年2月 令和4年8月	株式会社医歯薬出版 The Journal of Medical Investigation 第5回徳島県地域包括ケアシステム学会学術集会	歯科衛生士向けの糖尿病指導教材 愛知学泉大学家政学部管理栄養士学科教授で元浜松赤十字病院管理栄養士の岡本康子先生の論文について査読を担当した。 神山町のサロンにおける高齢者に対する栄養指導のフレイル予防への効果について
科研費採択状況 （過去2年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去2年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去2年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「食生活指導論」（口腔保健3年16名 金曜日2講時）			

授 業	「食生活論」(人間生活 1 年 20 名・児童 4 年 1 名・食物栄養 2 年 1 名・建築デザイン 4 年 4 名 月曜日 3 講時) ②後期担当授業科目名簿 「臨床栄養学実習Ⅱ」(食物栄養 3 年 46 名 木曜日 3、4 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名等 <table border="0"> <tr><td>「栄養情報処理」</td><td>(食物専攻 2 年 8 名 月曜日 1 講時)</td></tr> <tr><td>「食生活論」</td><td>(生活科学専攻 1 年 1 名 月曜日 3 講時)</td></tr> <tr><td>「栄養学総論」</td><td>(食物専攻 1 年 5 名 火曜日 1 講時)</td></tr> <tr><td>「栄養指導実習Ⅱ」</td><td>(食物専攻 2 年 8 名 水曜日 3、4 講時)</td></tr> <tr><td>「文理学」</td><td>(食物専攻 1 年 6 名 木曜日 4 講時)</td></tr> <tr><td>「食生活論」</td><td>(食物専攻 2 年 8 名 木曜日 1 講時)</td></tr> <tr><td>「総合科目 D」</td><td>(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 5 講時)</td></tr> </table> ②後期担当授業科目名等 <table border="0"> <tr><td>「栄養指導実習Ⅰ」</td><td>(食物専攻 1 年 6 名 月曜日 1、2 講時)</td></tr> <tr><td>「公衆栄養学」</td><td>(食物専攻 2 年 8 名 水曜日 1 講時)</td></tr> <tr><td>「栄養指導論」</td><td>(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 2 講時)</td></tr> <tr><td>「文理学」</td><td>(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 5 講時)</td></tr> <tr><td>「総合科目 D (食と健康)」</td><td>(食物専攻 1 年 6 名 水曜日 5 講時)</td></tr> </table> 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8.5) コマ} \\ \text{後期 (7) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (15.5) コマ 〔その他の指導状況〕 ○栄養士実力認定試験受験用並びにフードスペシャリスト受験用補講を実施 「公衆衛生学」「社会福祉概論」「栄養学総論」「公衆栄養学概論」「栄養と健康」 「食品流通論」(食物専攻 2 年 8 名) 講義形式を中心とし、過去問題のプリントを用いて実践しながら解説と質疑応答を取り入れて復習した。 ○レシピコンテスト 令和 6 年 7 月 17 日、「キウイでポジティブを届けようレシピコンテスト」に 1、2 年生合同による 1 組 3 名で 2 組応募した。(食物専攻 1 年生 4 名、2 年生 2 名) ○マナー研修会 令和 6 年 10 月 29 日、ノビア・ノビオで実施された洋食コース料理のテーブルマナー研修会に学生(食物専攻 1 年 6 名)を引率した。 ○徳島ビジネスメッセ 令和 6 年 11 月 9 日、アスティとくしまにおいて開催された「徳島ビジネスメッセ」において「小学生インターンシップ」を午前・午後の 2 回実施し、参加学生(食物専攻 2 年生 1 名)をサポートした。 ○フィールドワーク 令和 6 年 12 月 6 日、総合科目 D における食品加工場の見学を目的としてハレルヤス イーツキッチンを見学した。(食物専攻 1 年 6 名) ○インターンシップ 令和 7 年 2 月 18 日、病院栄養士を希望している学生(食物専攻 1 年生)のインターンシップを兼ねて徳島赤十字病院栄養課を訪問、見学した。	「栄養情報処理」	(食物専攻 2 年 8 名 月曜日 1 講時)	「食生活論」	(生活科学専攻 1 年 1 名 月曜日 3 講時)	「栄養学総論」	(食物専攻 1 年 5 名 火曜日 1 講時)	「栄養指導実習Ⅱ」	(食物専攻 2 年 8 名 水曜日 3、4 講時)	「文理学」	(食物専攻 1 年 6 名 木曜日 4 講時)	「食生活論」	(食物専攻 2 年 8 名 木曜日 1 講時)	「総合科目 D」	(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 5 講時)	「栄養指導実習Ⅰ」	(食物専攻 1 年 6 名 月曜日 1、2 講時)	「公衆栄養学」	(食物専攻 2 年 8 名 水曜日 1 講時)	「栄養指導論」	(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 2 講時)	「文理学」	(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 5 講時)	「総合科目 D (食と健康)」	(食物専攻 1 年 6 名 水曜日 5 講時)
「栄養情報処理」	(食物専攻 2 年 8 名 月曜日 1 講時)																								
「食生活論」	(生活科学専攻 1 年 1 名 月曜日 3 講時)																								
「栄養学総論」	(食物専攻 1 年 5 名 火曜日 1 講時)																								
「栄養指導実習Ⅱ」	(食物専攻 2 年 8 名 水曜日 3、4 講時)																								
「文理学」	(食物専攻 1 年 6 名 木曜日 4 講時)																								
「食生活論」	(食物専攻 2 年 8 名 木曜日 1 講時)																								
「総合科目 D」	(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 5 講時)																								
「栄養指導実習Ⅰ」	(食物専攻 1 年 6 名 月曜日 1、2 講時)																								
「公衆栄養学」	(食物専攻 2 年 8 名 水曜日 1 講時)																								
「栄養指導論」	(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 2 講時)																								
「文理学」	(食物専攻 1 年 6 名 金曜日 5 講時)																								
「総合科目 D (食と健康)」	(食物専攻 1 年 6 名 水曜日 5 講時)																								

学生指導	①食物専攻1年生担任・チューターとしての面接を実施 定期面接：前期1回（4月）、後期1回（12月）担当学生の面談を実施。 授業・学習や進路・健康状況・生活面、友人関係などあらかじめ面接票に記入してもらい、詳細に面談を行った。 随時面談：就職に関する相談を受けて、面談を実施し、進路に関する助言・指導を行った。 ミライのわたし進捗状況の面接：該当者2名に対し面接を行った。 ②ホームルームでの指導 定期的（4月3日、7月24日、12月20日、1月31日）にホームルームを開催し、学生指導した。 ③ポートフォリオ入力指導 前期および後期に入力指導を実施した。また行動の記録は前期に3回、後期に3回、時間を設けて指導した。 ④新入生セミナー・遍路ウォーク 令和6年4月20日（土）に実施された新入生セミナー、遍路ウォークに担任として同行し、指導した。 ⑤就職支援 就職支援課の就職説明会（令和6年4月19日、10月1日、12月3日）に同席し、学生指導を行った。 令和6年6月13日マイナビ「社会人基礎力測定」に食物専攻1年生6名を引率した。 病院栄養士を希望する学生のキャリア形成支援として、令和7年2月18日（火）に徳島赤十字病院訪問に同行した。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ①一般社団法人日本病態栄養学会 がん専門管理栄養士委員会委員 （平成29年10月～現在に至る） ○委員会 令和6年7月25日 14時～15時 〔公的機関の活動〕 ①徳島県医療審議会委員 医療法の規定によりその属させられた権限を調査審議するほか、知事の諮問に応じ徳島県の医療を提供する体制の確保に関する重要事項について調査審議する ○委員会 令和6年9月12日 19時～20時30分 令和7年3月5日 19時～20時30分 ②徳島県循環器病対策推進協議会委員 健康寿命の延伸を目指し、本県の循環器病の現状を把握し、その予防や知識の普及啓発を図り、保健、医療および福祉に係るサービス提供体制の充実と循環器病の研究を推進する。 ○委員会 令和7年1月28日 19時～20時30分 ③徳島県腎臓病医療連携協議会委員 徳島県の腎臓病対策に取り組む ○委員会 令和7年3月26日 19時～20時30分 ④徳島県糖尿病協会（JADEC徳島）理事 徳島県の糖尿病対策に取り組み、療養指導に係る医療スタッフの人材育成および患

学外活動	者への啓発活動等を行う。 ○理事会 令和6年4月5日 18時30分～19時30分 令和6年9月12日 18時～19時 ⑤徳島市医師会糖尿病対策会議委員 ○委員会 令和6年4月23日 19時30分～21時 ⑥徳島市在宅医療・介護連携推進協議会委員 徳島市の在宅医療・介護連携の推進事業の取り組みの充実を目指す ○委員会 令和6年5月31日 午後7時～9時 ⑦（公社）日本栄養士会 代議員・委員 ○諮問会議 令和6年5月11日 13時～17時 ○定時総会（代議員） 令和6年6月22日 13時～14時 令和6年6月23日 9時～12時 ○栄養ケア・ステーション認定委員会委員 令和6年9月5日 18時30分～19時30分 令和7年3月6日 18時30分～19時30分 ⑧（公社）徳島県栄養士会 会長（令和6年6月まで） 〃 〃 副会長（令和6年7月～） ○定時総会 令和6年6月8日 13時30分～16時 ○理事会 令和6年4月25日 18時30分～20時30分 令和6年7月16日 18時30分～20時30分 令和6年9月3日 18時30分～20時30分 令和6年10月22日 18時30分～20時30分 令和6年12月17日 18時30分～20時30分 令和7年2月18日 18時30分～20時30分 令和7年3月18日 18時30分～20時30分 ○委員会 令和6年4月12日 19時～20時30分 令和6年5月10日 19時～20時30分 ⑨一般財団法人 厚仁会 理事（非常勤） ○理事会 令和6年6月4日 15時～17時 令和6年6月20日 16時30分～18時 令和7年3月7日 16時～18時 ⑩徳島赤十字ひのみね医療療育センター事故調査委員会 栄養課で発生した包丁刃先欠損事故の原因究明と再発防止策について客観的な視点から行儀し、安全管理の推進を図る。 ○委員会 令和6年9月19日 13時30分～15時 令和6年10月9日 13時30分～15時 ○答申 令和6年10月15日 園長へ提出 〔各種講演〕 ①令和6年5月26日、徳島県糖尿病協会交流会 「平時から親しむ簡単調理～災害時に備えて～」(於：ふれあい健康館) ②令和6年9月30日～11月22日 令和6年度認定歯科衛生士セミナー 「糖尿病予防の指導と管理」(於：オンデマンド配信)
------	--

学外活動	③令和7年1月25日～2月2日 徳島市糖尿病サポーター養成研修会 「高齢糖尿病患者の食事の工夫」(於・YouTubeによる限定配信) ④令和7年2月6日 (公社) 徳島県栄養士会生涯教育研修会 「栄養ケア・ステーションを学ぼう」(於・Zoomによるオンライン講義) 〔その他の活動〕 特になし
学内活動	①短大実習担当委員 松下教授と共に生活科学科食物専攻2年生の臨地実習に関する助言・指導を行った。特に健康管理や衛生管理に留意することや学外における接遇の重要性について指導した。 ②入学前ガイダンス運営委員会委員 令和7年2月23日に開催する「短期大学部入学前ガイダンス」について委員会に出席し、学科・専攻ごとに入学前教育のプログラムを見直し選定した。また入学生に向けたアンケートの作成および当日のプログラムの内容およびスケジュールについて検討した。 ③オープンキャンパス 令和6年4月28日 令和6年6月16日 令和6年7月14日 令和6年7月27日 令和6年8月18日 令和6年9月15日 模擬授業「だし」を生かした減塩調理に挑戦！ ○授業内容理解のために、パワーポイントによる資料を準備 ○短期大学部全体会用に「治療食のフードモデル」を展示 ○担当した模擬授業の記録を大学ホームページに紹介 ④広報誌作成等 令和6年9月18日 2026大学案内のヒアリングシートにより取材を受けた。 令和6年11月26日 2026大学案内の授業風景の取材撮影を受けた。 ⑤短大フェスタ 令和6年10月26日に開催し、食物専攻1年生が担当した「ベジメーターで野菜摂取量チェック」の指導を行った。 ⑥総合選抜型入試およびミライのわたし奨学金の面接(令和6年9月28日) ⑦総合選抜型入試オンライン面接(令和6年10月5日) ⑧一般入試Ⅱ期徳島会場で試験監督(予備)(令和7年2月22日)

氏 名	新 居 佳 孝 （ に い よ し た か ）			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教 授			
最終学歴	徳島大学大学院栄養学研究科博士前期課程修了（博士（栄養学））			
着任の年月	令和 5 年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島県立工業技術センター 課長			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔論文〕 <i>Citrus sudachi</i> peel extract sup- presses cell prolife- ration and promo- tes the differenti- ation of keratinoc- ytes through inhi- bition of the EGFR/ERK sign- aling pathway.	共	令和 2 年10月	Biomolecules, 第10巻第10号	スダチ果皮の水抽出物が、ヒト角化細胞株および正常ヒト表皮角化細胞の細胞増殖を抑制することを見出した。スダチ果皮抽出物は、上皮成長因子（EGF）によるEGF受容体活性化と腫瘍壊死因子（TNF- α ）による細胞外調節キナーゼ（ERK）の活性化を抑制したことから、この抽出物は抑制効果を有することが示唆された。さらに、スダチ果皮抽出物は、カルシウム誘導性のケラチノサイトの分化を促進した。これらの結果から、スダチ果皮抽出物は、乾癬や皮膚扁平上皮癌などに見られる表皮角化細胞の過剰増殖を特徴とする皮膚疾患に対して有効であることが示唆された。 掲載頁：1468 共著者：Shogo Abe, Misako Ueno, Mami Nishitani, Tetsuya Akamatsu, Takumi Sato, Marie Shimoda, Hiroki Kanaoka, <u>Yoshitaka Nii</u> , Hiroko Yamasaki and Keizo Yuasa
県産サツマイモの 抗酸化活性とポリ フェノールに及ぼ す加熱調理の影響	共	令和 2 年12月	徳島県立工業技術セ ンター研究報告 第29巻	サツマイモに含まれるポリフェノールの一種であるクロロゲン酸は、調理後の褐変に関与し、さらに食味を低下させる成分であると認識されてきた。しかし、ポリフェノールは抗酸化活性を有しており、加齢をはじめ、紫外線、大気汚染、精神的ストレス等の要因により生じた活性酸素を消去し、生活習慣病の発症を抑制するといわれている。そこで、徳島県内の産地別に入手したサツマイモのポリフェノールおよびORAC法に

Sudachi peel extract powder including the oymethoxylated flavone sudachitin improves visceral fat content in individuals at risk for developing diabetes.	共	令和3年6月	Food Science & Nutrition 第9巻第8号	よる抗酸化活性を測定するとともに、加熱調理（焼き、蒸し）の影響についても検討した。分析した結果、サツマイモの抗酸化活性は、加熱調理することにより、生の試料に比べて増加する傾向がみられた。これは、ポリフェノール総量が増加することに起因すると考えられた。特にサツマイモに含まれるポリフェノールの中で、クロロゲン酸が増加することが分かった。 掲載頁：pp. 27-30 共著者：新居佳孝、池田絵梨
甘酒製造過程におけるポリフェノール量の推移	共	令和4年1月	徳島県立工業技術センター研究報告 第30巻	メタボリックシンドロームの境界型（BMI：23kg/m²以上）に分類される被験者を対象に、スダチ果皮エキス末を二重盲検法により12週間継続摂取させたところ、1日あたり5mgのスダチチンの摂取で、内臓脂肪量の改善効果がみられた。 掲載頁：pp. 4076-4084 共著者：Yasuhiro Shikishima, Rie Tsutsumi, Ayuka Kawakami, Hiroyuki Miura, <u>Yoshitaka Nii</u>, Hiroshi Sakaue
阿波晩茶の浸出条件が抗酸化活性と	共	令和4年1月	徳島県立工業技術センター研究報告	近年、発酵食品の機能性が多く報告されているが、その機能性の多くは麹由来の酵素により生成されるポリフェノールが大きく関与している。ポリフェノールは、生活習慣病の発症抑制との関連が指摘されている食品の抗酸化活性と密接に関連している。そこで、米麹を用いて甘酒を作製し、ポリフェノール及びフェルラ酸を原料麹と比較した。その結果、甘酒を作製することにより、ポリフェノール量は白麹菌、黄麹菌ともに原料麹に比べて3倍近く増加した。また、遊離フェルラ酸が原料麹に比べて大きく謳歌することが明らかとなった。これらは麹菌のもつ酵素の影響であると示唆された。 掲載頁：pp. 7-9 共著者：新居佳孝、岡久修己、西岡浩貴、戸田昌宏、門脇昌史、河田守、金丸芳

カテキン類含量に及ぼす影響			第30巻	ため、酸素ラジカル吸収能力 (ORAC) 法による抗酸化活性の測定やカテキン類含量等の分析を行った。その結果、阿波晩茶浸出液の抗酸化活性は浸出条件によって変化し、沸騰水で浸出した場合が最も高かった。カテキン類についてはエステル型カテキンよりも遊離型カテキンの方が多く含まれていたが、カテキン類の組成は浸出条件によって異なっていた。 掲載頁：pp. 11-14 共著者：池田絵梨、<u>新居佳孝</u>
徳島県産レンコンの産地および加工方法の違いによる抗酸化性比較	共	令和4年1月	徳島県立工業技術センター研究報告 第30巻	徳島県内で栽培されたレンコンの抗酸化活性について、酸素ラジカル吸収能力 (ORAC) 法を用いて測定し、加工方法や産地による違いについて検討した。その結果、レンコン可食部では加工方法に関わらず皮付きの方が高い傾向を示した。一方、生の状態では産地による違いが認められ、栽培条件の差が総ポリフェノール量に影響している可能性が示唆された。また未利用部であるレンコンの節は、高い抗酸化活性を示した。 掲載頁：pp. 17-19 共著者：池田絵梨、<u>新居佳孝</u>
柑橘果皮を原料とした新規高機能素材の開発	共	令和4年12月	徳島県立工業技術センター研究報告 第31巻	柑橘果皮のさらなる有効利用のため、柑橘果皮からセルロースファイバー (CF) シートを調製し、その特性を評価した。同じ前処理、解繊条件でもスタチ及びユズCFの表面構造は異なっていたことから、同じ柑橘類果皮でも、種類によって解繊のしやすさが異なることが示唆された。CFシートの引張強度は約 40～60MPaであり、ミカン果皮由来 CNFシートよりも低い値であり、CFシートの引張強度を向上させるためには、均一にナノレベルまで解繊することが重要であると考えられた。熱重量分析の結果、CFシートは、ミカン果皮由来 CNFと同様のDTGピークが得られたことから、部分的にしか解繊されていないCFでも、CNFと同程度の耐熱性があることが示唆された。 掲載頁：pp. 31-32 共著者：横山直人、<u>新居佳孝</u>、鎌倉駿

Effects of polyethoxyflavonoids on T helper 17 cell differentiation <i>in vitro</i> and <i>in vivo</i> .	共	令和 5 年 2 月	The Journal of Medical Investigation 第70巻第 1-2 号	培養細胞および実験動物を用いてヘルパー T (Th) 17細胞の分化に対するポリメトキシフラボノイド (PMF) の影響を検討した。ノビレチン (NOB)、スダキチン (SUD)、デメトキシスダキチン、ヘプタメトキシフラボン、ナツダイダインを含む5つの異なるPMFを用いて、Th17応答に対するこれらのフラボノイドの影響を調べた。NOB、ヘプタメトキシフラボンは増殖反応を有意に抑制したが、SUD、デメトキシスダキチン、ナツダイダインは増殖反応を抑制しなかった。実験的に自己免疫性脳脊髄炎を誘発したマウスを、生体内Th17分化モデルとして使用し、NOBとSUDが及ぼす影響を検討した。その結果、NOBはTh17細胞の増殖とサイトカイン応答を有意に抑制したが、SUDは増殖応答のみ減少させた。これらの結果から、生体内でのTh17応答に対するNOBの抑制効果はSUDの抑制効果よりも強いことが示唆された。 掲載頁：pp. 166-170 共著者：Akiko Nakamoto, Yuwa Hirabayashi, Chieri Anzaki, Mariko Nakamoto, Emi Shuto, <u>Yoshitaka Nii</u>, Tohru Sakai
The polymethoxyflavone sudachitin modulates the circadian clock to enhance energy metabolism and remodel liver physiology.	共	令和 5 年 3 月	Molecular Nutrition & Food Research 第67巻第 9 号	サーカディアンリズム評価用培養細胞にスダチチンを添加すると、<i>Bmal1</i> 遺伝子の転写リズムの振幅と周期を調節した。このことから、スダチチンは細胞レベルで概日リズムを調整する活性を有していることが分かった。次に、食事誘導性肥満マウスにスダチチンを長期投与したところ、肝臓の概日リズムを調節し、肝臓の中性脂肪の蓄積を抑制することが分かった。特に、肝臓の線維化と炎症を低減することも明らかとなった。 掲載頁：e2200270 共著者：Kazuaki Mawatari, Nobuya Koike, Kazuanri Nohara, Marvin Wirianto, Takashi Uebanso, Takaaki Shimohata, Yasuhiro Shikishima, Hiroyuki Miura, <u>Yoshitaka Nii</u>, Mark J. Burish, Kazuhiro Yagita, Akira Takahashi, Seung-Hee Yoo, Zheng Chen

〔発表〕 柑橘類スダチ果皮抽出液によるEGFR-ERK経路を介した表皮角化細胞の増殖・分化の制御	共	令和3年6月	日本農芸化学会中四国支部第59回講演会（オンライン）	スダチ果皮抽出液の表皮角化細胞に対する影響を検証するとともに、その作用機序についても検討した。その結果、スダチ果皮抽出液は、EGFR-ERK経路の抑制を介して細胞増殖を抑制し、さらにカルシウム誘発性表皮角化細胞分化を増強することが示唆された。 共同発表者：安部庄剛、下田穂絵、金岡大樹、<u>新居佳孝</u>、山崎博子、湯浅恵造
スダチ由来ポリメトキシフラボン・スダチチンの概日リズム調節作用と肝脂質代謝改善作用	共	令和5年5月	第77回日本栄養・食糧学会大会（於：札幌コンベンションセンター）	スダチチン投与が培養細胞および実験動物の概日リズムへ及ぼす影響を検討した。ヒト由来U2OS細胞にスダチチンを処置すると時計遺伝子<i>Bmal1</i>や<i>Per2</i>の発現リズムの振幅が有意に上昇した。そこで、高脂肪食投与マウスにスダチチンを長期間経口投与し、自発行動リズムと肝臓への影響を評価した。その結果、暗暗サイクル下においてスダチチン投与群で自発行動が高くなった。肝臓のトランスクリプトーム解析やメタボローム解析でもスダチチン投与により脂質代謝関連遺伝子や代謝産物の変動がみられた。スダチチン投与は概日リズムの調節に加えて、肝臓に作用して脂質代謝を調整する可能性が示唆された。 共同発表者：馬渡一論、小池宣也、野原一成、敷島康普、三浦宏之、<u>新居佳孝</u>、上番増喬、下畑隆明、八木田和弘、高橋章、Yoo Seung-Hee、Chen Zheng
スダチ特有ポリメトキシフラボン類の概日リズム調整活性の比較と作用メカニズムの解明	共	令和6年5月	第78回日本栄養・食糧学会大会（於：中村学園大学）	スダチに含まれるポリメトキシフラボン類の概日リズム調整活性の比較と作用メカニズムについて検討した。マウス線維化細胞を用いて時計遺伝子PER2のタンパク質発現リズムを測定すると、スダチチンとデメトキシスダチチンはリズム振幅を顕著に大きくする作用がみられた。次に、時計遺伝子<i>arntl</i>の転写調節リズムの転写制御領域RORE (retinoid-related orphan receptor-response element) への関与を評価した。その結果、スダチチンとデメトキシスダチチンは野生型ROREを介した転写調節活性を上昇したが、変異型

			ROREではこれが顕著に抑制された。また、siRNAによりRORaまたはRORgをノックダウンすると、スダチチンとデメトキシスダチチンによるarntlの転写が顕著に抑制された。以上の結果より、スダチチンとデメトキシスダチチンはROREを介したarntl遺伝子の転写によって概日リズムを調整している可能性が示唆された。 共同発表者：馬渡一諭、戸田沙慧、殿脇壺成、平野希美、山口ももか、上番増喬、高橋 章、敷島康普、三浦宏之、 <u>新居佳孝</u> 、Seung-Hee Yoo, Zheng Chen
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし		
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし		
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし		
その他の研究活動	①シカ肉ソーセージの新商品開発 令和5年度に「食品加工学実習Ⅰ」(食物専攻2年)において「シカ肉ソーセージ」の試作に取り組み、地元食品製造企業の協力のもと商品化された。令和6年度も引き続き、シカ肉ソーセージの新商品開発を行った。 ②スダチチン研究 スダチ果皮に含まれるスダチチンの研究に地元医薬品製造企業とともに取り組んだ。 ③日本農業新聞のオピニオン面(現場からの農村学教室)に研究紹介「スダチ果皮で抗肥満」を執筆し、令和6年9月8日に掲載された。 ④健康科学研究所(研究員) 高速細胞分析分取装置を担当した。		
教 育			
授 業	〔学部関係〕 ①後期担当授業科目名 「食品加工貯蔵学」(生活2年21名、3年5名。金曜日3講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「食品の安全性」(食物1年6名。月曜日1講時) 「食品学実験」(食物1年6名。金曜日3、4講時) 「食品加工学実習Ⅰ」(食物2年8名。月曜日3、4講時) 「食品衛生学Ⅱ」(食物2年6名。水曜日2講時) 「食品加工学Ⅱ」(食物2年8名。火曜日3講時) 「文理科学」(食物1年6名。木曜日4講時) 分担		

授 業	「総合ゼミナール」(食物1年6名。金曜日5講時) 分担 ②後期担当授業科目名 「食品衛生学」(食物1年6名。火曜日3講時) 「食品加工学Ⅰ」(食物1年6名。木曜日2講時) 「食品加工学実習Ⅱ」(食物2年8名。月曜日1、2講時) 「食生活特論」(食物2年5名。木曜日4講時) 「総合ゼミナール」(食物1年6名。水曜日5講時) 分担 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (9) コマ} \\ \text{後期 (7) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (16) コマ 〔その他の指導状況〕 ①栄養士実力認定試験、フードスペシャリスト資格認定試験受験用補講 「食品衛生学」「食品学各論」「生化学」「食品の安全性」「食物学」(食物専攻2年8名) ②臨地・校外実習、教育実習 令和6年8月20日 臨地・校外実習先巡視(病院) 令和6年9月3日 教育実習先巡視(中学校) ③テーブルマナー講習会 令和6年10月29日 ノビア・ノビオで実施した洋食テーブルマナー研修会に学生を引率した。(食物専攻1年7名)
学生指導	①面接の実施 食物専攻2年の担任・チューターとして前期(4月)、後期(9～10月)に担当学生と個人面接を行った。授業・学習や進路、健康状況、生活面、友人関係などあらかじめ面接票に記入してもらった上で、詳細に面接を行った。 ②ホームルームでの指導 定期的にホームルームを行い、学生の指導を行った。 ③学習ポートフォリオの入力指導 前期および後期に自己評価および目標計画の入力指導を行った。 ④新入生セミナー 令和6年4月20日 新入生セミナー(遍路ウオーク、大塚国際美術館)において学生を引率した。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ①日本栄養・食糧学会(正会員、参与) ②日本農芸化学会(一般会員) ③日本調理科学会(正会員) 〔公的機関の活動〕 ①野菜摂取量アップ専門部会(部会長)(徳島県保健福祉部健康寿命推進課) 令和6年6月20日 第1回野菜摂取量アップ専門部会(徳島県庁) 令和6年8月24日 「とくしま野菜週間」における街頭啓発(フジグラン北島) 令和7年3月5日 第2回野菜摂取量アップ専門部会(徳島県庁) 〔その他の活動〕 ①令和6年11月8日～9日 徳島ビジネスチャレンジメッセ展示説明

学外活動	(アスティとくしま) ②令和7年1月19日 とくしま食育ストリート展示説明 (イオンモール徳島)
学内活動	①研究紀要編集委員会 (委員長) 令和6年5月16日 第1回研究紀要編集委員会 (メール開催) ・研究紀要第108号に投稿された論文について査読および形式審査を行った。 令和6年11月15日 第2回研究紀要編集委員会 (メール開催) ・研究紀要第109号に投稿された論文について査読および形式審査を行った。 ②オープンキャンパス 令和6年4月28日 模擬授業「ふしぎ発見！食品が持つ水分！ ～食品の「水分調整」で保存性を向上させよう！～」担当 令和6年6月16日 短期大学部全体会対応 令和6年7月14日 学科説明、入試説明 令和6年7月27日 短期大学部全体会対応 令和6年8月18日 模擬授業「スダチのちから～小魚のカルシウムを効率的に 摂る方法～」担当 令和6年9月15日 短期大学部全体会対応 令和7年3月20日 短期大学部全体会対応 ③大学見学における体験授業 令和6年5月24日 小松島西高校勝浦校 (食品学実験) 令和6年6月8日 ヒューマンキャンパス高知学習センター (食品学実験) ④学内各種委員会 ・短大認証評価ワーキンググループ委員、自己点検・評価実施委員会委員 読み合わせワーキンググループ (3回)、短期大学部自己点検・評価実施委員会、 短期大学部認証評価 (面接調査) に出席。 ・短大総合型選抜入試運営委員 ・短大就職委員会委員 ⑤総合型選抜入試、指定校制推薦入試、奨学金面接 令和6年9月20日、21日 総合型選抜入試面接 令和6年10月5日 総合型選抜入試、「ミライのわたし」予約型応援奨学金面接 令和6年11月17日 指定校制推薦入試面接 ⑥フードスペシャリスト資格認定試験 フードスペシャリスト養成機関の教育責任者として学生の指導、試験監督等を担当 ⑦短大フェスタ 測定機器の借受、食品衛生責任者として営業許可申請を担当。

氏 名	佐 賀 啓 子 （ さ が け い こ ）			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 准教授			
最終学歴	高知県立大学大学院人間生活科学研究科博士後期課程修了 博士（生活科学）			
着任の年月	平成31年（2019年） 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 栄養局 科長（管理栄養士）			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 なし				
〔論文〕 研究報告 「食生活の現状と 100円朝食利用が 食生活に及ぼす効 果」 （査読付）	共	令和 3 年 9 月 （2021年）	徳島文理大学研研究 紀要 第102号 pp.43-51	学生の食生活の現状を本学学生に対して、アンケート調査を実施し、明らかにするとともに、100円朝食の活用効果を検証した。 朝食を自分で用意・購入・100円朝食を利用する割合は高い。100円朝食の利用頻度は週 1 回以上の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣を確立する効果が期待できることが明らかとなった。 共著者：坂井真奈美、松下純子、 長尾久美子、佐賀啓子、 原 里沙、田村友莉香
〔発表〕 「中国・四国支部 の多様な調理法と 仮定料理の伝承調 査―徳島県出身者 の郷土料理の喫食 状況と郷土料理に 対するイメージ・ 中四国 8 県と比較 して―」（示説）	共	令和 6 年 9 月	一般社団法人日本調 理科学会2024年度大 会（於：鎌倉）	伝統的な家庭料理や郷土料理の調理や喫食状況などを明らかにすることを目的に中国・四国地域 8 県を対象にアンケート調査を行い、徳島県の郷土料理を中心に調理、喫食状況について検討した。調査対象は令和 5 年 9 月報告と同様。徳島の郷土料理の喫食経験は、半田そうめん、そば米雑炊、たらいうどんで60%以上であった。郷土料理を後世に伝えてゆくのは大切だと80.7%が回答し継承意識は高いが、郷土料理を知るきっかけが、調理学実習で60%、次いで祖母44%、母41.3%、SNS29%であり継承手段として教育機関での修学の有効性が高い。 共著者：松下純子、後藤月江、 三木章江、佐賀啓子、 高橋恵子
「中国・四国支部	共	令和 5 年 9 月	一般社団法人日本調	急速に変化している家庭料理の現状

の多様な調理法と家庭料理の伝承調査」—全国調査：住居形態別および調理学実習における調理器具の使用経験の違い—」(示説)			理科学会2023年度大会（於：広島）	を把握し、家庭料理の伝承のための方策を検討することを目的に家庭料理の調理法および器具等に関する調査し、本発表では調理器具の使用経験について報告した。対象：中国・四国に在住する学生。有効回答数：1,062名（1,902名に依頼、有効回答率55.8%）。家族と過ごす自宅と一人暮らしとによる調理道具の種類や使用頻度の違い、また食に関わる調理学実習等の経験の有無により、昔ながらの調理道具や大人数の調理に適した道具などの使用経験に寄与していることが推察された。 共同発表：高橋啓子、板倉一恵、佐賀啓子、松井佳津子、岡本洋子、福留奈美
科研費採択状況（過去2年間）	該当なし			
研究助成金の交付等（過去2年間）	該当なし			
特許申請状況（過去2年間）	該当なし			
その他の研究活動	栄養士養成課程の学修における課題 多様な調理法と家庭料理の伝承について（日本調理科学会） 災害食について（日本調理科学会） 急性期医療における管理栄養士の役割について			
教 育				
授 業	〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「栄養カウンセリング論」生活科学科食物専攻2年8名：木曜1講時 「栄養学各論Ⅰ」生活科学科食物専攻2年8名：水曜5講時 「臨床栄養学実習」生活科学科食物専攻2年8名：木曜3・4講時 「栄養カウンセリング実習」生活科学科食物専攻2年8名：金曜3・4講時 ②後期担当授業科目名 「栄養学各論Ⅱ」生活科学科食物専攻2年8名：火曜3講時 「栄養学各論実習」生活科学科食物専攻2年8名：水3・4講時 「臨床栄養学」生活科学科食物専攻1年6名：木曜3講時 ③通年科目 「文理学」生活科学科食物専攻1年6名：木曜5講時 「総合科目D（食と健康）」生活科学科食物専攻1年6名：金曜5講時 〔大学関係〕 ①後期担当授業科目名 「栄養学Ⅱ」人間生活学部人間生活学科計28名：月曜1講時 (2年23名、3年4名、4年1名)			

授 業	「栄養学概論」 人間生活学部心理学科 計57名 : 月曜 3 講時 (3年51名、4年6名) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (6) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (14) コマ 〔その他の指導状況〕 ・栄養士実力認定試験受験対策 (補講): 9月～12月の5講時 (合計18回) 担当科目: 臨床栄養学 (7回)、解剖生理学 (3回)、栄養指導論 (3回) 栄養学各論 (3回)、総合力問題 (2回)
学生指導	・全国栄養士養成協議会: ゼスプリタイアップ授業の講義担当 令和6年7月2日(火) 4講時 1年2年合同 ・エシカル消費: 自主宣言について講義担当 令和6年6月4日(火) 4講時 1年2年合同 ①担任・チューター (生活科学科食物専攻2年生) ・個別面談: 前期4月実施、後期10月実施 ・随時の個別面談: 単位取得状況や授業出席状況が懸念される学生への指導 就職 (進路) に対する助言、相談、指導を実施 ・夏期および冬期、春期休暇前のホームルーム指導 ②とくしまエシカルマルシェへ出展・販売 令和6年8月4日(日) 学生プロデュースで商品化したシカ肉ソーセージの販売を実施するにあたり、事前準備と参加希望の2年生3名の学生ボランティア参加の指導・引率 ③臨地校外実習: 生活科学科食物専攻2年生 ・巡視日: 令和6年9月4日(水) たまき青空病院 ④栄養教諭2種免許取得に必要な教育実習 ・巡視日: 令和6年9月20日(金) 国府中学校 ⑤上板町包括連携「stop! フレイル予防 with 徳島文理大学」 令和6年9月16日(月・祝) 栄養相談コーナーを実施 町民の皆様の誘導および徳島県ベジメーター計測後の食事アドバイスを実施 2年生1名がボランティア参加の準備・指導・引率 ⑥フードサイエンティスト認定研修 (食品科学教育協議会) 令和6年9月24日(火) 14:40～16:10 オンライン開催の準備、学生指導 ⑦徳島ビジネスチャレンジメッセ展示 (開催は11月7日～9日の3日間パネル展示) 令和6年11月9日(土) エシカル消費～シカ肉をごちそうに～ 2年生1名ボランティア参加の準備・指導・引率 ⑧徳島ビジネスチャレンジメッセ期間中 令和6年11月9日(土) 小学生インターンシップ「栄養士の仕事」 午前の部と午後の部の2回実施 2年生1名ボランティア参加の準備・指導・引率 ⑨シカ肉ソーセージのジビエドッグ (あおさシャンテリーヌ添え) の販売提供 徳島キャンパス内カフェ・ロティにて限定20食を2年生が販売するにあたり準備・

学生指導	指導・引率 令和6年6月25日(火)、7月23日(火)、9月24日(火)、11月26日(火) 令和7年1月28日(火)の合計5回実施 ⑩シカ肉料理 学生考案レシピをTFTランチ提供日に合せて販売提供 学食パウゼ 販売にあたり2年生学生の事前準備・指導・引率 令和6年11月19日(火) シカ肉のタコライス、シカ肉のチャプチェ他 40食 12月17日(火) シカ肉の春巻き、シカ肉のチゲスープ他 40食 令和7年1月21日(火) シカ肉のビビンバ、シカ肉和風焼きシューマイ他 50食 ⑪とくしま食育ストリート(徳島県)への参加 令和7年1月19日(日) イオンモール徳島 ・シカ肉の環境問題解決に対するシカ肉料理の普及活動のプレゼンを実施 ・徳島県キッチンカー「でり・ばり阿波ふうど号」にて学生考案シカ肉和風焼きシューマイの無料試食提供を実施 2年生2名のボランティア参加の学生に対し事前指導・準備・引率 ⑫令和6年度「海外大学等とのオンライン交流事業」徳島県主催への参加 全学的な学生募集で、令和4年度から食物専攻学生は毎年学生が参加しており、令和6年度は1年生1名、2年生1名が他学部他学科の学生と共に活動 参加大学との合同会議：令和6年5月24日(金)、7月11日(木)、11月1日(金) 学内交流会は通年で随時開催 テーマに沿った取り組みに対して通年を通して学生指導、引率
活 動	
学外活動	〔所属学会等(保有資格)〕 ・日本栄養士会会員 ・日本栄養改善学会会員 ・日本家政学会会員 ・日本調理科学会会員 ・日本臨床栄養代謝学会会員 (元：栄養サポートチーム療法指導士) (日本栄養代謝専門療法士認定(専門領域)周術期・救急集中治療専門療法士) ・日本病態栄養学会会員(元：病態栄養認定管理栄養士) (元：がん病態栄養専門管理栄養士) ・日本糖尿病療養指導士認定機構認定(元：日本糖尿病療養指導士) ・日本腎臓病協会認定(元：腎臓病療養指導士) 〔学会関連の活動〕 ・日本調理科学会 中国・四国支部役員(令和4年4月～)3回/年 〔公的機関の活動〕 ・徳島県栄養士会 災害検討運営委員会 委員(令和4年6月～)12回/年 ・徳島県「とくしま災害栄養チーム」構成委員(令和5年2月～)2回/年 ・徳島県南部総合県民局保健福祉環境部〈美波〉健康増進担当(美波保健所) 令和6年度 地域における食育推進事業研修会(海部郡給食施設協議会共催) 令和7年2月26日(水)10:30～14:00(牟岐町海の総合文化センター) テーマ「食で叶える健康～食べて生活習慣病予防をめざしましょう～」 講師(調理実習を含む) 〔その他の活動〕 ・食品科学教育協議会(フードサイエンティスト認定)大学担当(令和4年4月～) 会議2回/年

学外活動	・日本調理科学会 中国四国支部 特別研究チーム委員（令和４年度～） ・日本調理科学会 中国四国支部 災害食検討委員（令和６年度～） ・出張講義 講師「栄養士の仕事の魅力」令和７年度３月10日(月) 愛媛県済美学園 済美高等学校 食物学科コース２年生対象 28名 ・進路ガイダンス 講師「栄養士の仕事」令和７年３月13日(木) 徳島県城西高等学校 １年生対象 14名
学内活動	①短期大学部 ホームページ委員 オープンキャンパス運営委員 ②入試関連 総合型選抜入試 : 令和６年９月28日(土) 徳島 面接 一般入試Ⅰ期Ａ日程: 令和７年２月３日(月) 阿南会場 試験監督 ③奨学金「ミライのわたし」 : 令和６年９月28日(土) 徳島 面接 ④オープンキャンパス: 主な担当 令和６年４月28日(日) 学科説明、授業補助 ６月16日(日) 模擬授業 ７月14日(日) 模擬授業 ７月27日(土) 学科説明、授業補助 ８月18日(日) 授業補助 令和７年２月15日(土) 授業補助 ３月20日(木・祝) 学科説明、授業補助 ⑤入学前ガイダンス 令和７年２月23日(日) ⑥あおさのりスイーツ会議 会議３回/年 ⑦広報: 生活科学科食物専攻・ホームページとInstagram投稿運営 随時/年 ⑧生活科学科食物専攻会議（議事録担当）６回/年 ⑨アカンサス会徳島県支部 幹事 ⑩アカンサス会沖縄県支部 事務担当

氏 名	儀 宝 修 (ギほう おさむ)									
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 准教授									
最終学歴	徳島大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了 (工学修士)									
着任の年月	令和 4 年 4 月 1 日 (2022年)									
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立徳島科学技術高等学校 校長									
研 究 (業績：過去 5 年間)										
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要						
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕		なし	なし	なし						
科研費採択状況 (過去 2 年間)	なし									
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	なし									
特許申請状況 (過去 2 年間)	なし									
その他の研究活動	なし									
教 育										
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「学校安全」 (生活 3 年、4 年。17名。金曜日 3 講時) 「社会教育特講」 (児童 3 年、4 年。5 名。月曜日 1 講時) 「総合科目 D (教育法規)」 (生活、心理 4 年。40名。木曜日 1 講時) ②後期担当授業科目名等 「事前・事後指導」 (メディア、児童、総政各 3 年、科目履修生。12名。金曜日 4 講時) 「生涯学習概論」 (生活 4 年。1 名。水曜日 2 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「事前・事後指導」 (言語 1 年。1 名。金曜日 4 講時) ②後期担当授業科目名 「キャリアプランニングⅡ」 (言語、商科、音楽各 1 年、留学生。21名。火曜日 2 講時) 「生涯学習概論」 (言語、商科各 1 年。3 名。水曜日 2 講時) 〔全コマ数〕 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">前期 (3) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">後期 (3) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> </tr> </table> 計 (6) コマ				{	前期 (3) コマ	}	{	後期 (3) コマ	}
{	前期 (3) コマ	}								
{	後期 (3) コマ	}								

授 業	〔その他の指導状況〕 ①教員・幼保養成対策講座（面接講座） 前期（生活、心理、児童各4年。24名。木曜日3講時） 後期（心理3年。1名。心理、児童各4年。5名。水曜日3講時） 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 1 ）コマ} \\ \text{後期（ 1 ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 2 ）コマ
論文等指導	なし
学生指導	〔全学共通教育センター学習支援アドバイザー〕 ①教員・幼保採用試験レベルアップ講座（面接・教育法規）（各90分） ②教員採用審査直前講座面接指導（3回×90分） ③教員採用審査受験者に対する個別指導（随時）
活 動	
学外活動	〔学生部業務〕 ①学生部副部長兼学生支援課長 ②人権教育推進委員会 ③学生指導支援協議会 ④学生と学長との懇談会 ⑤障害のある学生の実態調査関係 ⑥救急救命・熱中症対策講座関係 ⑦全学地域清掃ボランティア活動関係 ⑧ユニバス（大学スポーツ協会）関係 〔委員会活動〕 ①合同教授会 ②短期大学部教授会 ③教員・保育士養成対策委員会 ④広報担当者会 〔入試業務〕 ①地方試験の運営・監督（神戸試験場）
学内活動	〔公的機関の活動〕 ①徳島県退職高等学校長会事務局（事務局長） ②徳島県退職校長会（理事） 〔その他の活動〕 ①県内高校巡回（徳島科学技術高校、吉野川高校） ②県外高校巡回（鳥取県米子市、境港市内） ③県内ブロック進学説明会（徳島ブロック、吉野川ブロック） ④保護者会支部会（和歌山支部）

氏 名	近 藤 幸 (こんどう みゆき)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 講 師			
最終学歴	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教科・領域教育専攻 修了 (教育学修士)			
着任の年月	令和 5 年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島市富田中学校 教員			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔発表〕 1 ゲストと歩く ギャラリートーク 「一原有徳・版の ワンダーランド」 展示解説	共	令和 3 年 5 月	「一原有徳・版のワ ンダーランド」(徳 島県立近代美術館)	徳島県立近代美術館企画展「一原有 徳・版のワンダーランド」におい て、一般約10名を対象に美術館上 学芸員竹内利夫の進行で自作と一原 有徳の関わりや作品解説等のギャラ リートークを行った。
2 「彫らない技 法で作る版画～シ リコンプレート版 画～」 ワ ー ク ショップ	単	令和 6 年10月	アワガミ国際ミニブ リント受賞作品展 (阿波和紙伝統産業 会館)	アワガミ国際ミニプリント10年間の 受賞作品展イベントとしてシリコン プレートによるモノタイプ(平版技 法)の解説と制作ワークショップ (定員一般10名)を行った。
〔作品発表〕 1 「風光る」木 版画	単	令和 2 年10月	日本版画協会 第87回日本版画協会 展 (東京都美術館)	水性多色木版 10版11度刷り 30× 45 (cm)
2 「明け行く」 「裏遊び」木版画	単	令和 3 年10月	日本版画協会 第86回日本版画協会 展 (東京都美術館)	「明け行く」 水性多色木版 10版11 度刷り 45×60.5 (cm) 「裏遊び」 水性多色木版 10版11度刷り 91× 45 (cm)
3 「Forgotten Places ～忘れゆ く場所～」 「夜さ りのころ」木版画	単	令和 4 年 9 月	日本版画協会 第89回日本版画協会 展 (東京都美術館)	「Forgotten Places ～忘れゆく場所 ～」 水性多色木版 9 版10度刷り 60.5×91 (cm) 「夜さりのころ」 水性多色木版 9 版10度刷り 45×30 (cm)
4 「よるになっ て」木版画	単	令和 5 年 9 月	アワガミ国際ミニブ リント展2023 (阿波 和紙伝統産業会館)	吉野川市長賞 受賞 水性多色木版 8 版10度刷り 16× 24 (cm) 会場にて受賞者ギャラリートークに よる作品解説と審査員による講評会 を公開で行った。

5 「浮生(fusei)」 「泰運(taiun)」木 版画	単	令和5年10月	日本版画協会 第90回日本版画協会 展（東京都美術館）	「浮生 (fusei)」水性多色木版8版 9度刷り 43×60 (cm) 「泰運 (taiun)」水性多色木版8版 9度刷り 60×91 (cm)
6 「春萌すほとり」 「めぐりゆく もの」木版画	単	令和6年10月	日本版画協会 第91回日本版画協会 展（東京都美術館）	「春萌すほとり」水性多色木版8版 10度刷り 60×91 (cm) 「めぐりゆくもの」水性多色木版8 版11度刷り45×91 (cm)
〔個展・その他〕 十一月画廊5人展	共	令和2年1月	十一月画廊（東京）	「雨後の夕」他木版画23点の発表
Art Fair 14C	共	令和2年2月	Art Fair 14C（アメ リカ/New Jersey）	「夕さらず」他木版画6点の展示と 順刷り解説の発表 *十一月画廊より出品
個展「空の輪郭 -skyline-」	単	令和2年3月	アートデアート・ ビュー（高槻市）	木版画11点、鉛筆画2点、水彩画10 点、ミクストメディア7点の発表 *「版画芸術 展覧会プレビュー」 に掲載 *J:comデイリーニュースにて放映
個展「空の境界」 ” Beyond the skyline”	単	令和2年7月	十一月画廊（東京）	「しづく」他木版画9点、水彩画13 点の発表 *「東京新聞」（7月16日朝刊）掲載 *「朝日新聞」（7月21日夕刊）掲載
Gwangju Interna tional Art Fair	共	平成2年10月	Gwangju Internatio nal Art Fair 2019 （韓国 光州市）	「ゆうかげ」他木版画6点の発表。 *十一月画廊より出品 *「ゆうかげ」上海半島美術館収蔵。 水性多色木版 10版11度刷り 91× 45 (cm)
個展「一瞬の静寂 近藤幸木版画 展」	単	令和3年3月	ワイアートギャラ リー（大阪）	「空と森」他木版画15点、水彩画10 点の発表
個展「近藤幸展」	単	令和3年10月	アートギャラリー GRACE（徳島）	「風光る」他木版画25点、水彩画10 点、立体「雲の子（くろ）」他10点 の発表
個展「近藤幸展- 木版画・その他-」	単	令和3年11月	ギャラリー ACS （名古屋）	「明けゆく」他木版画16点、水彩画 7点、立体15点の発表
個展「近藤幸 木 版画・立体展」	単	令和4年9月	十一月画廊（東京）	「forgotten place ～忘れ行く場所 ～」他木版画11点、立体11点、陶立 体2点の発表

個展「漂泊の風景を描きたい」	単	令和4年11月	ワイアートギャラリー（大阪）	「夜さりのころ」他木版画15点、パステル・水彩画10点の発表 *会場にて版木の展示解説、彫りの実演
個展「阿波を彫る 近藤幸木版画展」	単	令和5年2月	松山三越美術ギャラリー	「月映」他木版画29点の発表 *時津画廊より出品
「風景がうたう木版画 近藤幸 渡辺裕司展」	共	令和5年4月	ワイアートギャラリー（大阪）	「旅の窓シリーズ」他木版画15点の発表
個展「近藤幸展 -木版画・他-」	単	令和5年6月	ギャラリー ACS（名古屋）	「in blue」他木版画12点、パステル画9点、「水の庭シリーズ」アクリル立体6点の発表 *「朝日新聞」（6月7日朝刊）掲載
個展「近藤幸展」	単	令和5年7月	ITONAギャラリー / ナガイレーベン（東京）	「夏日暮」他木版画24点、パステル画5点、「水の庭シリーズ」アクリル立体6点の発表
個展「第19回徳島版画GRACE賞受賞記念 近藤幸展」	単	令和5年11月	ギャラリー 喫茶 GRACE（徳島）	「よるになって」他木版画18点、パステル・水彩画8点、アクリル立体6点の発表
個展「近藤幸木版画展 ～flow of time～」	単	令和6年1月	アートデアート・ビュー（高槻）	「浮生（fusei）」他木版画22点、ドローイング13点、アクリル立体6点の発表
個展「近藤幸展 Luce e Ombra 木版画・ドローイング」	単	令和6年9月	眉峰ギャラリー（徳島）	「wayside A」他ドローイング（パステル・水彩）19点、木版画8点、アクリル立体2点の発表
個展「近藤幸展 “Slowly and gentry”」	単	令和6年9月	十一月画廊（東京）	「春萌すほとり」他木版画12点、パステル・水彩画16点の発表
グループ展「第21回徳島版画展」	共	令和6年10月	阿波銀プラザ（徳島）	木版画3点「めぐりゆくもの」「春萌すほとり」徳島百景「返照」の発表 *「返照」が観客賞を受賞
個展「近藤幸 木版画展」（第20回徳島版画展阿波和紙会館賞受賞記念）	単	令和6年11月	阿波和紙伝統産業会館（徳島）	「約束の丘」「夢守り」等過去の受賞作を含む木版画48点を発表

個展「近藤幸 木 版画展Serene days ～穏やかな日々 ～」	単	令和7年3月	ワイアートギャラ リー（大阪）	「泰運（taiun）」他木版画17点、パ ステル画11点、アクリル立体4点の 発表 *会場に於いて水性木版摺りの実演
科研費採択状況 （過去2年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去2年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去2年間）	該当なし			
その他の研究活動	版画普及のための技法として、ジェルプリント、ヘクトグラフ等の平版印刷につい て研究し、資料作成や試作を行い一般向け版画講座に取り組んだ。			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「色彩・造形論」（建築デザイン1年30名。月曜日3講時） 「造形演習」（建築デザイン1年30名。4年1名。月曜日1・2講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「デッサンⅠ」（生活科学専攻1年。5名。木曜日1・2講時） 「絵画Ⅰ」（生活科学専攻2年。5名。金曜日3・4講時） 「グラフィックデザインⅡ」（生活科学専攻2年。10名。水曜日3・4講時） 「着彩写生」（生活科学専攻2年。9名。火曜日1・2講時） 「文理学」（生活科学専攻1年。6名。木曜日4・5講時） ②後期担当授業科目名 「グラフィックデザインⅠ」（生活科学専攻1年。2名。月曜日3・4講時） 「デッサンⅡ」（生活科学専攻1年。1名。木曜日3・4講時） 「絵画Ⅱ」（生活科学専攻2年。5名。水曜日3・4講時） 「卒業制作（絵画）」（生活科学専攻2年。5名。金曜日3・4講時） 「総合実習」（生活科学専攻2年。3名。火曜日1・2講時） 「総合ゼミナール」（生活科学専攻1年。6名。水曜日5講時） 〔全コマ数〕$\left\{\begin{array}{l} \text{前期（13）コマ} \\ \text{後期（11）コマ} \end{array}\right\}$計（24）コマ			
学生指導	①生活科学専攻2年生担任 ・前期・後期の授業履修や進路・就職活動等について、個々の特性や目標を把握し ながら面談による指導や面接練習等を行った。 ・欠課の多い学生や課題提出が困難な学生に対して、保護者や授業担当者と連携を 取りながら個別に指導を行った。 ②短大フェスタ ・ワークショップの企画、準備や運営を学生たちで行えるよう指導し、自信を持っ て多くの人と関わり、ものづくりの楽しさを実感できる機会とすることができ た。			

学生指導	③卒業制作展の準備・展示指導 ・作品やキャプションの配置、空間デザインの展示方法などの検討・指導を通して、自分たちで展覧会を成功させる喜びや達成感を得る経験にすることができた。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ・版画学会会員 ・日本版画協会会員（審査員） ・徳島版画会員（事務局・実行委員） 〔公開講座〕 徳島県リカレント教育推進事業「アート&クラフトで美術教育スキルアップ講座～専門的な技法や用具の扱いを体験から学ぶ～」 2月8日、2月15日、2月22日 3日間、計4講座実施 〔その他の活動〕 ①徳島県立近代美術館資料集委員 第46回徳島県立近代美術館資料収集委員会（1月15日） ②徳島県中学校総合文化祭美術作品展 審査員（11月7日） ③第21回徳島版画展（10月31日～11月4日） 事務局として企画・運営、目録作成等を行う ギャラリートーク進行（11月2日）
学内活動	①入試関連 ・総合型選抜入試担当 ・総合選抜型入試 面接（ミライのわたし採用面接含む） 9月15日 9月18日 9月28日 10月5日 10月26日 ②オープンキャンパス等 ・学科説明、短大全体会の全体説明・補助。模擬授業担当 4月28日 8月18日 ・大学見学 学科説明と体験授業 6月28日ヒューマンキャンパス高等学校（高知） 11月12日徳島県立池田高等学校 ③生活科学専攻広報資料制作 ・生活科学専攻フライヤーのデザインと印刷 ・短大スタイルブック担当 ・専攻学生の出身高校別フライヤー作成 ④短大フェスタ 10月26日 ・生活科学科ワークショップ「ハンドストラップをつくってみよう」の準備と運営 ⑤卒業制作展 ・卒業制作展Ⅰ期の準備・展示、受付指導、作業、目録と礼状の作成 ・ハガキ、チラシ、ポスター制作と高校への送付

氏 名	児 嶋 輝 美 （ こじま てるみ ）			
所属・職の種類	短期大学部保育科 教 授 （ 学科長 ）			
最終学歴	国立音楽大学大学院音楽研究科 修了（ 芸術学修士 ）			
着任の年月	昭和62年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島文理大学短期大学部非常勤講師			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 1. 『実践 心ふれ あう 子どもと表 現』	共	令和 3 年 2 月	みらい	第 1 部第 2 章「領域『表現』のねらい及び内容」、 第 2 部第 3 章「会話としての手遊び歌」、 第 3 部第 3 章「伝統芸能」、その他 コラムを執筆。 平成29年の幼稚園教育要領等の改訂 を踏まえ、領域「表現」のねらいと 内容、「幼児期の終わりまでに育っ てほしい姿」との関連などを具体的 な事例をあげて説明した。また、手 遊び歌な保育教材について、音楽的 な能力や社会性の育つにつながるこ とを理解して実践することが大切で あることを述べた。 ＜共著者＞ 松家まきこ（淑徳大学）、鈴木範之 （常盤短期大学）、岸川良子（福岡こ ども短期大学）、土橋久美子（白百 合女子大学）、西村愛子（駒沢女子 短期大学）、松田聖子（帝京平成大 学）、松本哲平（駒沢女子短期大学） 他
〔論文〕 1. 保育書に基づ く乳幼児の音楽表 現の姿について — 3 歳未満児の場 合—	共	令和 2 年 3 月	徳島文理大学研究紀 要第99号	3 歳未満児の保育において音楽表現 は重要な保育内容の一つであり、実 践には発達の理解が不可欠である。 本研究では、保育書の音楽表現に関 する記述を整理し、テキストマイニ ングによる分析を用いて3 歳未満児 の音楽表現の姿14項目を示した。さ らに、その姿が実際の子どもにあて はまるかを検証するために、徳島県 A 市の保育所と認定こども園におい てアンケート調査を行った。その結 果、半数程度の項目では保育書の記 述にあてはまったが、あてはまらない 項目もあった。今後、さらに対象

2. インターネットで配信される創作手遊び歌の変化について —保育教材としての検討—	単	令和3年9月	徳島文理大学研究紀要第102号	を拡げて検証することが課題である。 ＜共同研究者＞ 古本奈奈代（徳島文理大学）、河内奈穂（松山東雲短期大学） インターネットで配信されている創作手遊びの中から、再生回数の多い6曲を取り上げ分析した結果、全般に音域が狭まり平坦な旋律になっていることやリズムが単純化していることなどの特徴が明らかになった。結果として子どもにとって歌いやすい曲になっていることから、手遊び歌が遊びの中で変化することは自然であるという見解を示した。一方で、子どもとのやりとりを経ずに動画の拡散によって変化したものが多いことを問題点として指摘。保育教材として音楽と遊びの両面を大切に伝えていくことの大切さを述べた。
3. 保育者養成校が行う子育て支援の取り組みについて —本学のペンギンクラブ子育て支援イベントの成果と課題—	共	令和4年3月	徳島文理大学研究紀要第103号	全国の大学が行う子育て支援の取り組みについて運営の形態や実施の状況を明らかにするとともに、本学保育科が行ってきた子育て支援イベントを振り返り、成果と課題を検証することを目的として取り組んだ。全国の102校の取り組みを調べた結果、約5割が自治体やNPOとの連携や委託によるものであることや多くの大学が授業や実習指導と関連付けていることなどが明らかになった。また、本学の取り組みについては利用者へのアンケートや学生の感想などから、保護者から好評価を得ていることや一定の教育効果をあげていることが確認できた。今後の課題は、継続可能な仕組みを整えること、ICTの活用、活動の評価方法の検討である。 ＜共同研究者＞森万里子（徳島文理大学短期大学部）、勢井香菜子（徳島文理大学学生）
4. 絵本から広がる音楽表現	単	令和4年5月	幼児音楽研究第71号	幼児は絵本の文章をリズムをつけて口ずさんだり、印象に残った場面をごっこ遊びで再現したりすることがある。絵本は表現活動のきっかけになることに注目して、音楽表現の視点からこれまで行った保育実践を紹介するとともに、絵本を題材にした音や音楽の楽しみ方についての提案を行った。

5. 保育現場における手遊び歌の伝承とその意味 —作者不詳の作品にみる手遊び歌の変遷—	共	令和4年9月	徳島文理大学研究紀要第104号	手遊び歌は広まっていく過程で変化する傾向がある。その変化の中に保育現場での手遊び歌の用いられ方や好まれる要因があるのではないかと考え、作者不詳の手遊び歌について旋律やリズム、歌詞の分析を行った。その結果、旋律が平坦化しリズムが単純化する音楽面での傾向が見られた。また、保育者の工夫や子どもとの相互的なやり取りの中で変化したと考えられるものがあり、手遊び歌が応用性の高い保育教材であることが確認できた。 <共同研究者> 釘宮貴子（徳島文理大学非常勤講師）
6. 徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて —遠隔授業によるボランティア活動推進の試み—	共	令和5年3月	徳島文理大学研究紀要第105号	短期大学部「総合科目A（ボランティア）」では30時間のボランティア活動の他に、5回の講義の受講を単位認定の条件とし、令和3年度から講義を遠隔で行っている。本研究はその報告と成果の検証である。受講者を対象としたアンケート調査の結果、遠隔授業は好意的に受け止められており、授業の内容にはほとんどの学生が満足していることが明らかになった。一方で、実際に活動に参加した学生は少なかった。ボランティアへの興味・関心を行動に繋げていくための授業内容や働きかけが今後の課題である。 <共同研究者> 島田俊朗、則包光徳、藤本和賀代、堀口誠信、松下純子（徳島文理大学短期大学部）
7. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討 —卒業生へのアンケート調査に基づく課題と改善—	共	令和5年9月	徳島文理大学研究紀要第106号	教育職員免許法等改正に伴い、令和5年度から「領域に関する専門的事項」に関する科目が新設された。そのことを機に、これまでの領域に関する授業内容を見直し改善を図ることを目的として、卒業生に対するアンケート調査を行ったものである。その結果、保育者としての経験年数や担当クラスの年齢によって必要と感じる技術や知識が異なること、特に経験年数が短い保育者は技術的な面での必要度が高いことなどが明らかになった。結果を踏まえ、各自の授業での今後の課題について述べた。 <共同研究者> 石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子（徳島文理大学短期大学部） 金子紗枝子、古本奈奈代（徳島文理大学）

8. 保育学生の「保育における不適切なかかわり」に関する意識について	共	令和6年9月	徳島文理大学研究紀要第108号	保育現場における子どもへの不適切なかかわりの報道が相次ぐ状況を懸念し、実習指導や授業に役立てることを目的とし、学生の意識を知るためにアンケート調査を行った。全国保育士会が作成した「人権擁護のためのセルフチェックリスト」について不適切と感じる度合いを問うものである。その結果、実習経験の有無によって不適切と感じる度合いに違いが見られ、項目によっては実習経験のある学生の方が不適切と判断しにくいと感じていることが明らかになった。結果を踏まえて、今後の実習指導や授業の在り方について考察を述べた。 <共同研究者> 船本孝子、森万里子（徳島文理大学短期大学部）、古本奈奈代（徳島文理大学）
〔研究発表〕 1. 保育者を対象としたピアノの再教育の試み（3） —オンラインピアノレッスンのためのアプリケーション開発—	共	令和2年5月	日本保育学会第73回大会	スマートフォンによるビデオ通話機能を利用したピアノレッスンの実証実験結果を踏まえ、実用に向けてアプリケーションを開発した。受講希望者がスマートフォンから登録し、希望する指導者や日時を選択して申し込むシステムである。実用化に向けては個人情報保護やLINEの使用許諾などの問題を解決する必要がある。 <共同研究者> 古本奈奈代、篠原靖典（徳島文理大学）、河内奈穂（松山東雲短期大学）
2. インターネットによる手遊び歌の伝承について —YouTubeにみる創作曲の変化—	単	令和2年9月	幼児音楽研究会研究大会	インターネット上では多くの手遊び歌の動画が配信されているが、明らかに原曲と異なる形で拡散されているものが少なくない。そこで、保育教材としての検証を目的として最大大手の動画配信サイトYouTubeでの手遊び歌の実態を調べるとともに、変化の特徴について分析を行った。その結果を踏まえ、保育内容として音楽性や育ちとの関連性を考える必要があること、配信者と利用者側の双方がインターネットリテラシーを身に着けることが重要であることなどを述べた。
3. インターネット上で配信される創作手遊び歌の変化	単	令和3年3月	日本保育者養成教育学会第5回研究大会	インターネット上で配信される創作手遊び歌のうち、原曲と異なる形で伝えられている20曲を確認した。変

について —保育教材としての検討—				化の特徴として、旋律やリズムが単純化していることや同じフレーズのくり返しが多いことなどがあげられる。結果として幼児が歌いやすい曲になっていることや「遊び」としてやりとりの中で曲が変化するのは自然であることを述べたうえで、伝え手と受け手に「音楽作品」として吟味する意識や保育内容としての理解が不足していることを指摘。養成校の課題としてインターネットリテラシーと共に、保育内容として子どもの発達や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連等を指導する必要を述べた。
4. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討 —卒業生へのアンケートから—	共	令和5年5月	日本保育学会第76回大会	領域に関する授業内容を見直し改善を図ることを目的として、卒業生に対するアンケート調査を行ったものである。その結果、保育者としての経験年数や担当クラスの年齢によって必要とを感じる技術や知識が異なることが明らかになった。自由記述からは、保護者への対応、指導計画や書類の作成、年齢に応じた手遊びや活動などを必要としていることが明らかになり、卒業後教育の必要性が課題として浮かび上がった。 ＜共同研究者＞ 石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子（徳島文理大学短期大学部） 金子紗枝子、古本奈奈代（徳島文理大学人間生活学部）
研究助成金の交付等	令和6年度 中・四国保育士養成協議会教職員研究費助成 「保育実践の向上に繋がる手遊び歌の指導について」（共）共同研究者：河内奈穂（松山東雲短期大学）			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「保育内容（表現）A」（児童学科2年 41名 3年 2名 金曜1講時） ②後期担当授業科目名等 「保育内容総論」（児童学科1年 18名 火曜3講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「保育内容総論」（保育科2年 18名 児童学科3年 4名 月曜2講時） 「幼児と表現」（保育科1年 11名 金曜2講時） 「子育て支援」（保育科2年18名 水曜3講時） 「児童文化①」（保育科1年 11名 木曜1講時） 「音楽Ⅲ①」（保育科2年 18名 火曜1講時） 「総合科目A（ボランティア）」（短期大学部1年19名 水曜5講時）			

授 業	「文理学」(保育科1年 11名 木曜4講時) ②後期担当授業科目名 「保育内容(表現)A」(保育科1年 11名 火曜2講時) 「音楽Ⅲ②」(保育科2年 19名 金曜1講時) 「総合科目B」(保育科2年 19名 木曜2・3講時) 「児童文化②」(保育科1年 11名 木曜1講時) 「保育・教職実践演習(幼)」(保育科2年 19名 金曜3講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (6) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (14) コマ
学生指導	①「第41回おとぎのくに」の指導 保育科の1・2年生が、保育所・幼稚園の幼児を招待してミュージカルやブラックシアター等を上演する行事「おとぎのくに」の責任者として学生の指導を行っている。第41回は11月26日・27日の2日にわたってむらさきホールにおいて開催し、約1000人の幼児や引率の保育者等を招待した。その演目(ミュージカル、ハンドベル、合唱、ダンス)と、運営全般について責任者として指導を行った。特に、1年2年のミュージカルについてはテーマの設定から台本作りまで、学生が意見を出し合ってまとめていく過程をサポートした。保育科の全学生が協力して取り組んだことによって、学生の学科への帰属意識や一体感を高めることに結びついたとともに各自が達成感や自己肯定感を味わう経験になったと思われる。 ②第64回中・四国保育学生研究大会における研究発表 11月に行った「おとぎのくに」でのミュージカルをもとに「魔法の国から来た女の子～ミュージカルの創作を通して多様性を考える～」をテーマに研究発表を指導した。作品の一部を動画で紹介しながら、テーマの「多様性」についての考察を述べた。 ③子育て支援イベント「ペンギンクラブ」 未就園の乳幼児と保護者を対象とした子育て支援イベントである。今年度は親子の「運動遊び」「リズム遊び」「歯の健康」などをテーマに8回開催し、のべ119組267人の親子が参加した。学生に事前指導を行ったうえで手遊びや絵本の読み聞かせなどを担当させている。人前に出ることに自信がなかった学生も、経験を重ねると堂々と発表できるようになっており、保護者に話しかけたり子どもの相手をしたりするなど臨機黄変に対応できるようになっている。子育て支援について実践的に学ぶ機会になっている。 ④Bunriハンドベルクワイアの指導 部員13名からなるハンドベルサークルの指導を行い、5月の国際ロータリークラブ、国府支援学校、ファミリーサポートセンタークリスマス会、発達支援センター等での演奏活動を行った。
活 動	
学外活動	〔学会等活動〕 ・ 幼児音楽研究会常任理事 ・ 日本保育学会会員 ・ 日本音楽教育学会会員 ・ 全国大学音楽教育学会会員 ・ 日本ハンドベル連盟会員 〔公的機関の活動〕 ・ 徳島県社会教育委員

学外活動	・令和6年度保育士試験 実技試験採点委員 ・社会福祉法人ローガン記念徳島栄光福祉会第三者委員 ・社会福祉法人喜久伸会評議委員 ・特定非営利活動法人美千会第三者委員 〔各種講演・その他〕 ・令和6年6月 徳島県保育事業連合会 新任保育士研修講師 ・令和6年8月 第38回全日本私立幼稚園連合会四国地区教育研究大会（徳島大会）における指導助言 ・令和6年8月 「高校生の読み聞かせボランティア養成講座」講師 ・令和6年8月 わかば認定こども園職員研修講師 ・令和6年10月 鳴門聖母幼稚園職員研修講師 ・令和6年11月 阿波市保育事業協議会保育・教育内容研修会講師 ・令和6年12月 徳島県保育事業連合会主催保育士等キャリアアップ研修講師 ・令和6年12月 徳島市シルバー人材センター 研修会講師 ・令和7年1月 城南こども園職員研修講師
学内活動	・全学教務委員 ・自己点検・評価実施委員 ・教員・保育士養成対策委員会委員 ・短大認証評価ワーキンググループ ・教員・保育士養成対策委員 ・短期大学教務委員 ・短期大学部オープンキャンパス運営委員 ・短期大学部「短大スタイルブック」編集作業 ・Bunriハンドベルクワイア顧問 ・第20回保育セミナーの企画・運営 ・ブロック別進学説明会（徳島、宇和島、阿南・那賀）

氏 名	釘 宮 貴 子 （ くぎみや たかこ ）			
所属・職の種類	短期大学部保育科 教 授			
最終学歴	名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程（博士・学術）			
着任の年月	令和 5 年 4 月 1 日			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島文理大学音楽学部非常勤講師			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 『ウィルヘルム・ キーンツル 4つ の日本の歌 Op.47』	単	令和 6 年 4 月	カワイ出版	オーストリアの作曲家ウィルヘルム・キーンツルは、カール・フローレンツによる和歌の翻訳『東の国からの詩の挨拶』（1894）から選んだ4つの詩に曲を付け1895年に歌曲集『4つの日本の歌 Op.47』を出版した。本書は作曲の背景、原詩、翻訳詩、楽曲についての研究成果をもとに楽譜を新たに構成し解説を加えたものである。
〔論文〕 ①査読論文 1 「1890年代から1910年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニズム」 第9回ジャポニズム学会奨励賞	単	令和 2 年 2 月	名古屋大学博士学位論文	東京音楽学校のお雇い外国人音楽教師ルドルフ・ディットリヒによる明治期の西洋音楽教育の実像を丹念な資料調査により解明した。また、東京帝国大学のお雇い外国人教師ルドルフ・ランゲとカール・フローレンツにより日本文学が母国に持ち帰られ、それらを土台として、ドイツ・オーストリアで音楽作品が作曲されていることを初めて明らかにした。特にフローレンツによる和歌のドイツ語訳を歌詞とした声楽曲が多く作曲されていることは注目される。今では忘れられたこれらの作品群を音楽のジャポニズムとして位置付け、その発展段階を6つのカテゴリーに分類した。
2 「1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニズム —日本の旋律と詩歌による音楽作品—	単	令和 3 年 3 月	『ジャポニズム研究』 40号、73-98頁	ドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニズムについて美術のジャポニズムと比較しながら考察を行った。1890年代から1900年代にかけて日本に関連する音楽作品が作曲されており、そのほとんどはお雇い外国人教師として来日した音楽家や文学研究者が母国に持ち帰った日本の音

3 「カール・フローレンツの『東の国からの詩の挨拶 Dichtergrüsse aus dem Osten』(1894) とジャポニスムの歌曲」	単	令和 6 年 3 月	徳島文理大学研究紀要第107号、1-11頁	楽資料や文学作品を土台としている。最も初期のものは日本旋律に和声伴奏を付けて編曲したもので、続いて和歌の翻訳を歌詞とした声楽曲が作曲された。西洋詩とは異なる和歌の形式は、新しい素材としてドイツ・オーストリアの作曲家に影響を与えていたことを明らかにした。 19世紀末から20世紀にかけて、ドイツ・オーストリアでは和歌のドイツ語訳を歌詞とした歌曲集が出版されている。本論文では東京帝国大学のお雇い教師、カール・フローレンツの『東の国からの詩の挨拶』(1894)に掲載された翻訳詩を歌詞とした5つの歌曲集(全28曲)と2つの歌曲を取り上げ、その特徴を明らかにした。キーンツル、グルーベ、マルクス、ゲルンスハイムの歌曲には音楽的には日本の音階や日本風の旋律は引用されておらず、後期ロマン派から近代のドイツ歌曲の様相である。19世紀末から20世紀にかけて西洋音楽は常に新しい素材を求めていた。本論文で取り上げた歌曲は、今では演奏される機会はほとんどないが、日本文化が西洋音楽に影響を及ぼした初期の例として歴史的意義を持つ作品群である。
②研究紀要 1 「保育現場における手遊び歌の伝承とその意味—作者不詳の作品にみる手遊び歌の変遷—」	共	令和 4 年 9 月	徳島文理大学研究紀要第104号、43-54頁	手遊び歌は広まっていく過程で変化する傾向がある。その変化の中に保育現場での手遊び歌の用いられ方や好みといった要因があるのではないかと考え、作者不詳の手遊び歌について旋律やリズム、歌詞の分析を行った。その結果、旋律が平坦化しリズムが単純化する音楽面での傾向が見られた。また、保育者の工夫や子どもとの相互的なやり取りの中で変化したと考えられるものがあり、手遊び歌が応用性の高い保育教材であることが確認できた。 ○児嶋輝美、釘宮貴子
〔学会発表〕 ①国際学会発表 1 The Spiritual Nature of Japan Depicted in Opera—Die Dorfschule	単	令和 3 年12月	The Society for the Study of Japonisme International Symposium 2021 Japonis	The Japanese spirituality depicted in the opera “Dorfschule” (1919), based on the Kabuki play “Terakoya”, composed by Felix Weingart

(1919) by Felix Weingartner—			me and Eastern Thoughts (Religion, Philosophy, Aesthetics) (Virtual Symposium)	ner, was discussed. The Kabuki play “Terakoya” tells the story of a man who sacrifices his own child for the sake of loyalty to a former lord. Weingartner has adapted the opera around the idea of 'vassal loyalty', which is common to both the West and Japan. Musically, Weingartner used Oriental parallel chords to express the Confucian loyalty of the warriors, and the Romantic method in the Christian expressions and the singing of the knightly spirit. In Vienna at the time, the image of 'Japan = geisha' had been formed, but the opera The School in the Village overturned this image.
2 The transformation of Japonisme opera in Germany and Austria: The Japanese depicted in Theodor Szántó's opera Typhoon (1924)”	単	令和 5 年11月	International symposium 2023 “Performative Japonisme” (Musashino Art University Ichigaya Campus)	Opera “Typhoon” (1924) by Theodor Szántó is the fourth German-Austrian Japonisme opera. The opera features the emerging nation of Japan, which was gaining power and rising to prominence in the West. Based on the Yellow Peril theory, which was the social trend at the time, the opera focuses on the difference between the Japanese and Western way of thinking, although there are also expressions of wariness towards Japan and the superiority of the West. The Japanese are portrayed as a people who place the highest priority on their duty to the state, contrasted with Westerners who place the highest value on personal affection. Japanese songs such as “Kimi gayo” and “Chushingura” are quoted in the opera to express the patriotism and loyalty of the Japanese people. The opera “Typhoon” shows how the West viewed the Japanese in the early 20th century.
②国内学会招待講演 1 1890年代から1910年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム—3人のお雇い外国人教師が伝えた	単	令和 2 年 5 月	第 9 回ジャポニスム学会奨励賞受賞講演 (オンライン)	ドイツ・オーストリアにおける初期段階の音楽のジャポニスムにおいて重要な役割を果たしたのは明治期に招聘されたお雇い外国人教師であった。彼らは実際に日本に住み、日本音楽や日本文学に接していた。母国に帰国した後に彼らが伝えたもの

日本文化をめぐって— ③国内学会発表 1 日本の旋律と詩歌による1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアにおける音楽作品 2 F・ワインガルトナーの音楽作品における日本と西洋の融合—オペラ『村の学校』Op.64 (1919) — 3 20世紀初頭のウィーンで作曲された日本を題材と	単 単 単	令和2年2月 令和2年11月 令和3年5月	ジャポニズム学会 第5回研究会 (文化学園大学) 日本音楽学会 第71回全国大会 (武蔵野音楽大学) 早稲田大学総合研究機構オペラ／音楽劇研究所第194回オペ	は、疑似的日本文化ではなく、彼らの目を通して実際に見聞きした日本文化であった。彼らが著した日本音楽についての論文、日本の唱歌集や日本詩歌の翻訳、そして日本の旋律を用いた音楽作品は、西洋の人々に影響を与え、日本を題材にした音楽作品が生み出される土台となった。お雇い外国人教師の使命は、西洋の思想や文化芸術を通して日本人を啓蒙することであったが、彼らは日本文化を西洋に伝える役目も果たしていた。 音楽のジャポニズムは美術のジャポニズムの定義になぞらえると「日本美術・日本音楽・日本文学からヒントを得て、作曲のさまざまなレベルにおいて、新しい聴覚表現を追求したもの」と言えるのではないか。ドイツ・オーストリア音楽のジャポニズムは、これまであまり研究されてこなかったが、日本の旋律や詩歌による音楽作品が作曲されており、多くは日本とドイツ・オーストリアの間を人が移動したことにより生み出されたものである。1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアの音楽作品から、日本の旋律と詩歌に関連する楽曲を取り上げ、音楽のジャポニズムとして位置付けた。 フェリックス・ワインガルトナーのオペラ《村の学校》(1919)を取り上げ、その特徴を明らかにした。ワインガルトナーは東京帝国大学のお雇い教師、カール・フローレンツの日本の戯曲の翻訳『寺子屋と朝顔』(1900)を土台に台本を書き作曲している。音楽的には武士の精神をあらわす部分に東洋的な4度と5度の平行和音を用い、騎士の精神やキリスト教的な精神をあらわす部分に後期ロマン派的手法を用いている。ワインガルトナーは日本と西洋に共通する精神性である、封建社会における主君への忠誠心を軸にオペラを創作していることを明らかにした。 20世紀初期にウィーンで上演された、日本を題材にした音楽劇において、日本人はどのように表象されて
---	----------------------------	--	--	--

したオペラ・オペレッタに見る日本人像			ラ研究会 (オンライン)	いたのかを考察した。ウィーンでは1904年から1920年の間に日本を題材と4つのオペレッタ、1つのオペラが上演されている。オペレッタでは主人公の芸者が、日本舞踊ではなく西洋のダンスを踊る。1907年以降に何度も上演されたプッチーニのオペラ《蝶々夫人》の影響により、芸者を主人公としたオペレッタはウィーンで人気を博していた。芸者は可愛い子供っぽい存在として描かれている。また、オペラでは日本と西洋に共通する精神性が描かれ、ウィーンの聴衆の共感を呼んでいたことが明らかとなった。
4 19世紀末のドイツにおけるジャポニズム・オペラ フランツ・クルティ《リリ・ツェー》(1896)	単	令和3年11月	日本音楽学会 第72回全国研究大会 (信州大学)	フランツ・クルティのオペラ《リリ・ツェー》は、19世紀にドイツ・オーストリアで作曲された唯一のジャポニズム・オペラである。オペラの舞台は人里離れた日本の手仕事職人たちが住む村で、日本を旅行中の英国人女性が落とした鏡をめぐる日本人の反応をユーモラスに描いたものである。ストーリーは日本の昔話『松山鏡』に基づいており、1894年にイギリスの雑誌『ストランド・マガジン』に掲載された日本の物語「鏡」が直接の土台となっていることが判明した。1885年にミュンヘンで開催され人気を博していた「日本人村」もこのオペラの創作に影響を与えたと考えられる。
5 ウィーンで上演されたジャポニズムのオペラ・オペレッタに描かれた〈芸者〉	単	令和4年11月	シンポジウム 20世紀初期の音楽・舞踊におけるジャポニズム・オリエンタリズム—女性の表象と身体— (名古屋大学)	名古屋大学において、音楽・舞踊のジャポニズム・オリエンタリズムについてシンポジウムを企画した。登壇者は名古屋大学の教員と博士研究員である。自身の発表では、19世紀末から20世紀にかけてウィーンで上演された芸者を主人公とした4つの音楽劇《芸者》《蝶々夫人》《3人娘》《ユシは踊る》を取り上げ、それぞれの作品に描かれた芸者について考察した。共通点として日本に寄港した西洋の男性と芸者の物語であることが挙げられるが、芸者のキャラクターは金銭的契約から恋愛に発展する者と、一定期間だけの仕事と割り切っている者に分けられる。芸者の身分や仕事内容は西洋では明確に知られていないが、西洋の男性に支配される日本女性というオリエンタリズム的視点が随所に見られることが

6 黄禍論とジャポニズムのオペラ—テオドル・サントー— 《タイフーン》 (1924)	単	令和4年11月	日本音楽学会 第73回全国大会 (西南学院大学)	判明した。 メルヒオール・レンジェルの戯曲『タイフーン』(1900)を元にしたテオドル・サントーのオペラ《タイフーン》(1924)を取り上げ、日清戦争や日露戦争の勝利などにより急速に西洋に台頭した日本に対するイメージの変化がどのようにオペラに反映されたのかを中心に考察した。「黄禍論」が広がっていた時代の作品であるが、レンジェルの戯曲、サントーのオペラではストーリーの中心は西洋人と日本人の考え方の差であることが明らかとなった。西洋人は愛を最も尊重するが、日本人は国家への義務を最も尊重すると描かれている。
7 19世紀末から20世紀初頭のドイツ・オーストリアで作曲されたジャポニズムの歌曲—日本詩歌の翻訳から得たインスピレーション—	単	令和5年6月	音楽表現学会 第21回(平安)大会 (京都女子大学)	19世紀後半から20世紀にかけて、ドイツ・オーストリアでは他のヨーロッパ諸国に先駆けて、和歌の翻訳を歌詞とした歌曲集が出版されている。本発表では、ウィルヘルム・キーンツルの歌曲集《4つの日本の歌》(1895)、グスタフ・グルーベの歌曲集《7つの日本の歌》(1904)を中心に取り上げ、研究発表と演奏デモンストレーションを行った。この2つの歌曲集はカール・フローレンツの和歌の翻訳『東方よりの表敬』(1894)にインスピレーション得て作曲されたものである。フローレンツの翻訳は元の日本詩歌にほぼ忠実であるが、詩の心情や情景を西洋人が理解しやすいように説明的な語句が付け加えられている。それによりキーンツルとグルーベは鮮明な印象を得ることができた。これらの歌曲集は和歌の翻訳と錦絵風の挿絵に想像力を得たドイツ歌曲として注目される。
8 日本の物語を題材としたドイツのジャポニズム・オペラ	単	令和5年10月	第64回愛知音楽研究会 (名古屋市東生涯学習センター)	日本の物語を原作としてドイツで作曲された2つのオペラについて考察した。フランツ・クルティのオペラ《リリ・ツェー》(1896)は、日本の昔話『松山鏡』をベースとしている。全曲は7場から成り、明快な調性で書かれている。日本風の旋律や音階は見られないが、異国情緒を醸し出すために「ズンベラ」などの日本語が用いられている。マンフレート・

9 平家物語を題材としたオペラ—マンフレート・グルリット《聖女》(1920)—	単	令和5年11月	日本音楽学会 第74回全国大会 (聖徳大学)	グルリットのオペラ《聖女》(1920)は『平家物語』第一巻の「祇王」を原作としている。グルリットは、このオペラを「音楽的聖譚」と名付けている。宗教的題材による初のジャポニスム・オペラである。 マンフレート・グルリットのオペラ《聖女》(1920)について考察した。これは『平家物語』第一巻「祇王」を元にしたオペラである。台本はカール・ハウプトマンが1909年に出版した『Panspiele』に収録された「ある日本の短篇による3幕の詩作」であることが判明した。また、ハウプトマンはフランソワ・トゥレティーニのフランス語抄訳『平家物語：12世紀の日本の歴史物語』を元に脚色を加え「3幕の詩作」を書いたことも判明した。オペラ《聖女》は『平家物語』の根底にある栄枯盛衰の概念をキリスト教的に解釈した作品であることが明らかとなった。
10 日本詩歌のドイツ語訳とジャポニスムの歌曲—グレーテ・フォン・ツィーリッツ《日本の歌》(1919)	単	令和6年6月	音楽表現学会第22回 (バックスの宴)大会 (山梨大学)	パウル・エンダリンクの『日本の小説と詩』(1905)に掲載された翻訳詩に想像力を得て作曲されたグレーテ・フォン・ツィーリッツの《日本の歌》(全10曲)を取り上げ、和歌と歌曲との関連性について考察を行った。先行研究ではツィーリッツの作曲技法の特徴として、一曲ごとに手法を変え、自由な調性、不協和音、半音列、四分音符を用いた簡素な構造など様々な技法を用いたことが指摘されているが、初期の代表作《日本の歌》に、すでにその傾向があらわれていることを解明した。
11 19世紀末から20世紀初期のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム	単	令和6年11月	日欧学フォーラム2024 (神戸学生青年センタ)	音楽のジャポニスムは「日本音楽・日本文学からヒントを得て、作曲のさまざまなレベルにおいて、新しい聴覚表現を追求したもの」と言える。本発表では、ドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスムが初期段階ではお雇い外国人教師を仲介としていたことに焦点をあて、1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアの音楽作品から、日本の旋律と詩歌に関連する楽曲を取り上げ、音楽のジャポニスムとして西洋音楽史に位置付けた。

12 歌舞伎「寺子屋」に基づく2つのオペラ —C.オルフ《犠牲》(1913) とF.ワインガルトナー《村の学校》(1919)	単	令和6年11月	日本音楽学会 第75回全国大会 (静岡文化芸術大学)	カール・オルフとフェリックス・ワインガルトナーは、1910年代に歌舞伎「寺子屋」に基づくオペラを作曲している。2つのオペラの土台となったのはカール・フローレンツの歌舞伎底本の翻訳『寺子屋と朝顔』(1900)である。「寺子屋」はかつての主君への忠義のために我が子を犠牲にする物語で、オルフとワインガルトナーは自ら台本も手掛けている。音楽的手法は異なるが、2つのオペラに共通するのは日本人の精神性への関心と理解であることを明らかにした。
その他の研究活動 ①レクチャーコンサート 1 明治音楽会～西洋音楽がやってきた！～	共	令和4年4月	J.S.バッハ文化センター	明治期の西洋音楽移入と西洋音楽教育の発展について解説し、明治期の西洋音楽による演奏会の再現演奏を行った。 ○釘宮貴子、井上ゆかり、戸邊祐子、森基之、栗田美佐、釘宮冴月、新田恭子
2 明治音楽会～続・西洋音楽がやってきた！～	共	令和4年9月	藍住町総合文化ホール大ホール	令和4年4月のレクチャーコンサートの続編として、東京音楽学校における西洋音楽教育の発展について解説し、当時の演奏会プログラムの再現演奏を行った。 ○釘宮貴子、井上ゆかり、戸邊祐子、森基之、栗田美佐、釘宮冴月、田中潤、新田恭子、木田寿味、上川忠昭、野村侑加、松本由里子
3 19世紀末から20世紀初期の西洋に響いた日本の音楽	共	令和5年3月	文化の森総合公園21世紀館	19世紀末から20世紀にかけて日本の文化や音楽がどのように西洋に伝えられたかについて解説し、当時西洋で演奏されていた日本に関連する楽曲の演奏を行った。 ○釘宮貴子、遠藤綾子、鈴江早都子
4 響き合う日本と西洋	共	令和6年5月	文化の森総合公園21世紀館	和歌のドイツ語訳を歌詞とした歌曲集、明治から大正期に西洋で学んだ日本人作曲家の歌曲集、西洋のオペラに描かれた日本女性という3つの視点から西洋における音楽のジャポニスムを考察し、該当曲の演奏を行った。 ○釘宮貴子、井上ゆかり、釘宮冴月

5 和歌の翻訳から生まれたドイツ歌曲	共	令和6年8月	名古屋市立大学音響デザイン室	ウィルヘルム・キーンツル《4つの日本の歌》(1895)とフェリックス・ワインガルトナー《日本の歌》(1908)を中心に和歌の翻訳を歌詞としたドイツ歌曲の流れを考察し、演奏で裏付けた。 ○釘宮貴子、井上ゆかり、釘宮冴月
②演奏活動 1 New Year Concert	共	令和2年1月	杜のホスピタル 杜のホール	ピアノ独奏：ショパン「幻想即興曲」「前奏曲 雨だれ」 ピアノ伴奏：越谷達之助「初恋」、高田三郎「くちなし」、山田耕筰「待ちぼうけ」「松島音頭」、弘田龍太郎「浜千鳥」、ベッリーニ「優雅な月よ」、トスティ「マーレキアーレ」、クルティス「帰れソレントへ」 独唱 熊谷公博
2 Summer Concert	共	令和3年8月	ギャラリー花杏豆	声楽、ヴィオラ、ピアノの三重奏：シューベルト「岩の上の羊飼ひ」 声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノの四重奏：シューベルト「鱒」 ピアノ伴奏：シューマン「アダージョとアレグロ」Op.70、スカルラッティ「葦」、別宮貞雄「さくら横丁」、成田為三「浜辺の歌」、大中寅二「椰子の実」、山田耕作「あわて床屋」 ヴァイオリン 猪子奈津子 ヴィオラ 市川沙紀 ソプラノ 釘宮冴月
3 四国二期会 オータムコンサート2021	共	令和3年9月	徳島市さくらホール	ピアノ伴奏：武満徹「小さな空」「翼」、カッチーニ「アヴェ・マリア」、ヘンデル「私を泣かせてください」、スカルラッティ「陽はすでにガンジス川から」、ストラデッラ「もし幸せの中に」、トスティ「夢」「そうなってほしい!」、ロッシーニ「アヴェ・マリア」、グノー『ファウスト』より「宝石のうた」 独唱 疋田弘子、市川千恵
4 ソプラノリサイタル	共	令和3年12月	名古屋市メニコン ANNEX / HITOMI ホール	ピアノ伴奏：ヘンデル「私を泣かせてください」、ドナウディ「どうか吹いておくれ」、ロッシーニ「フィレンツェの花売り娘」、J.S.バッハ「あなたがそばにいてくだされば」、シュトラウス「セレナーデ」Op.17-2、ニュートン「アメージング・グレイス」、ヘッド「私を外へと誘った甘美な偶然」、キルター「愛の

5 歌とピアノのコンサート	共	令和4年2月	認定こども園「さら」	哲学」、グノー『ファウスト』より「宝石の歌」 独唱 釘宮冴月 ピアノ演奏：チャイコフスキー「くるみ割り人形」 ピアノ伴奏：本居長世「七つの子」、山田耕筰「赤とんぼ」、岡野貞一「故郷」、弘田龍太郎「靴が鳴る」、芥川也寸志「小鳥のうた」、團伊玖磨「おつかい蟻さん」「ぞうさん」、中田喜直「めだかの学校」、梁田貞「どんぐりころころ」、大中恩「犬のおまわりさん」、納所弁次郎「兎と亀」、越部信義「おもちゃのチャチャチャ」、飯沼信義編曲「夕やけこやけ」、デンツァ「フニクリフニクラ」 歌 井上ゆかり
6 ソプラノリサイタル	共	令和4年3月	徳島市アスティとくしま ときわホール	ピアノ伴奏：ヘンデル「私を泣かせてください」、ロッシーニ「約束」「誘い」「アルプスの羊飼いの娘」「フィレンツェの花売り娘」、ヘッド「私を外へと誘った甘美な偶然」、キルター「愛の哲学」「今、深紅の花びらは眠り」、シューマン『ミルテの花』より「献呈」「くるみの木」「ズライカの歌」、ベッリーニ『カプレーティ家とモンテッキ家』より「ああ、幾たびか」、ベッリーニ『イル・トロヴァトーレ』より「穏やかな夜」 独唱 釘宮冴月
7 サウンドハウスホールコンサート	共	令和4年7月	小松島市サウンドハウスホール	ピアノ連弾：スメタナ「モルダウ」、ビゼー「カルメン」 ピアノ伴奏：カッチーニ「アヴェ・マリア」、ドヴォルジャーク「我が母の教え給いし歌」、小林秀雄「落葉松」、滝廉太郎「花」、中田喜直「夏の思い出」 独唱 井上ゆかり、戸邊祐子 ピアノ 栗田美佐 サックス 新田恭子
8 ことのはロビーコンサート	共	令和5年7月	徳島県立文学書道館	ピアノ伴奏：トスティ「夢」、ドナウディ「ああ愛する人の」、モーツァルト『フィガロの結婚』より「恋とはどんなものかしら」、ロッシーニ「誘い」「踊り」「フィレンツェの花売り娘」、成田為三「浜辺の歌」、中田喜直「夏の思い出」、大中寅二「椰

9 ミュージアム コンサート	共	令和5年5月	相生森林美術館	子の実」、キルター「愛の哲学」 「今、深紅の花びらは眠り」、ガー シュウイン『ボーギーとベス』より 「サマータイム」、グノー『ロミオと ジュリエット』より「私は夢にいき たい」 独唱 釘宮冴月 チェロとピアノの二重奏：ショパン 「序奏と華麗なポロネーズ」Op.3、 カッチーニ「アヴェ・マリア」、ラ フマニノフ「ヴォカリーズ」他 チェロ 田上和子
10 サウンドハウ スコンサート	共	令和5年9月	小松島市サウンドハ ウスホール	ピアノ三重奏：ショパン「ピアノ三 重奏曲 Op.8 第1楽章」、エルガー 「愛の挨拶」、サン＝サーンス「白 鳥」、ピアソラ「ブエノスアイレス の四季」「リベルタンゴ」 ヴァイオリン 綾野幸恵 チェロ 田上和子
11 こまつしま市 民人権のつどいコ ンサート	共	令和5年12月	小松島市サウンドハ ウスホール	声楽とクラリネットとピアノの三重 奏：カリヴォダ「故郷の歌」 Op.117、シューベルト「岩の上の羊 飼い」、ガーシュウイン『ボーギー とベス』より「サマータイム」、ロ ジャーズ『サウンド・オブ・ミュー ジック』より「サウンド・オブ・ ミュージック」「ドレミの歌」「ひと りぼっちの羊飼い」「エーデルワイ ス」 ソプラノ 山本綾子 クラリネット 相原志保
12 ミュージック プラスコンサート	共	令和6年5月	アカンサスホール	フルート、クラリネット、ピアノの 三重奏：サン＝サーンス「タランテ ラ」Op.6 フルート 鈴江早都子 クラリネッ ト 相原志保
13 クリスマスコ ンサート	共	令和6年12月	認定こども園 「さら」	お話とピアノ三重奏による「モー ツァルト物語」、ピアノ三重奏：ク リスマスメドレー、チャイコフス キー「花のワルツ」、「あわてんぼう のサンタクロース」 ヴァイオリン 綾野幸恵 チェロ 田上和子
14 トリオコン	共	令和6年12月	阿南支援学校	ピアノ三重奏：クリスマスmedley、

サート				チャイコフスキー「花のワルツ」、「あ わてんぼうのサンタクロース」 ヴァイオリン 綾野幸恵 チェロ 田上和子
③解説記事、雑誌 記事 1 ドイツ・オー ストリアの音楽の ジャポニスム	単	令和 5 年10月	公益財団法人ドイツ 語学文学振興会『ひ ろの』 63号	ドイツの音楽家ゲオルク・カペレン が編曲した「君が代」(1904)、ドイ ツの音楽家グスタフ・グルーベの歌 曲「春の予感」(1904)、オーストリ アの指揮者・作曲家フェリックス・ ワインガルトナーの歌舞伎を題材に したオペラ「村の学校」(1919) に ついて解説した。
2 アルフレッ ド・ロラーによる オペラ《蝶々夫 人》の舞台セット デザイン	単	令和 6 年 3 月	『ジャポニスム研究』 第43号	1907年10月のオペラ《蝶々夫人》 ウィーン公演のために準備されたア ルフレッド・ロラーの舞台デザイン について解説した。
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	JSPS科研費若手研究21K12871 (令和 3 年度～令和 5 年度) 「1890年代から1930年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム」 JSPS科研費若手研究24K15934 (令和 6 ～令和 8 年度) 「1870年代から1930年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム」			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「ソルフェージュⅠ～Ⅳ」(音楽学部 1 ～ 3 年 5 名 月曜日 2 講時) ②後期担当授業科目名等 「ソルフェージュⅠ～Ⅳ」(音楽学部 1 ～ 3 年 5 名 月曜日 2 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「音楽Ⅰ①」 (保育科 1 年 6 名 月曜日 1 講時) 「音楽Ⅱ②」 (保育科 2 年 6 名 火曜日 2 講時)			

授 業	「音楽Ⅲ①」 (保育科 2 年19名 木曜日 3 講時) 「児童文化①」 (保育科 1 年11名 木曜日 1 講時、 2 講時) 「幼児と表現」 (保育科 1 年11名 金曜日 2 講時) 「文理学」 (保育科 1 年11名 木曜日 4 講時) ②後期担当授業科目名 「音楽Ⅰ②」 (保育科 1 年 6 名 火曜日 1 講時) 「音楽Ⅱ①」 (保育科 1 年11名 月曜日 3 講時) 「音楽Ⅲ②」 (保育科 2 年19名 金曜日 3 講時) 「児童文化②」 (保育科 1 年11名 木曜日 1 講時、 2 講時) 「総合科目B」 (保育科 2 年19名 木曜日 3 講時、 4 講時) 「保育・教育実践演習」 (保育科 2 年19名 金曜日 4 講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (9) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (17) コマ
学生指導	・ 保育科 2 年生副担任として、授業や大学生活等について担当学生の面接を行い、よりよい学生生活ができるよう支援した。 ・ ピアノ実技指導者として「おとぎのくに」のピアノ伴奏や弾き歌いグレード試験のために授業時間外指導を行った。 ・ ピアノ実技初心者のための教材を作成した。
活 動	
学外活動	①学外の委員会等の役職 ・ 小松島市サウンドハウスホール運営委員長 ②国家試験等の採点委員 ・ 令和 6 年度保育士試験 実技試験採点委員 ③学会活動 ・ 早稲田大学総合研究機構オペラ／音楽劇研究所運営委員 ・ 愛知音楽研究会創立10周年シンポジウム&レクチャーコンサート実行委員 ⑤その他 ・ 高校と大学の教育内容接続のための情報交換会（オンライン、令和 6 年12月12日） 「探求活動について」
学内活動	①広報活動 ・ 保育科紹介フライヤー作成 ②学内の委員会 ・ 短期大学部ホームページ委員 ・ 徳島音楽コンクール ピアノ部門審査員 ・ FD委員 ⑤学内でのコンサート ・ ミュージックプラスコンサート ・ ペンギンクラブ絵本コンサート ・ ペンギンクラブクリスマスコンサート

氏 名	田 尾 公 生 （ た お き み お ）			
所属・職の種類	情報センター長 短期大学部保育科・教授			
最終学歴	専修大学経営学部経営学科（経営学士）			
着任の年月	2017年 4 月 1 日			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島県立小松島西高等学校 校長			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔論文〕	共	2019年 9 月	徳島文理大学	【研究報告】 高校生対象エシカル消費活動および活動実施が短期大学生に及ぼす教育的効果 坂井真奈美・松下純子・長尾久美子・田尾公生 共著
	共	2023年 9 月	徳島文理大学	【実践報告】 短期大学部商科における簿記指導のあり方について―検定指導から会計学の学びへの考察― 田尾公生、川道映里、長濱太造 共著
科研費採択状況 （過去 2 年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去 2 年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去 2 年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 41名（金曜日 4 講時） 「簿記Ⅰ」（総政名：1 年13名、3 年 3 名、4 年 4 名。） （人間生活：3 年 1 名、4 年 1 名） 「ビジネス情報処理」（メディア：3 年17名：4 年 2 名） ②後期担当授業科目名等 30名（月曜日 3 講時） 「簿記Ⅱ」（総政30名：1 年13名、2 年 2 名、3 年12名、4 年 3 名。） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 第 1 クォーター「情報リテラシー」（2 年18名。木曜日 1 講時）			

授 業	第2クォーター「会計学演習」(商科2年13名。月曜日2講時、金曜日2講時) (総合政策学科4年1名) ②後期担当授業科目名 第3クォーター「原価計算」(商科2年11名。火曜日3講時、金曜日2講時) (総合政策学科1年1名) 第4クォーター「原価計算演習」(商科2年9名。火曜日3講時、金曜日2講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (3) コマ} \\ \text{後期 (3) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (6) コマ 〔その他の指導状況〕 ①学力充実対策講座「日商簿記検定試験2・3級受験指導」 総合政策科6名毎火曜日1限目 総合政策科2名及び心理学科1名、毎水曜日1限目 ②教員採用審査を受講する学生を対象に模擬面接を行っている。
論文等指導	該当なし
学生指導	該当なし
活 動	
学外活動	・日本商業教育学会会員 令和6年5月11日 日本商業教育学会四国部会並びに愛媛支部総会 (徳島県支部長) 令和6年5月20日 全国商業教育140周年記念式典参加(功労賞受賞) ・徳島県シニアテニス連盟理事(2021～)
学内活動	〔その他の活動〕 I 高校訪問等の広報活動 ①ブロック別進学説明会 令和5年6月25日 徳島ブロック 各校校長及び進学課長、3年担任等と面談、本学の概要等を説明するとともに、各校からの質問を受ける。 ②大学保護者会 令和5年8月24日 本学徳島キャンパス：情報センター長として参加 ③担当地区高校訪問(県内) 令和6年4月16日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和6年5月23日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和6年9月14日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和7年2月22日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 ※その都度、各出身校へ在学中生徒の状況報告を行う。 ④部局長会 毎月1回、計12回 ⑤合同教授会 毎月1回、計12回 ⑥短期大学部教授会 毎月1回、計12回 ⑦自己点検・評価委員会 5回 ⑧情報センター業務 ○徳島校 (1) 新任教員クラスルーム指導広報 (2) 文部科学省補助金監査計画実施内容検討(次年度5月末まで) (3) ファイアウォール更新

学内活動	(4) 学生ポータルサイト新規導入・改良（徳島校・香川校） (5) MetaMoji Classroom クラウド版ライセンス更新（児童学科の支援） (6) PC教室のWindows11対応（9401/9501教室ネットブートライセンス） ○高松駅校 (1) 高松駅校P C教室設置確認 (2) 学校間オンライン(テレコム利用なし) 設置検討 (3) BYODのための機器導入（2年生から6年生のため） (4) 志度・高松駅校、SINET切替時期等（費用を含め）実施 ○本部 (1) 会計システム導入のための検討、教職員グループウェアの改良検討。 ○全体（評価委員会） - 学部・短期大学部の各評価委員会資料作成、会議参加 - その他：小学校行事オンラインサポート、小中高P C管理
-------------	---

氏 名	島 田 俊 朗 （ し ま だ と し ろ う ）			
所属・職の種類	短期大学部保育科 准教授			
最終学歴	広島大学大学院教育学研究科博士課程後期 単位取得後退学（教育学修士）			
着任の年月	平成 5 年 4 月 1 日			
直前の職歴 （学校・企業等）	広島大学教育学部教育学科事務補佐員			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
徳島文理大学短期 大学部におけるボ ランティアパス ポートの取組み について ―遠隔授業による ボランティア活動 推進の試み―	共著	2023年 3 月	徳島文理大学研究紀 要	本学ではボランティアパスポート制 度を利用し「総合科目 A（ボラン ティア活動）」として単位認定を行っ てきた。2021年度はコロナの影響で 一部授業を遠隔講義として行った。 アンケート調査によってその成果を 検討し、意義と課題を検討した。
保育者養成課程に おける栽培活動の 実践報告 ―「障 害児保育」の授業 における試み―	共著	2024年 3 月	徳島文理大学研究紀 要	保育科 2 年の授業「障害児教育」の 中で行った栽培活動の実践報告であ る。栽培活動を行う課程で学生の気 付きや感想をとして、保育者養成課 程における栽培活動の教育的効果や 意義を検討した。
科研費採択状況 （過去 2 年間）	令和 3（2021）年度徳島文理大学「特色ある教育・研究」 「Web会議システムを活用したボランティア活動推進の試み」 共同研究者：児嶋輝美、島田俊朗、松下純子、藤本和賀代、則包光徳、堀口誠信			
研究助成金の交付等 （過去 2 年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去 2 年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「教育原理」（保育 1 年19名 月曜日 5 講時） 「保育教育課程論」（保育 2 年 18名 火曜日 3 講時） 「児童文化①」（保育 1 年 11名 木曜日 1 講時） 「総合科目 A（ボランティア）」（短期大学部 1 年 水曜日 5 講時） 「文理学」（保育 1 年11名 木曜 4 講時）			

授 業	②後期担当授業科目名 「児童文化」(保育1年 11名 木曜日1・2講時) 「教師論」(保育1年 11名 月曜日5講時) 「保育教職実践演習」(保育2年 19名 金曜日4講時) 〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「教育社会学」(心理3年・音楽学部3・4年 84名 月曜日3講時) 「保育課程論」(児童2年 50名 金曜日2講時) 「保育者論」(児童2年 50名 水曜日4講時) ②後期担当授業科目名等 「教育学B(教育と人間)」(総合政策1年 5名 水曜日4講時) 「教職実践演習(栄養教諭)」(食物栄養学科4年9名 第3クォーター 火曜日1・2講時) 「教育社会学」(総合政策他 30名 金曜日2講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (8) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (16) コマ
論文等指導	なし
学生指導	保育科1年生主担任を務める。担任の恒例として、年4回定例の面接を行っただけでなく、実習前の面接や、欠席が目立つ学生に対する注意や些細なことでも話を聞き、小さなアドバイスを行った。1年生担任は例年同様また各科同様オリエンテーション準備からオリエンテーションの実施、文理学、総合科目A(ボランティア)、新入生セミナーなど前期は各種行事が目白押しとなる。 今年度の1年生は数は少ないが様々なタイプの学生が集まっている印象を受ける。周囲からの助言を非難としてとらえ、反発し、孤立しかかってしまう学生や、周囲が認める才能を持ちながら肝心の場面で信頼を失ってしまう学生など、成人と言うには幼さが目立つ気がする。何かしら問題を感じる学生によく見られるのが、大学からのお知らせやメールを全く見ていないことである。全体への呼びかけが個人に響かないことはこれまでもよくあったが、最近はその傾向が強まっているように感じる。メールに頼り過ぎない連絡方法を用いる必要があると思う。 単位を取れなかったために卒業時に資格が取れないことが決定してしまった学生がいる。保育科の先生方と協力し、出欠状況、メンタルの様子、人間関係等を注視しながら最善の進路を考えていく。 実習の際には学年に関係なく保育科教員と分担して実習訪問を行った。保育所実習2回、幼稚園実習1回、施設実習1回である。
活 動	
学内活動	①入学試験 I期入試A日程 鹿児島試験場責任者 ②短期大学部総合型入試検討委員会委員 面接のあり方の検討、入学前教育の検討等を行った。 保育科を希望する高校生についてはほぼすべて面談した。 ③クラブ顧問 ・軽音楽部、陸上部、日本拳法部 顧問 ④保育科ホームページ担当

学内活動	⑤保育科キャンパスガイド担当 ⑥保育科入学前ガイダンス担当 ⑦保育科私立幼稚園フェア担当 ⑧保育科卒業生と在学生との交流会担当 ⑨新入生セミナー・遍路ウォーク担当 ⑩短期大学部 総合科目 A（ボランティア）担当 ⑪保育科文理学担当
-------------	--

氏 名	山 越 明 （ やまこし あきら ）			
所属・職の種類	短期大学部保育科 准教授			
最終学歴	徳島大学教育学部養護学校教員養成課程 （ 教育学士 ）			
着任の年月	令和 2 年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	平成30年度 美馬市立岩倉小学校長 令和 2 年度 徳島文理大学非常勤講師			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文等の名称	単著 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔論文〕 1. 保育者養成課程における栽培活動の実践報告― 「障害児保育」の授業における試み―	共著	令和 6 年 3 月	徳島文理大学研究紀要第 107 号	保育科 2 年次履修科目「障害児保育」の授業の一環として取り組んだ栽培活動について、学生の気付きや感想をとおして栽培活動の教育的効果や意義を考察すると共に、保育との繋がりについて言及し報告としてまとめたものである。
科研費採択状況 （過去 2 年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去 2 年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去 2 年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名 「障害児保育①」（児童 3 年34名。月曜 4 講時） 「特別支援教育論」（人間生活、総政、食物栄養、人間福祉、看護。計42名。 + 総政 4 年 1 名、総政 3 年 1 名、人間生活 3 年 2 名。計46名。 木曜日 5 講時） 「特別支援教育論」（児童 2 年48名、 4 年 1 名。計49名。水曜日 2 講時） ②後期担当授業科目名 「障害者福祉論」（音楽 4 年。 2 名。火曜日 3 講時） 「障害児保育②」（児童 3 年33名。 4 年 6 名。計39名。火曜日 1 講時） 「特別支援教育論」（日本 2 年 5 名。文化財 2 年 6 名。英語 2 年 5 名。電情 2 年 2 名。 ナノ物質 2 年 1 名、機械創造 2 年 4 名計23名。月曜日 5 講時） 「特別支援教育論」（心理 2 年29名、音楽 2 年 7 名、計36名。+心理 3 年 2 名、心理 4 年 1 名、音楽 3 年 1 名。計42名。金曜日 1 講時）			

授 業	〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「障害児保育Ⅰ」（保育2年18名。月曜日1講時） 「特別支援教育論」（保育1年11名。2年1名。計12名。水曜日2講時） 「教育相談（カウンセリングを含む）」（保育2年18名。木曜日2講時） 「児童文化①」（保育1年。12名。木曜日1講時） 「総合科目A（ボランティア）」（保育1年12名。水曜日5講時） 「文理学」（保育1年12名。木曜日4講時） ②後期担当授業科目名 「障害児保育Ⅱ」（保育2年19名。木曜日4講時） 「特別支援教育論」（短音楽1年1名、短言語1年1名。計2名。金曜日1講時） 「児童文化②」（保育1年。11名。木曜日1講時） 「保育教職実践演習（幼）」（保育2年。19名。金曜日3講時） 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 8 ）コマ} \\ \text{後期（ 7 ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 15 ）コマ 〔その他の指導状況〕 ・介護等体験実習に係る指導（小学校・中学校・養護教諭免許取得希望者60名）の特別支援学校実習指導及び引率。社会福祉施設はオンライン。実習日誌検閲。 ・香川キャンパスにおける介護等体験実習に係る事前指導及び事後指導・評価（実習日誌検閲）。14名。 ・教員採用試験に係る講座（特別支援教育）及び面接指導。 ・音楽科音楽療法コースの学生の卒業研究への支援として、障害のある児童への関わりや自閉症児の行動に関して理解の仕方や関わり方について助言を行った。 ・7月9日 阿波西高等学校進学説明会 『ビジョン・体幹・感覚統合』11名参加
学生指導	【保育科教員として】 ・保育科1年副担任として、学生の各種悩み事に対して相談を行った。保育科2年1名、児童学科4年1名の就職の橋渡しを行った。 【特別支援教育担当として】 ・学部生、短大生併せて約10名の学生に対して、実習やバイト先等における特性のある人に対する理解や支援の仕方について、個別相談を行った（計20回程度）。 ・学部生3名、短大生1名の心理的に不安定な学生の悩み事相談に関して、心理的不安の軽減に係るサポート活動を継続的に行った（計30回程度）。 ・その他、特性のあると思われる友人に対しての関わりについての相談を適宜行った。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 5月11日（土）日本保育士学会（神戸大会）においてパネル発表 『保育者養成課程における栽培活動の実践報告 —授業「障害児保育」における栽培活動の意義—』 〔公的機関の活動〕 ①徳島市障害児保育指導委員会委員（徳島市子ども保育課）：2回 ②鳴門教育大学附属幼稚園関係者評価委員（鳴門教育大学）：4回 ③美馬市民生委員児童委員（美馬市生活福祉課）：8回 ④「子供の力・育み・プロジェクト」保育所等巡回相談員（県社協主催）：3回 ⑤愛育会評議員（社会福祉法人愛育会）：2回 ⑥特別支援教育の体制整備にかかる専門家チーム員（徳島県教育委員会）：0回 ⑦徳島市医療的ケア運営協議会委員（徳島市子ども保育課）：2回 ⑧社会福祉法人アンドーラ関係者（第三者）評価委員：2回

学外活動	⑨徳島県発達障がい者地域支援マネージャー（徳島県発達障がい者総合支援センター）：11回 ⑩「職」の魅力向上人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業協議会委員（鳴門教育大学）：2回 ⑪徳島市巡回相談員（徳島市教育委員会）：3回 ⑫美馬市福祉計画策定委員会（美馬市）：4回 ⑬美馬市福祉行動計画策定委員会（美馬市社会福祉協議会）：5回 〔非常勤〕 ①徳島大学総合科学部非常勤講師。担当科目「特別支援教育概論」（集中講義として夏休み期間に遠隔授業で実施。全15回） 〔全出講回数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 15 ）コマ} \\ \text{後期（ ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 15 ）コマ 〔機関紙への寄稿〕 『私保連とくしま』第42号、第43号 〔講演・研修会講師〕 ①5月12日「就学後の学校における支援」（美馬市手をつなぐ育成会） ②5月28日「発達障がいのある人への特性理解」（美馬市民生委員児童委員研修） ③6月15日「発達障害とよく似た子どもの増加」（ユズリ葉の杜保育園） 「子どもの発達について（感覚統合の視点から）」（ユズリ葉の杜保育園） ④6月21日「幼児期の子どもの発達」（わかば認定こども園） ⑤7月5日「幼児期の子どもにとって大切にしたいこと」（岩倉認定こども園） ⑥7月12日「子どもの発達とその支援」（徳島県発達障がい者総合支援センター） ⑦7月19日「自閉症傾向になる子どもの理解と支援」（四国大学附属保育所） ⑧7月26日「気になる子どもへの関わり方」（彩保育園） ⑨9月4日「発達障害とよく似た子どもの増加」（四国大学附属保育所） ⑩9月13日「自己理解の大切さ」（徳島県発達障がい者総合支援センター） ⑪10月27日「就学に向けて大切なこと」（鴨島病院） ⑫11月13日「子どもを取り巻く環境の変化と子どもの育ち」（岩倉認定こども園） ⑬11月18日「中学生に求められる自己理解と支援方法」（徳島県発達障がい者総合支援センター） ⑭12月4日「気になる子どもへの具体的な支援」（阿波市・吉野川市子ども部会） ⑮12月5日「発達のある子の自己理解」（徳島県発達障がい者総合支援センター） ⑯2月5日「子どもの個性を伸ばしながら発達を促す保育」（わかば認定こども園） 〔指導助言〕 ・11月13日「徳島県国公立幼稚園こども園教育研究会研究大会」指導助言 講演『子どもを取り巻く環境の変化と子どもの育ち』（美馬市岩倉認定こども園） ・12月26日「教育実践に関する共同研究会」実践報告への講評 （徳島県立総合教育センター） 〔気になる子の訪問相談〕 ・幼稚園・保育所・認定こども園：8園（計19回） ・児童発達支援事業所：3事業所（計6回） ・放課後児童クラブ：2事業所（計3回） ・小学校：2校（計3回） ・中学校：2校（計2回） ・障害者支援施設：3事業所（5回） 〔その他の活動〕 ・7月9日 阿波西高等学校進学説明会 『ビジョン・体幹・感覚統合』11名参加
-------------	---

学内活動	①広報活動 ・ 8 月 6 日「高大接続の学びのためのセミナー」 高校生 3 名参加 ・ 1 月 28 日 穴吹高校体験授業 高校生 2 名参加 ・ オープンキャンパス 保育科の一員として、本年度開催されたすべての短期大学部オープンキャンパスに参加した。模擬授業、補助的役割を行った。 ②人権教育推進委員会 ・ 9 月 9 日（委員会開催）
-------------	--

氏 名	船 本 孝 子 （ ふなもと たかこ ）			
所属・職の種類	短期大学部保育科 准教授			
最終学歴	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 学校教育専攻 （ 修 士 ）			
着任の年月	令和 4 年 4 月 1 日			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島市立保育所（内町保育所長）			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 「資質・能力を育 む保育内容 領域 人間関係—こど もにとっての人間 関係とは—」	共	令和 5 年 3 月	教育情報出版	「資質・能力を育む保育内容 領域 人間関係—こどもにとっての人間 関係とは—」 保育内容 領域「人間関係」につい て保育の初学者を対象とした教科 書。 ＜執筆担当部分＞ 11章 巻頭 保育者が大切にしたい 領域「人間関係」での援助とは 11章 2 子どもの育ちと保育者の 役割 13章 巻頭 多文化保育から人間関 係をとらえよう 13章 3 異文化に触れる保育の実 際 編著：斎藤崇（淑徳大学） 著：福澤惇也（中国短期大学）、友 澤加代（東京福祉大学）他13名
〔論文〕 「保育内容領域に 求められる授業内 容について —卒 業生へのアンケート 調査に基づく課 題と改善—」	共	令和 5 年 9 月	徳島文理大学研究紀 要第106号	新課程導入（令和 5 年度入学生よ り）を期に保育科におけるこれま での保育内容領域に関する授業内 容を見直すことを目的に、保育科 卒業生を対象とし領域に関する授 業内容についてアンケート調査を 行った。保育者の立場での必要度 として、領域「人間関係」におい ては、保護者との関係構築や子ど も同士の葛藤場面での関りにつ いて高い必要度を示した。授業内 容や学生の体験や活動の検討・充 実につなげることができた。 本人担当部分：(2)保育内容「人 間関係」（pp.44-45） 共著者：児嶋輝美、石井信子、 下内新吾、森万里子、金子紗枝 子、古本奈奈代

保育学生の「保育における不適切なかかわり」に関する意識について	共	令和6年9月	徳島文理大学研究紀要第108号	保育所等における保育士による子どもへの不適切なかかわりを保育者養成教育の課題でもあると捉え、授業や実習指導に役立てることを目的に、保育者を目指す学生が不適切なかかわりについてどのような意識を持っているかを知るためのアンケート調査を行った。実習経験の有無により不適切と感じる度合いに差が見られたという結果を踏まえ、実習指導や授業改善を図った。 本人担当部分：4. (2)短期大学部における指導について (pp.48) 共著者：児嶋輝美、森万里子、古本奈奈代
〔発表〕 「保育内容領域に求められる授業内容について ―卒業生へのアンケート調査から―」	共	令和5年5月	日本保育学会第76回大会	保育内容領域に求められる授業内容について、卒業生によるアンケート調査により保育者の立場での必要度を明らかにするため授業担当者と共同研究を実施した。 領域「人間関係」においては、保護者との関係構築や子ども同士の葛藤場面での関りについて高い必要度を示し、授業内容や学生の体験や活動の検討・充実につなげることができた。 共著者：児嶋輝美、石井信子、下内新吾、森万里子、金子紗枝子、古本奈奈代
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 なし ②後期担当授業科目名等 「保育学」(人間生活3年 27名・人間食物4年 5名 人間建築1年 7名 月曜日2講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「保育実習指導Ⅰ①」 (保育1年 12名 火曜日2講時) 「保育の心理学Ⅰ」 (保育2年 18名 火曜日3講時) 「子育て支援」 (保育2年 18名 水曜日3講時)			

授 業	「事前・事後指導」 (保育 2 年 19名 水曜日 4 講時) 「総合科目 A ボランティア」 (保育 2 年 19名 水曜日 5 講時) 「児童文化①」 (保育 1 年 12名 木曜日 1 講時) 「子ども家庭支援の心理学」 (保育 2 年 18名 金曜日 3 講時) ②後期担当授業科目名 「保育実習指導 I ②」 (保育 1 年 11名 月曜日 4 講時) 「保育の心理学 II」 (保育 2 年 19名 火曜日 3 講時) 「保育内容 (人間関係) A」 (保育 2 年 19名 水曜日 3 講時) 「幼児と人間関係」 (保育 1 年 11名 水曜日 4 講時) 「児童文化②」 (保育 1 年 11名 木曜日 1・2 講時) 「保育教育実践演習」 (保育 2 年 19名 金曜日 3 講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (7) コマ} \\ \text{後期 (8) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (15) コマ 〔その他の指導状況〕 ○令和 6 年度全学共通教育センター 学習支援アドバイザー 直前面接講座 (集団面接) 5 月 29 日 5 講時、5 月 30 日 5 講時、5 月 31 日 5 講時 幼保採用試験レベルアップ講座 2 月 10 日 2 講時
学生指導	①保育科 2 年生担任 ○履修状況の確認 ○面談・教職履修カルテ等の記入…実施状況の把握、教職履修カルテ・学習ポートフォリオ等への入力指示・確認を行う。 ○個別対応が必要な学生への対応… ・学習意欲が低下した学生への助言・指導、保護者連絡 ・支援を必要とする学生に対して、連絡・面談・助言・指導等 ○就職活動…履歴書記入・電話対応・メール送信のマナー・面接での留意事項や模擬面接等、就職活動が円滑にできるように指導。 ②実習関係 ○実習前の準備の確認…抗体検査や細菌検査等の結果を確実に受検し実習初日に実習先に提出できるよう確認。学生が見た目の印象で不利益を受けないよう身だしなみのチェックや実習期間中の生活態度についての直前指導。 ○実習中の訪問指導・体調不良等欠勤対応…実習の継続や中止についての対応。実習を中断した学生に対する、実習再開時の体調確認・学生の実習に対するモチベーションの維持等。 ○実習準備や実習中の態度等が懸念される学生への対応…学生への指導及び実習先への対応。 ○指導計画の作成への助言指導…責任実習 (指導案を作成) に苦慮している学生に対しての助言指導。 ○実習後の対応…実習終了後、実習日誌の提出や受け取り・お礼状の送付等についての連絡・指示及び学生からの質問への対応。 ③子育て支援イベント「ペンギンクラブ」 今年度 8 回実施。イベントに参加した親子への配慮や関わり方、イベントでの表現や製作物の準備や作り方について学生が主体となって担当できるよう指導を行い、学生の実践力の向上を図った。 ④おとぎのくに ブラックシアターでは、少人数の学生による活動であったため学生の心身の負担感を軽減するため、製作や当日の上演の補助を行った。全体に対しては、準備中の学生を労い、自信をもって上演できるよう承認の声掛け等行う。 ⑤就職活動 エントリーシートや履歴書での適切な文章表現等の助言指導、面接での想定質問や回答例、模擬面接等を他学部希望する学生に行った。

活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 日本保育学会会員 〔公的機関の活動〕 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 徳島県保育士・保育所支援センター 保育アドバイザー委託 〔各種講演〕 ①徳島市立保育所所長・認定こども園長研修 9月5日（木）「子どもへの関りの質の向上を目指す保育」 （於・ふれあい健康館2階 第1会議室） ②徳島市保育士・保育教諭会研修会 10月31日（木）「不適切保育の未然防止について」 （於・徳島市役所13階 大会議室） 〔その他の活動〕 ①徳島市立丈六保育所在宅育児家庭相談室ボランティアスタッフ派遣 及び子育て支援講座 日時：10月30日（水）、12月11日（水）、1月15日（水） 保育科2年生を引率
学内活動	①実習連絡協議会（保育所・施設）・保育所実習後意見交換会の開催 保育所実習連絡協議会 6月11日（火） アカサススタジオ （対面・オンライン） 保育所実習後意見交換会 9月17日（火） 25号館4階 スタジオ型会議室 （対面・オンライン） 施設実習連絡協議会 12月12日（木） アカサススタジオ （対面・オンライン） ②保育所実習事前指導（児童学科との顔合わせ）・令和7年度実習依頼説明会の開催 保育所実習事前指導（顔合わせ） 5月28日（火） 9202教室 令和7年度実習依頼説明会 6月25日（火） 9302教室 ③ハラスメント防止委員会 短期大学のハラスメント防止委員会の相談員 「ハラスメント防止委員・相談員合同研修会」（8月5日開催） ④短大オープンキャンパス運営委員並びに各オープンキャンパスでの担当 模擬授業担当：3/20 8/18 学科説明担当：5/24（WEB） 6/16 入試説明 4/28 7/27 ⑤入試関連 ・ミライのわたし 面接 9月28日（土） ・指定校制推薦入試Ⅰ期監督 11月16日（土） ・大学共通テスト主任監督者 1月19日（日） ⑥入学前ガイダンス 2月23日（日） 入学予定者に折り紙を指導 ⑦短期大学部 新任教員研究報告会参加 ・9月10日（火）14：00～ ⑧研究授業への参加 ・障害児保育Ⅰ 6月10日（月）5講時 ⑨保育士資格取得手続き説明及び教員免許申請に係る学生への事前説明

氏 名	下 内 新 吾 (しもうち しんご)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 講師			
最終学歴	徳島大学教育学部中学校教員養成課程（美術）（ 教育学士 ）			
着任の年月	平成31年 4 月 1 日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島市大松小学校教諭			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔論文〕 1. 保育内容「領域」に求められる 授業内容の検討― 卒業生へのアンケート調査に基づ く課題と改善―	共	令和 5 年 9 月	徳島文理大学研究紀 要第106号	領域に関する授業内容を見直し改善 を図ることを目的として、卒業生に 対するアンケート調査を行ったもの である。結果をもとに、造形表現に 関する授業の改善点について述べた。 ＜共同研究者＞ 児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船 本孝子、森万里子（徳島文理大学短 期大学部）、金子紗枝子、古本奈奈 代（徳島文理大学）
〔発表〕 1. 保育内容「領域」に求められる 授業内容の検討― 卒業生へのアン ケートから―	共	令和 5 年 5 月	日本保育学会第76回 大会	領域に関する授業内容を見直し改善 を図ることを目的として、卒業生に 対するアンケート調査の結果、保育 者としての経験年数や担当クラスの 年齢によって必要と感じる技術や知 識が異なることが明らかになった。 ＜共同研究者＞ 児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船 本孝子、森万里子（徳島文理大学短 期大学部）、金子紗枝子、古本奈奈 代（徳島文理大学人間生活学部）
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			

教 育	
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名 「美術A」(保福1年1名、口腔1年3名。月曜日4講時) 「美術A」(理学1年29名。火曜日1講時) 「美術A」(栄養1年26名、看護1年8名、2年1名。金曜日1講時) 「美術A」(生活1年5名、3年2名、看護1年46名。金曜日2講時) ②後期担当授業科目名 「美術A」(児童1年12名、3年1名、4年2名、メディアデザイン3年3名。月曜日3講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「保育内容(表現)C」(保育2年18名。月曜日3講時) 「図画工作1」(保育1年11名、2年1名。火曜日3講時) 「児童文化1」(保育1年11名、2年1名。木曜日1講時) ②後期担当授業科目名 「図画工作2」(保育1年11名。月曜日2講時) 「児童文化2」(保育1年11名。木曜日1講時) 「保育・教職実践演習(幼)」(保育2年18名。金曜日3講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (7) コマ} \\ \text{後期 (4) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (11) コマ 〔その他の指導状況〕 〔大学院等の論文等の指導〕
学生指導	①副担任としての面接 保育科2年4名(4月)、5名(10月) ②教育・保育実習先での訪問指導 保育科2年2名(8月)、2名(10月)、1年2名(2月) ③個人相談への特別指導
活 動	
学外活動	①徳島文理小学校「預かり教室 夏休み特別教室」講師(8月27日) ②徳島文理大学附属幼稚園「特設保育」講師(4月24日～3月12日 計30回) 〔全出講回数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (15) 回} \\ \text{後期 (15) 回} \end{array} \right\}$ 計 (30) 回
学内活動	学生指導・支援協議会委員 自衛消防隊員 短期大学部総合型選抜入試運営委員

氏 名	森 万里子 （ もり まりこ ）			
所属・職の種類	短期大学部 保育科 （ 准 教 授 ）			
最終学歴	徳島文理大学 短期大学 保育科			
着任の年月	2020年 4 月 1 日			
直前の職歴 （学校・企業等）	花しんばり認定子ども園			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕	共著	令和 6 年 9 月	徳島文理大学 研究 紀要 第108号	保育学生の「保育における不適切なかかわり」に関する意識について 保育所等における子どもへの不適切なかかわりに関する報道が相次いでいる。背景には保育者の待遇や人員不足など様々な問題があるといわれるが、筆者は保育者養成の課題でもあるととらえ、授業や実習指導に役立てることを目的として、保育者を目指す学生が不適切なかかわりについてどのような意識をもっているかを知るためにアンケート調査を行った。内容は、全国保育士会が制作した「人権擁護のためのセルフチェックリスト」で「良くないと考えるかかわり」としてあげられた29項目について、不適切と感じる度合いを問うものである。その結果、実習経験の有無によって不適切と感じる度合いに違いが見られることなどが明らかになった。結果を踏まえて、実習指導や授業で改善策を述べた。 本人担当部分：4. 授業の取り組みと今後の課題（1）4年生学部における指導について 共著者：児嶋輝美、船本孝子、古本奈奈代
保育内容「領域」に求められる授業内容の検討 —卒業生へのアンケート調査に基づく課題と改善—	共著	令和 5 年 9 月	徳島文理大学研究紀要 第106号	本研究の目的は、本学での新課程導入（令和 5 年度入学生より）を機に保育科におけるこれまでの保育内容領域に関する授業内容を見直すことである。 その第一段階として、今回は本学、保育科卒業生を対象とし、領域に関

保育者養成校が行う子育て支援の取り組みについて —本学のペンギンクラブ子育て支援イベントの成果と課題—	共著	令和4年3月	徳島文理大学研究紀要 第103号	する授業内容についてアンケート調査を行い、保育者の立場での必要度を明らかにした。 今後の授業を改善するための手だてとする。 本人担当部分：（3）保育内容「環境」（pp.45） 共著者：児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船本孝子、金子紗枝子、古本奈奈代 全国の大学が行う子育て支援の取り組みの運営形態や実施状況を明らかにするとともに、本学保育科が実施してきた子育て支援イベント等を振り返り成果と課題を検証する。 調査校の約半分が、自治体やNPOとの連携、委託により実施していること。そして、授業や実習指導と関連付けていることが明らかになった。 また、本学が実施しているペンギンクラブの取り組みについての利用者へのアンケートや学生の感想などから、保護者から高評価を得ており、一定の教育効果をあげていることが確認できた。今後の課題は、継続可能な仕組みを整えること、ICTの活用、活動の評価方法の検討である。 共著者：児嶋輝美、森万里子、勢井香菜子
科研費採択状況 （過去2年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去2年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去2年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔大学院関係〕 ①前期担当授業科目名等 ・該当なし ②後期担当授業科目名等 ・該当なし 〔専攻科関係〕 ①前期担当授業科目名等 「特別講義」（助産学9名。5/30木曜日2講時）			

授 業	②後期担当授業科目名等 ・該当なし 〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「乳児保育①」（児童１年20名。児童４年１名。食物栄養４年２名。総合政策４年１名。火曜日３講時） 「保育実習指導Ⅰ①」（児童２年。39名。水曜日３講時） ②後期担当授業科目名等 「乳児保育②」（児童１年。18名。水曜日３講時） 「保育実習指導Ⅰ②」（児童２年。39名。水曜日３講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「乳児保育①」（保育１年。11名。保育２年１名。人間生活４年１名。火曜日１講時） 「保育実習指導Ⅱ」（保育２年。18名。金曜日２講時） 「幼児と環境」（保育１年。11名。保育２年１名。金曜日４講時） 「児童文化①」（保育１年。12名。木曜日１講時） ②後期担当授業科目名 「乳児保育②」（保育１年。11名。金曜日２講時） 「保育内容（環境）Ａ」（保育１年11名。木曜日４講時） 「児童文化②」（保育１年11名。木曜日１講時） 「保育・教職実践演習（幼）」（保育２年。18名。金曜日３講時） 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 5 ）コマ} \\ \text{後期（ 6 ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 11 ）コマ 〔その他の指導状況〕 ○全学共通教育センターの学習支援アドバイザー講座開講。 ・前期教員幼保養成対策講座（児童４年８名。児童３年３名。児童２年４名。水曜日５講時） ・直前面接講座（児童４年６名。２回実施。） ・後期教員・幼保養成対策講座（児童３年４名。児童３年７名。水曜日５講時） ・教員・幼保採用試験レベルアップ講座（児童３年１名。児童２年１名。２回実施。） ○面接・実技指導（公立幼保採用試験面接・実技対策：１次試験合格後～２次・３次対策指導。） 〔大学院等の論文等の指導〕 ・該当なし
学生指導	①保育実習（保育科１年・２年、児童学科２年） ・実習科目担当、保育実習指導者として保育士資格取得のため、保育実習の目的や心構え、手続き、必要書類の書き方、スキル等について指導する。 ・保育実習前の準備や確認 （実習先への提出必要書類や準備物、実習日誌の記述、身だしなみ等） （児童学科については、実習開始が長期休み途中であるため、クラスルームで連絡や実習先への提出書類、身だしなみ等の最終確認を行う） ・感染症による学生や実習先への対応 （双方への連絡、報告、実習生のケア、実習日程の調節等） ・保育実習訪問指導 （保育所、施設の実習先に訪問し、施設長・担当者から話を伺ったり学生と話を

学生指導	する機会をいただき、悩みを聞いたり必要に応じてアドバイス等を行う。各々の実習状況を学科内で共有し、実習訪問指導の記録を行う) ・実習後の対応 (実習日誌の仕上げ、実習先への提出、お礼状送付、日誌の受け取り、大学への提出等について折々にクラスルームやメールで連絡する) ②子育て支援 ・「ペンギンクラブ」未就園の子どもと保護者が参加するイベントの(年間8回実施)活動の準備等を行い、子どもや保護者への接し方、対応の仕方等の実践力が身につくよう指導する。 ③第41回おとぎのくに ・保育科の1・2年生が、保育所・幼稚園の幼児を招待してミュージカルやブラックシアター、合唱、ダンス等を上演する行事。主に学生からの相談を受けたり舞台の大道具・小道具を制作したりする際のアドバイス等を行う。 ④授業に関する相談 ・課題や実習日誌の書き方、指導案の作成、模擬保育の内容、保育スキルに関する事等について相談を受け、必要に応じてアドバイスする。 ⑤就職相談 ・就職先についてじっくりと話を聞いた後、就職を考えている保育所(園)・認定こども園を実際に見学させていただくことを勧める。 ・履歴書の書き方を添削指導する。 ・採用試験についての対策、面接指導や実技指導等を行う。
活 動	
学外活動	[その他の活動] ・徳島県保育士養成施設協議会 (県内保育士養成校教員12/9 オンライン開催) ・第20回保育セミナー (保育科1・2年・児童学科2・3年・県内外保育士。7/13 オンライン開催)
学内活動	・全学共通教育センター保育士・教員養成対策講座 ・前期教員幼保養成対策講座 ・直前面接講座 ・後期教員・幼保養成対策講座 ・教員・幼保採用試験レベルアップ講座 ・学部の委員会委員 ・教職課程委員 年数回開催される委員会では、学科のカリキュラムと学科間のカリキュラムについて検討を重ね、特に本年度は全学科においてカリキュラムのスリム化を図ることに専念した。 ・教員・保育士養成対策委員 ・短大実習担当委員 ・子育て支援 「ペンギンクラブ」未就園の子どもと保護者が参加するイベント(年間8回実施)活動の準備を行い、子ども・保護者への接し方、対応の仕方等の実践力が身につくよう指導する。 ・クラブ顧問

学内活動	手話サークル・人形浄瑠璃部の顧問。 阿波十郎兵衛屋敷で開催の徳島県民文化祭部門別プログラムに出演した人形浄瑠璃部の指導を行う。(12/15) ・オープンキャンパスにおける学科体験授業 (3/20) ・公募制推薦入試Ⅰ期 監督・面接 阿南会場 (11/16)
-------------	--

氏 名	木 内 聖 (きうち あきら)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 講師			
最終学歴	国士館大学大学院スポーツ・システム研究科博士課程単位取得後退学修士（体育科学）			
着任の年月	2024年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	国士館大学大学院スポーツ・システム研究科博士課程 サレジオ工業高等専門学校一般教育科体育非常勤講師（体育実技）担当			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕				
〔論文〕 ①歩行速度の違い による足部内側縦 アーチおよび足底 荷重の変化	共著	令和 6 年 3 月	国士館大学体育研究 所報2024 第42号 掲 載頁：pp33-39	速度増加に伴う立脚期中の足底圧力 中心速度および足底荷重分布の変化 を明らかにすることを目的とした。 参加者は男子体育専攻学生 8 名とし た。試技は裸足での歩行とし、設定 速度0.8、1.2、1.7m/sの 3 条件で行っ た。足底圧分析機を用いて立脚期中 の足底荷重と圧力中心座標を取得し た。足底荷重は、足部解剖学的計測 点に基づいて足底を 5 部位に分割し た。立脚期は、足底圧分析機のセン サー感知に基づいて 4 つのタイミン グと 3 つのフェイズに分けた。歩行 速度増加に伴いFoot flat phaseで圧 力中心速度の増加、Forefoot push off phaseで前足部内側の足底荷重 が増加した。これは、後足部の離地 が速度増加に伴い早まることで、圧 力中心が後足部から前足部へ素早く 移動し、前足部内側の足底荷重を増 加させることで歩行速度を高めてい ると考えられる。 掲載頁：pp.33-39 本人担当部分：全般にわたり共著者 と共同した 共著者：木内聖、平野智也、古田な つみ、尹鉉喆、船渡和男
②女子大学空手選 手の床反力および 動作分析からみた 突き技の反応時間 に関する研究―組 手国際レベル選手 に着目して―	共著	令和 6 年 3 月	国士館大学 体育・ ス ポー ツ 科 学 研 究 2024 第24号 掲載頁：pp19-25	本研究の目的は、空手組手における 運動学・運動力学に基づき、空手選 手の対人反応時間を明らかにするこ とである。また、国際選手、大学選 手、型選手の反応時間を比較し、国 際レベルの選手の特徴を検討した。 本研究には、女子大学生空手選手13

				名（組手国際レベル：n=2、組手大学レベル：n=6、型：n=5）が参加した。14台のモーションキャプチャカメラと3台のフォースプレートを用いて、LED光刺激と相手の動きに対する刻み突きと逆突き動作を記録した。運動学・運動力学解析の結果、LED光刺激に対する反応時間には、レベル間で差は見られなかった。しかし、国際レベルの組手選手は、相手の動きに対する反応時間が短い傾向があった。結論として、これらの結果は、組手の国際レベルの選手は、相手の動きを予測し、推定する能力に優れていることを示唆している。 掲載頁：pp19-25 本人担当部分：データ分析、作図、考察およびまとめ 共著者：亀山歩、田中理沙、木内聖、王善賜、平野智也、古田なつみ、尹鉉喆、藤戸靖則、船渡和男
③バックスクワット運動の負荷の増加に伴い出現するスティッキング領域に関するバイオメカニクス研究	共著	令和6年3月	国士舘大学 体育・スポーツ科学研究 2024 第24号 掲載頁：pp27-36	本研究は、バックスクワット（BS）で発生するスティッキング領域（SR の原因を明らかにすることを目的とした。男子大学生ウェイトリフティング選手6名を対象とした。異なる負荷（0、30、50、70、90、100% 1RM）で1レップを実施し、反動動作なしのBS（0、30、50、70、90% 1RM）を1レップずつ行った。リフティングフェーズにおけるバーベル速度、関節角度、角速度、モーメント、パワーを算出した。SRの同定は、負荷が大きくなるほど顕著になった。BS中のSR期では、足関節底屈角速度とパワー、膝関節伸展角が減少した。一方、膝関節伸展パワーは中間期で減少した。これらの結果から、SRの出現は、BS運動中の膝関節のモーメントおよびパワーの減衰と関連している可能性が示唆された。 掲載頁：pp27-36 本人担当部分：データ分析、作図、考察およびまとめ 共著者：松田柊斗、平野智也、古田なつみ、尹鉉喆、木内聖、藤戸靖則、山本智貴、増本達哉、熊川大介、船渡和男
④ランニング中の足部アーチ変化および足底荷重分布	共著	令和5年3月	デサントスポーツ科学 44巻 掲載頁：pp.184-191	ランニングにおける足部内側縦アーチの変化および足底荷重を定量化することを目的とした。足底圧分析

パターンの定量化				機、モーションキャプチャシステム、フォースプレートを同期し、足底を解剖学的計測点に基づいて5つに分割した。参加者8名が2.78m/sの速度でランニングを行った。内側縦アーチ角度は第一中足骨遠位端、舟状骨、踵骨側面のなす角度、中足趾節関節角度は、母趾末節骨近位端、第一中足骨遠位端および近位端のなす角度として算出した。足底荷重は、接地とともに後足部および前足部外側の荷重がみられ、蹴り出し時には前足部に荷重がシフトし、内側縦アーチ角度が最大の変化量を示した。その後、中足趾節関節背屈に伴い前方向の地面反力が増加する傾向がみられた。内側縦アーチは、足部接地中、足底荷重を吸収するための柔軟な構造から、蹴り出し時に中足趾節関節を背屈させることで剛性を高め、前足部で蹴り出すことで前方への推進力を生み出していると推察される。 掲載頁：pp.184-191 本人担当部分：全般にわたり共著者と共同した 共著者：木内聖、平野智也、角田直也、船渡和男
⑤大学生女子バレーボール選手のスパイクジャンプとカウンタームーブメントジャンプにおける地面反力の比較	共著	令和5年3月	国士舘大学 体育研究所報2023 第41号 掲載頁：pp 9-14	本研究は、大学女子バレーボール選手のスパイクジャンプと鉛直跳びにおける地面反力を比較し、スパイクジャンプにおける地面反力の発揮様式を明らかにすることを目的とした。大学女子バレーボール選手7名を対象とし、スパイクジャンプとカウンタームーブメントジャンプ(CMJ)における身体重心(COM)パラメータと鉛直方向の地面反力を比較した。COMに関するパラメータでは、スパイクジャンプはCMJと比較して、離陸時の最大重心高およびCOM鉛直速度が有意に高い値を示した。また、スパイクジャンプはCMJと比較して、接地時間が有意に短く、鉛直方向の地面反力が有意に高かった。これらの結果から、スパイクジャンプはCMJよりも短い接触時間でより大きな鉛直接地反力を発揮することにより、より高い重心高を得たことが示唆された。 掲載頁：pp 9-14 本人担当部分：データ収集、データ分析および作図 共著者：飯田周平、木内聖、尹鉉喆、平野智也、船渡和男

⑥女子大学空手選手の逆突きおよび刻み突き動作における反応時間に関する研究—床反力及び動作分析からの検討—	共著	令和5年3月	国士舘大学 体育・スポーツ科学研究 2023 第23号 掲載頁：pp23-29	空手の組手における動作分析から、相手選手に対する攻撃選手の反応時間を明らかにすることを目的とした。加えて、国際レベル、大学レベルおよび形選手の反応時間を比較し、国際レベルの選手の特徴を検討する。13名の女子大学手選手（組手国際レベル：n=2、組手大学レベル：n=6、形：n=5）が本研究に参加した。試技は、LED光刺激および相手選手の動作に対して、攻撃者が刻み突きおよび中段逆突きを行った。光学式3次元モーションキャプチャシステムと地面反力計を用いて各試技の運動学および運動力学データを収集し、各種反応時間を算出した。LED光刺激に対する各種反応時間は3群間で差が示されなかった。一方、相手選手の動作に対する反応時間は組手国際レベルの選手が短い傾向にあった。以上の結果から、組手国際レベルの選手は相手選手の動作を予測・判断する能力に優れていることが示唆された。 掲載頁：pp23-29 本人担当部分：データ分析、作図、考察およびまとめ 共著者：亀山歩、田中理沙、王善賜、古田なつみ、木内聖、尹鉉喆、藤戸靖則、平野智也、船渡和男
⑦小学校児童の発育に伴う歩容および足部内側縦アーチ構造の変化（修士論文）	単著	令和3年3月	日本体育大学大学院	小学校児童における内側縦アーチ（MLA）の運動学的変数を計測し、発育に伴う歩容および立脚期中のMLA構造の変化を明らかにすることを目的とした。被験者は、小学校児童247名（男子126名、女子121名）。MLA構造として、MLA角度、MLA高およびMLA長を測定した。足底圧分析器を用いて歩行中の時空間変数を計測した。MLA構造の変化は、足長に依存しており、発育に伴い男女ともに相対的に変化することが示唆された。本研究を発展させることで発育期の子どもだけでなく、加齢や疾病に伴う足部機能の低下について明らかにすることできると考えている。 A4判 全49頁
〔発表〕 ①Foot medial longitudinal arch deformation and plantar load distr	—	令和5年8月	29th Congress of International Society of Biomechanics (ISB) and 29th Con	本研究はランニングにおける足部内側縦アーチの変化および足底荷重を定量化することを目的とした。参加者は、健康な成人男性8名であった

tribution pattern during running.			gress of Japanese Society of Biomechanics (JSB) (Fukuoka)	(年齢：20.8±3.4歳、身長：174.2±4.7cm、体重：69.9±5.6kg)。参加者は、走路を2.78m/sでランニングした。その結果、足部内側縦アーチは、足部接地中、足底荷重を吸収するための柔軟な構造から、蹴り出し時に中足趾節関節を背屈させることで剛性を高め、前足部で蹴り出すことで前方への推進力を生み出していると推察される。 共同研究者：木内聖、平野智也、古田なつみ、尹鉉喆、船渡和男
②Changes in medial longitudinal arch and plantar load during walking at different speeds.	—	令和5年7月	28th Annual Congress of the European College of Sport Science (Paris, France)	本研究の目的は、異なる速度で歩行する立脚期における内側縦アーチ(MLA)と足底の荷重分布の変化を明らかにすることである。健康な男性8名を対象とした。試技は裸足での歩行とし、設定速度0.8(Slow)、1.2(Normal)、1.7(Fast) m/sの3条件で行った。足底圧分析機を用いて立脚期中の足底荷重と圧力中心座標を取得した。足底荷重は、足部解剖学的計測点に基づいて足底を5部位に分割した。その結果、前足部内側の足底荷重を増加させることと、MLAを硬くすることは、Fastにおけるプッシュオフフェーズで重要な役割を果たす可能性があることが示唆された。 共同研究者：木内聖、平野智也、古田なつみ、尹鉉喆、船渡和男
③歩行速度の違いによる足底圧分布の変化	—	令和4年11月	第28回日本バイオメカニクス学会大会	速度増加に伴う立脚期中の足底圧力中心速度および足底荷重分布の変化を明らかにすることを目的とした。参加者は男子体育専攻学生8名とした試技は裸足での歩行とし、光電管を用いて設定速度0.8、1.2、1.7m/sの3条件で行った。足底圧分析機を用いて立脚期中の足底荷重および圧力中心の座標を取得した。足底荷重データはモーションキャプチャシステムを用いて100Hzで取得した。足部解剖学的計測点に基づいて足底を5部位に分割し、足底部位ごとの足底荷重量および力積を算出した。立脚期は4つのタイミングと3つのフェイズに分けた。速度増加に伴い、Foot flat phaseで圧力中心速度の増加、Forefoot push off phaseで前足部内側の足底荷重が増加する傾向がみられた。これは、後足部の離地が速度増加に伴い早まることで、圧力中心が後足部から前足部へ素早

④Relationship between dynamic and static measurements of medial longitudinal arch in elementary school girls	—	令和3年9月	The 2020 Yokohama Sport Conference, 2020, September (Online)	く移動し、前足部内側の力積を増加させることで歩行速度を高めていると推察した。 共同研究者：木内聖、平野智也、古田なつみ、尹鉉喆、船渡和男 小学校女子児童を対象に、内側縦アーチ (MLA) の静止立位時の3次元形状データおよび歩行中の運動学データを取得した。その結果、静止立位時の舟状骨高が大きい群では、歩行時の MLA の変形が小さく、歩行時の MLA 構造がより硬く機能していることが示唆された。 共同研究者：木内聖、平野智也、相馬満利、藤戸靖則、野澤巧、榎屋剛、尹鉉喆、柏木悠、船渡和男
⑤小学校児童の発育に伴う歩容および足部内側縦アーチ構造の変化	—	令和3年3月	東京体育学会第12回学会大会（於：国士舘大学、Web開催）	小学校児童における内側縦アーチ (MLA) の運動学的変数を計測し、発育に伴う歩容および立脚期中の MLA 構造の変化を明らかにすることを目的とした。被験者は、小学校児童247名（男子126名、女子121名）。 MLA 構造として、 MLA 角度、 MLA 高および MLA 長を測定した。足底圧分析器を用いて歩行中の時空間変数を計測した。 MLA 構造の変化は、足長に依存しており、発育に伴い男女ともに相対的に変化することが示唆された。本研究を発展させることで発育期の子どもだけでなく、加齢や疾病に伴う足部機能の低下について明らかにできると考えている。 本人担当部分：全般にわたり共著者と共同した 共同発表者：木内聖、平野智也、相馬満利、藤戸靖則、古田なつみ、野澤巧、榎屋剛、尹鉉喆、柏木悠、船渡和男 東京体育学会大会第12回学会大会 東京体育学奨励賞
科研費採択状況 （過去2年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去2年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去2年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			

教 育	
授 業	〔大学院関係〕 〔専攻科関係〕 〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「体育科教育法」(児童3年。14名。火曜日3講時) 「健康スポーツA」(建築1年。30名。水曜日1講時) 「体育科教育法」(児童3年。9名。水曜日3講時) ②後期担当授業科目名等 「スポーツ科学理論」(音楽、児童1年。27名。月曜日1講時) 「保育内容(健康)A」(児童2年。42名。水曜日2講時) 「保育内容(健康)B」(児童4年。18名。木曜日3講時) 「保育内容(健康)B」(児童4年。18名。木曜日4講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「児童文化①」(保育1年。12名。木曜日1講時) 「幼児と健康」(保育1年。12名。木曜日3講時) ②後期担当授業科目名 「スポーツ科学理論」(音楽、食物、保育、言語、商1年。21名。月曜日1講時) 「児童文化②」(保育1年。11名。木曜日3講時) 「総合ゼミナール」(保育1年。11名。水曜日5講時) 「保育・教職実践演習(幼)」(保育2年。19名。金曜日3講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (5) コマ} \\ \text{後期 (6.5) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (11.5) コマ
学生指導	「保育科1年担任としての面接」 ・前期後期の初めに、学生と大学生活の過ごし方や、悩みについて個人面談を行った。面接内容を学生カルテに記入した。 「女子サッカー部監督としての指導」 ・日頃の練習や遠征への帯同、学生と研究室やグラウンドで面談を行った。チーム運営に関する悩みや、進路の相談など、個別に面談を行った。 「入学前ガイダンス運営」 ・学生スタッフと打ち合わせを行い、当日のセリフ確認や、新入生への案内方法など指導した。
活 動	
学外活動	該当なし
学内活動	クラブ顧問(女子サッカー部) 2024年度の主な実績 2024年度 四国女子サッカーリーグ第3位 第33回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会優勝 第33回全日本大学女子サッカー選手権大会出場 入学前ガイダンス運営委員会 主にコミュニケーションゲームについて担当した

氏 名	堀 口 誠 信 （ ほりぐち まさのぶ ）			
所属・職の種類	短期大学部言語コミュニケーション学科 教授 （ 学科長 ）			
最終学歴	同志社大学大学院文学研究科英文学専攻博士前期課程修了（修士・文学）			
着任の年月	平成10年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	和歌山信愛女子短期大学英語学科（新設）専任講師（平成10年 3 月まで）			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 1 『英語でニッ ポン再発見』 ISBN 978-4-87571-173-5	共	令和 4 年 3 月	開文社出版	英語で読む・聴く・話す・書くの四 技能とビジュアルから異文化を理解 する基礎総合英語の教科書。割り箸 や蚊取り線香を英語でどう紹介した ら良いか、などの日本文化の簡単な 説明などの指針となり、異文化理解 の根底にあるものを考えることにつ ながる。 （共同執筆者：Lance Kita）
〔発表〕 1 「本学会の研 究発表と論文のタ イトルの英訳を考 える」	単	令和 2 年 6 月	日本ビジネス実務学 会第39回全国大会 於：北海商科大学・ 札幌国際大学共同開 催・遠隔Zoom方式	専門用語を並び立てて専門家以外の 人たちと距離を置くような論文が、 時代遅れであるのと同様、論文の英 文タイトルや英文アブストラクトが 判りにくく、一般の英語話者から距 離を置かれるようではいけない。英 文タイトルから、多くの人たちに興 味をもってもらふ論文や研究発表に するにはどうしたらよいかについ て、いくつかの提言を行った。
2 「より良い英 文タイトルのつけ かたを考える」	単	令和 3 年 6 月	日本ビジネス実務学 会第40回全国大会 於：北九州市立大 学・遠隔Zoom方式	論文や研究発表は日本語であるが、 そのタイトルだけは英文にしなくて はいけない、という場合、最初から 全ての内容とタイトルを英語で考 え、表現している場合と較べ誤訳や 意味不明の英文が生成される場合が 多い。その原因の一つは、コンパク トにまとめなくてはならないタイト ル作成にとって、日本語は省略表現 や複合語表現といった便利な武器を 持っており、これにより日本語の枠 内では充分意味が通っても、英語を はじめ外国語に翻訳する際に「元の 日本語タイトルに隠れている暗黙の 前提」をわざわざ引っ張り出して訳 出しなくては意味が通らなくなる状

3 「英文タイトルの落とし穴：『提案』と『影響』には気をつけろ」	単	令和4年6月	日本ビジネス実務学会第41回全国大会 於：愛知東邦大学・Zoom遠隔方式	況が生じるからである。 英語では、主語を定めなければ、そもそも文は作成できず、主語＋述語という構造になっている。一方、日本語で主語とされているもののほとんどは「主題」であり、述語とされているものは「説明」という、主題卓越文という構造になっており、主語を抜きにして、細部にわたる説明が可能で、詳細な説明を得意としている。ここに「提案」あるいは「影響」という言葉が含まれる場合、誰が何をする提案か、誰が何に及ぼす影響か、という方向性を、あらかじめ日本語の段階で考えていないと、奇妙な英文が生成される。これをもとに、論文や研究発表の英文タイトルを改善できる例を示した。
4 「関係代名詞の和訳ナニナニする「トコロの」ダレソレはヘンテコに非ず：「トコロ＋の」のとらえ方と教授法的応用」	単	令和6年2月	同志社ことばの会・2023年度年次大会 於：同志社大学今出川キャンパス・寒梅館6F大会議室（対面・遠隔ハイブリッド方式）・Zoom遠隔方式による発表参加	日本語では「彼が忠告を与えたのを弟は無視した」のような文構造が可能だが、英語では「彼」を無視したのか、「忠告」を無視したのか、という具合に、関係詞を使って節内部の主要部を先行詞として取り出し、「～する彼」や「～のような忠告」と、説明を後回しにする形が好まれる。逆に、関係代名詞を含む英文を日本語に翻訳する際、漢文訓読法を応用して関係代名詞部分を「～するところの～」と訳す古風な表現が存在するが、この表現の本質は何であるかを説明し、現代的には奇妙なこの表現を使うことにより、英語初級者が英語の関係代名詞を理解する際、役に立つ場合があることを解説したもの。
その他の研究活動	令和4年度以降について述べる 一般雑誌記事・解説記事・招待講演など			
1 『日本ビジネス実務学会会報 No. 77』	共	令和4年9月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-16.	日本ビジネス実務学会・広報委員長として全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「会長あいさつ」、「全国大会プログラム」、「ポスター発表報告」、「口頭発表概要」、「役員体制」。
2 『日本ビジネス実務学会会報 No. 78』	共	令和5年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・広報委員長として全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「会長あいさつ」、「次期役員への申し送り事項」、「委員会活動報告」、

				「ブロック研究会活動報告」、「新体制への引継ぎ事項」。
3 『日本ビジネス実務学会会報中国四国ブロック会報 No. 36』	共	令和5年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックリーダーとして全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「ブロックリーダーあいさつ」、「総会概要」。
4 『日本ビジネス実務学会会報 No. 79』	共	令和5年9月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-16.	日本ビジネス実務学会・広報委員として「口頭発表概要」部分を担当。
5 『日本ビジネス実務学会会報 No. 80』	共	令和6年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・広報委員として「ブロック研究会活動報告」部分を担当。
6 『日本ビジネス実務学会会報中国四国ブロック会報 No. 37』	共	令和6年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックの前リーダーとして全てのページのフォーマットを整理。
7 『日本ビジネス実務学会会報 No. 81』	共	令和6年9月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-16.	日本ビジネス実務学会・広報委員として「会長あいさつ」、「口頭発表概要」部分を担当。
8 『日本ビジネス実務学会会報 No. 82』	共	令和7年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・広報委員として「ブロック研究会活動報告」部分を担当。
9 『日本ビジネス実務学会会報中国四国ブロック会報 No. 38』	共	令和7年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-13.	日本ビジネス実務学会・中国四国委員として「総会概要」、「口頭発表概要」部分を構成・編集。
教 育				
授 業	〔短大関係〕 令和6年度			
	①前期担当授業科目名 「英語学概論」：言語コミュニケーション2年3人。児童学科2年2人。 メディアデザイン学科4年生1人。 火曜日3講時。 「英米文化論」：言語コミュニケーション1年3人。児童学科2年3人、 メディアデザイン学科4年1人。 月曜日1講時。 「英語A①」：保育科2年。16名 木曜日4講時。 「総合英語」：言語コミュニケーション1年3人。 木曜日1講時。 「文理学」：言語コミュニケーション1年4人。中国人留学生2人。 木曜日5限目			

授 業	「観光総論」：言語コミュニケーション1年3人。中国人留学生2人。 水曜日3、4限目（3限目のみ担当）
	②後期担当授業科目名 「異文化間コミュニケーション」：言語コミュニケーション2年3人、児童2年2人、 中国人留学生2人。 火曜日1講時。 「プレゼンテーション演習Ⅱ」：言語コミュニケーション1、2年計7人。 火曜日3講時。 「旅行業務入門」：言語コミュニケーション1年3人。中国人留学生2人。 水曜日3、4限目（3限目のみ担当） 「英語A①」：保育科2年15人。 木曜日1講時。 「ホテルエアライン英会話」：言語コミュニケーション2年3人、中国人留学生2人、 メディアデザイン学科4年1人。 木曜日3講時。 「総合ゼミナール」：言語コミュニケーション1年4人、中国人留学生2人。 木曜日5限目
	〔学部関係〕令和6年度
	①前期担当授業科目名 「英語A①」：総合政策1年後半。31名。 月曜日3講時。 「英語A①」：総合政策1年前半。33名。 月曜日4講時。 「英語A①」：看護1年前半。30名。 火曜日2講時。 「英語A①」：看護1年後半。31名。 水曜日2講時。 「英語A①」：保健福祉1年+音楽1年+口腔保健。23名。 水曜日4講時。 「語学センター・英語ステップアップ講座」・1回 2人。
	②後期担当授業科目名 「英語A①」：総合政策1年後半。27名。 月曜日1講時。 「英語A①」：看護1年後半。31名。 月曜日2講時。 「英語A①」：看護1年前半。30名。 水曜日2講時。 「英語A①」：保健福祉1年+音楽1年+口腔保健。23名。 水曜日4講時。 「英語A①」：総合政策1年前半。33名。 木曜日2講時。 「語学センター・英語ステップアップ講座」・1回 3人。
	〔全コマ数〕前期 11コマ + 後期 11コマ = 合計 22コマ
授業以外での指導状況	就職面接の指導、面接で英語が必要になる際の、短いやり取りの発音チェック。 本学大学院入学試験（英語）のための個人指導（在学生や卒業生）。
論文等指導	児童学科学生、メディアデザイン学科学生の英語関連に関するテーマでのレポート作成で個人指導。

学生指導	単位不足の学生のための特別指導：英語関連科目に関して。 また、英語に限らず、ひろく文章表現に関しての指導。 英語検定試験（面接試験）・TOEICなどの直前特別指導。 オープンキャンパスでの学生による本学短期大学部言語コミュニケーション学科紹介の企画：スライド作成・発表の指導・模擬授業実演・学生指導 特に、言語コミュニケーション学科学生による、学科紹介に関するプレゼンにおいてスライドの内容検討と学生のトレーニングを行う。 1年生に関し、就職ガイダンスでの指導や講演に対する協力。
活 動	
学外活動	〔学会活動〕 日本ビジネス実務学会・常任理事（令和5年6月まで。） 日本ビジネス実務学会・理事（令和5年6月から。） 毎年6月の全国大会での理事会（全国大会開催地・今回は安田女子大学）、 12月の理事会（主に東京・大妻女子大学を会場とするが今回はZoom遠隔）、 次年度3月の理事会（主に東京・大妻女子大学を会場とするが今回はZoom遠隔） に出席。 日本ビジネス実務学会・広報委員長（令和5年6月まで。） 日本ビジネス実務学会・広報委員（令和5年6月から。） 日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックリーダー （令和5年6月まで。） 日本ビジネス実務学会・中国四国ブロック運営委員 （令和5年6月から。） 日本ビジネス実務学会・第41回中国四国ブロック研究会 （令和6年8月24日[土]・25日[日]・於：岡山市・中国学園大学・対面式） において、総会・会計報告とりまとめ・司会を担当する。 また、それに関するリハーサル。事前Zoom会議招集・参加。 併設する第19回学生プレゼンテーションコンテストの司会進行。 日本ビジネス実務学会・第43回全国大会 （令和6年6月8日[土]・9日[日]・於：広島市・安田女子大学・対面式） において全国大会実行委員（総合コーディネーター）を務める。前日に理事会出席。 外部団体（書店）との連絡係、会場設営、司会進行など。 〔審査委員関連〕 審査委員候補者 独立行政法人・日本学術振興会・審査委員候補者（令和6年3月に継続更新） 日本ビジネス実務学会の編集委員会からの要請で、論集『ビジネス実務論集』の 英語タイトルの校正。今年は8件。 今回、本学外国人英語教諭・Justin Dekker氏に共同作業を依頼する。 日本比較文化学会の編集委員会からの要請で、論集『比較文化研究』の論文審査。 論文採用・不採用の審査を副査者と共同する。 今年は2件。 〔外部団体からの要請〕 商業英語スピーチコンテストの審査員ならびに演説（於：徳島県教育会館）

学外活動	本年度は第41回目・令和6年7月7日[日]。 TOEIC（TOEIC協会による）学内開催における監督・準備 令和6年8月6日[火] 令和6年2月12日[水] 徳島県生涯学習情報システム 指導員（指導者番号1919） （徳島県立総合教育センター・生涯学習課） フィンランドの教育・ジョン万次郎の英語など （平成22年より継続） 〔高等学校への出張講義〕 令和6年7月12日[金]に城西神山高等学校に出向（高校内ガイダンス）。 授業時間は2コマ。タイトルは「世界の10大言語クイズ」 その他、高校生の大学見学における模擬授業。今年は穴吹高校など。
学内活動	〔学内委員会・短大〕 短期大学部言語コミュニケーション学科・学科長 短大認証評価ワーキンググループ 〔学内委員会・全学に関わるもの〕 入試出題者。四年制大学ならびに短期大学部。 語学センター雑務 〔行事企画・広報〕 面接：指定校推薦・総合選抜入試など。 オープンキャンパスでの学科紹介・模擬授業 短大キャンパスライフ体験会（入学が決定している高校生に授業） 短大フェスタ（令和6年10月26日[土]）学科の企画と参加。 語学研修が困難な学生に対する、SDGsオンライン海外研修の紹介。 合理的配慮の必要な学生に対するケアならびに各担当教員への連絡と学生・保護者への連絡。令和6年度は学科内で2年生各1名。 留学生のための入学時の科目登録のケアや修了式の協力。 今年は中国人留学生前期2名、後期2名。

氏 名	早 雲 洋 一 (はやくも よういち)			
所属・職の種類	短期大学部 言語コミュニケーション学科 教授			
最終学歴	鳴門教育大学大学院学校教育研究科学校教育専攻修士課程修了 (教育学修士)			
着任の年月	平成21年 4 月 1 日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立城東高等学校長			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名等 「英語 A①」(短大 1 年。 9 名。 短大 2 年 1 名 水曜日 1 講時) ②後期担当授業科目名等 「英語 A②」(短大 1 年。 9 名。 水曜日 1 講時) 〔全コマ数〕 { 前期 (1) コマ 後期 (1) コマ } 計 (2) コマ			
学生指導	基礎的な英語学力不足の学生への特別指導			
活 動				
学外活動	〔公的機関の活動〕 ・徳島県租税教育推進協議会 幹事 (租税教育の推進及び充実のための環境整備を行う) ・徳島県安全で安心なまちづくり推進協議会 委員 (徳島県安全で安心なまちづくり条例) に基づき関係団体等が連携協力)			

学外活動	・徳島県交通安全対策協議会 委員 (本県交通安全対策推進に理解・協力を得るための行動計画の策定) ・徳島県自転車安全利用促進協議会 委員 (県内における自転車ヘルメット着用促進運動の展開) ・徳島県公立高等学校連絡協議会 幹事 (徳島県内高校教育の充実及び振興について協議) ・徳島県私立中学高等学校連合会 事務局長 (年間活動計画作成等、私学振興全国大会等への参加) ・徳島県私立中学高等学校保護者会 事務局長 (保護者会の振興を図ると共に四国、全国の保護者会開催、参加)
学内活動	・広報活動・高校訪問 (広報担当者会議、徳島県・香川県進学説明会、ブロック別進学説明会参加) ・全学入試委員会 委員 (本学の入試全般について協議) ・SD委員会 委員 (教育研究活動等の適切かつ効果的な運営・実施) ・定例部局長会、合同教授会、短大教授会 ・保護者会・後援会 ・理事会・評議員会 ・教員選考委員会委員 ・130周年特待生選考委員会 委員 ・アカンサス会 監査 (同窓会の監査業務) ・アカンサス会奨学金審査委員会 委員 (アカンサス会による奨学金授与の審査) ・「ミライのわたし」選考委員会 委員

氏 名	井 内 孝 明 (いのうち たかあき)									
所属・職の種類	短期大学部言語コミュニケーション学科 准教授、徳島キャンパス就職支援部 課長									
最終学歴	明治大学経営学部(経営学士) 同文学部(文学士) 鳴門教育大学大学院(教育学修士)									
着任の年月	平成27年 4 月 1 日									
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県公立学校長(小松島市芝田小学校)									
研 究 (業績：過去 5 年間)										
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要						
〔発表〕				該当なし						
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし									
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし									
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし									
その他の研究活動	該当なし									
教 育										
授 業	〔学部関係〕 該当なし 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「日本語表現法Ⅱ」(総政 4 年 1 名。水曜日 4 講時) 「日本文学 B」(言コ 2 年 3 名。言コ 1 年 1 名。商科 2 年 1 名。木曜日 2 講時) 「ことばと表現」(生科 1 年 5 名。食物 1 年 3 名。音楽 1 年 1 名。金曜日 1 講時) ②後期担当授業科目名 「日本文学 C」(言コ 2 年 3 名。言コ 1 年 2 名。商科 2 年 1 名。水曜日 2 講時) 「国語表現法」(商 1 年 2 名。商 2 年 1 名。水曜日 4 講時) 「日本文学史」(言コ 1 年 3 名。総政 3 年 1 名。金曜日 3 講時) 〔全コマ数〕 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">前期 (3) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">後期 (3) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> </tr> </table> 計 (6) コマ 〔その他の指導状況〕 1. 令和 6 年度前期・後期教員養成対策講座 科目：論作文講座を担当 2. 教員・幼保採用試験レベルアップ講座「論作文・面接対策」、「文章理解」を担当 3. 教員・幼保採用試験対策 直前面接講座で面接官を担当				{	前期 (3) コマ	}	{	後期 (3) コマ	}
{	前期 (3) コマ	}								
{	後期 (3) コマ	}								

氏 名	小 川 陽 子 (おがわ ようこ)			
所属・職の種類	短期大学部言語コミュニケーション学科 准教授			
最終学歴	高知女子大学文学部国文学科 (文学士)			
着任の年月	令和 6 年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島市川内中学校 校長			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 なし ②後期担当授業科目名等 「文学A」(総合政策12名、人間生活16名、食物栄養13名、児童 6 名、心理 1 名、 人間福祉 1 名、看護 4 名、計53名木曜日 5 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「プレゼンテーション演習Ⅱ」 (言コミ 3 名、商科 1 名、月曜日 2 講時) 「プレゼンテーション概論」 (言コミ 6 名、商科 5 名、月曜日 3 講時) 「日本語表現法Ⅰ」 (言コミ 6 名、火曜日 2 講時) 「ことばと表現」 (言コミ 6 名、商科16名、金曜日 1 講時) 「日本語の語法」 (言コミ 5 名、金曜日 2 講時) ②後期担当授業科目名 「書道及び書道史」 (月曜日 2 講時受講生なし)			

授 業	「日本文学A」 (言コミ6名、商科1名、人間生活1名、総合政策1名 月曜日3講時) 「国語科教育法」 (言コミ1名、人間生1名、総合政策1名、火曜日1講時) 「情報機器プレゼンテーション演習」 (言コミ3名、火曜日2講時) 「言語学概論」 (言コミ3名、木曜日2講時) 「言語とコミュニケーション」 (言コミ6名、金曜日2講時) 「中国文学(漢詩文)」 (人間生活1名、金曜日3講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (5) コマ} \\ \text{後期 (7) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (12) コマ 〔その他の指導状況〕 ①短大前期授業 「観光総論」 (水曜日 3・4 講時) の授業補助 ・学生引率 阿波踊り会館 (5/29)、阿波十郎兵衛屋敷 (6/12)、 ホテルサンルート徳島 (6/26) ②短大後期授業 「旅行業務入門」 (水曜日 3・4 講時) の授業補助 ・学生引率 徳島県観光協会 (10/9)、文化の森総合公園 (12/11) 「総合ゼミナール」 (水曜日 5 講時) の授業補助 ・外部講師 (長尾公美子先生) による手話講座 (11/27、12/4、1/22) ③全学共通センター関係 「公務員試験対策講座」 (文学史) 6/26、(文章理解) 1/10 「教員・幼保養成対策講座」 (論作文講座・個別指導 20回) 「教員・幼保採用試験レベルアップ講座」 (文章理解) 2/13 「学力充実対策講座」 〔大学院等の論文等の指導〕 該当なし
学生指導	〔生活指導・学修支援〕 ・学生の課題や生活環境を考慮し、常にコミュニケーションを心掛け、面接を実施するなど学生生活全般に支援した。 ・授業を休みがちな学生、授業態度が心配な学生には、直接話を聞いたり、メール連絡をしたりすることで意欲の向上に努めた。 ・合理的配慮を申請している学生については、関係者との共通理解を密にし、本人や保護者とのコミュニケーションを丁寧に行った。また、本人、保護者、関係者による合理的配慮に関する反省会に参加した。 〔教職・教育実習支援〕 ・教務課と連携し、教育実習に関する本人への説明、教育実習校への事前訪問・打ち合わせ、実習中の訪問・授業参観、事後連絡等を行った。 ・次年度に教育実習を控えた1年生には、学校決定、事前連絡等で支援した。 〔就職・編入支援〕 ・2年生の担任として就職活動の相談にのり、エントリーシートや履歴書の添削、面接練習等を行った。 ・編入を希望する学生にも同様に面接や小論文指導を行った。 ・1年生には就職活動の重要性を意識させ、2月以降の活動に繋げた。

活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 日本近代文学学会会員 日本国語教育学会会員 〔公的機関の活動〕 ①徳島県中学校教育研究会（会長）（6月まで） ②徳島市教育振興基本計画（第四期）検討委員会委員 （計4回の委員会・パブリックコメントを経て2月最終案を提出） ③徳島市立図書館指定候補者選定委員会委員 （計3回の委員会・徳島市はこらいふ図書館の指定管理者の選定） ④社会福祉法人矯風会第三者委員 （県内児童養護施設に入所している子どもが、施設や施設の職員の言動・方針に疑問を持ったり、不適切だと感じたりしたときに、客観的・第三者的な立場で相談を受ける。）
学内活動	〔学内委員会〕 ・ハラスメント防止委員会 ・教職課程委員会 ・全学共通教育センター関係 （公務員試験対策実行委員会・教員保育士養成対策委員会） 〔短大委員会〕 ・短大就職委員会 ・短大認証評価ワーキンググループ ・短大入学前ガイダンス運営委員会 〔その他〕 ・「オープンキャンパス」における模擬授業、学科説明、学部説明、学生指導、学科説明資料、学科説明リーフレット等作成 ・「徳島進学説明会」参加・対応（5/8） ・「徳島ブロック進学説明会」参加・対応（6/25） ・「総合型選抜入試・ミライのわたし・推薦入試」面接 ・「大学入学共通テスト」監督 ・「短大フェスタ」学科内容の企画準備・学生指導 ・「短大ウェルカムデー」準備・学科紹介、学生指導 ・「新入生ガイダンス」準備・学生指導 ・「入試関係業務」

氏 名	金 澤 朋 紀 （ かなざわ とものり ）			
所属・職の種類	短期大学部言語コミュニケーション学科 講師			
最終学歴	同志社大学大学院文学研究科英文学・英語学専攻博士課程（前期課程）修了 （ 修士（英文学） ）			
着任の年月	令和 4 年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	なし			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 1. 「意識の黄昏 の領域」—コウル リッジの会話詩の 黎明	単	令和 3 年 3 月	同志社大学英文学会 core49号	本論文はSamuel Taylor Coleridge (1772-1834) の「ナイチンゲール 会話詩」を、会話詩という彼独特の ジャンル規範の枠組みから検討し、 その革新性を指摘した。詩的言語の 起源としての音楽性と共同体におけ る社会性に着目することで、当時権 威的であった言語神授説への Coleridgeの反応とその文学史的意 義を考察した。さらに命名の問題 と、意識と無意識の境界の問題とい う、Coleridgeの詩論の核心にある 言語哲学観の一端が、作品の中で展 開されていることを明らかにした。
〔発表〕 1. S. T. コウル リッジの『クリス タベル』における 境界		令和 3 年10月	同志社大学英文学会 2021年度年次大会	本発表はSamuel Taylor Coleridge (1772-1834) の『クリスタベル』に ついて、“threshold” という語を起 点として、作品における境界という 概念に注目し、詩的表現と心理学的 洞察の観点からその意義を論じた。 同時代の文学作品における城が、人 間の精神のアレゴリーとして機能す る伝統を踏まえつつ、城門の敷居を 越えた先にある城の内部が、人間の 深層心理を描出していることを明ら かにした。さらに作品中に現れるフ クロウの鳴き声に注目し、その詩的 表現のうちに、形而上学的意味を読 み込むことができる可能性を指摘し、 作品の重層的な構造とその新たな 解釈を提示した。

2. 老水夫に架かる虹—コウルリッジの「老水夫行」における海蛇		令和4年10月	日本英文学会中国四国支部 第74回大会	Samuel Taylor Coleridgeのバラッド「老水夫行」(“The Rime of the Ancyent Marinere”)において、アホウドリ殺しによって呪われた老水夫は、海蛇を祝福することにより、その呪いから解放される。救済の契機となった海蛇は、本作品における中心的なシンボルである。この海蛇について、コウルリッジが渉猟した文献との関連がこれまでに研究されてきた。本発表は、旧約聖書の創世記における虹に着目し、「老水夫行」の海蛇の新たな解釈を指摘することで、作品における虹の聖書的表象を検討することにある。
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「英語A①」(心理1年Aクラス 35名 月曜日2講時) 「英語A①」(心理1年Bクラス 32名 月曜日1講時) 「英語A①」(理学療法1年Aクラス 34名 木曜日3講時) 「英語A①」(理学療法1年Bクラス 34名 月曜日3講時) 「英語A①」(人間生活1年、メディア1年他 40名 水曜日1講時) ②後期担当授業科目名等 「英語A②」(心理1年Aクラス 34名 木曜日1講時) 「英語A②」(心理1年Bクラス 33名 月曜日4講時) 「英語A②」(理学療法1年Aクラス 33名 水曜日1講時) 「英語A②」(理学療法1年Bクラス 32名 火曜日1講時) 「英語A②」(人間生活1年、メディア1年他 40名 月曜日1講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名等 「実践英語Ⅰ」(言語1年他 5名 木曜日1講時) 「観光総論」(言語1年他 6名 水曜日3・4講時) 「文理学」(言語1年 6名 木曜日4・5講時)			

授 業	②後期担当授業科目名等 「英米文学」(言語2年他 3名 火曜日3講時) 「旅行業務入門」(言語1年 5名 水曜日3・4講時) 「総合ゼミナール」(言語1年 6名 水曜日5講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (8) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (16) コマ 〔その他の指導状況〕 全学共通教育センター 2024年後期 公務員試験対策講座B「文章理解(英文)」 語学センター 英語ステップアップ講座「TOEIC英単語道場」(6月、11月) 語学センター TOEIC個別相談 等 〔大学院等の論文等の指導〕 なし
学生指導	言語コミュニケーション学科1年担任として、他の学科教員と協力し、学生指導にあたった。指導の主な内容は、次のとおりである。 ①授業履修について ②大学生活について ③就職活動について ④英語学習について ⑤各種講座、研修会への参加について 等
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ・日本英文学会会員 ・イギリス・ロマン派学会会員 ・日本ピューリタニズム学会会員 ・関西コールリッジ研究会会員 ・同志社大学英文学会会員
学内活動	・2025年度入試問題作成委員・答案採点委員 ・短期大学部ホームページ委員 ・短期大学部インターンシップ委員 ・短期大学部総合型選抜入試運営委員 ・短期大学部オープンキャンパス運営委員 ・インターンシップ推進委員会委員 ・R6実施新生セミナー運営委員会委員 ・R7実施新生セミナー運営委員会委員 ・令和6年度全学共通センター 学習支援アドバイザー ・令和6年度公務員試験対策講座担当教員 ・令和7年度大学入学共通テスト試験室主任監督 ・オープンキャンパス学科説明、模擬授業担当 ・短大ウエルカム・デイ 動画作成担当 ・短期大学部入学前ガイダンス 動画作成、ゲーム実施担当 ・「ミライのわたし」予約型応援奨学金採用試験面接担当 ・TOEIC IPテスト試験監督(8月、2月) ・総合型選抜入試面接担当 等

氏 名	リチャード ジャスティン デッカー			
所属・職の種類	短期大学部 言語コミュニケーション学科 講師			
最終学歴	文学士 言語学			
着任の年月	2022年 9 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立小松島高等学校			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	前期 「英語 B①」 (建築 2 年。23名。 火曜日 2 講時) 「英語 A①」 (食物 1 年。22名 水曜日 1 講時) 「英語 A①」 (食物 1 年。24名 木曜日 1 講時) 「英語 B①」 (児童 2 年。22名 木曜日 2 講時) 「英語 B①」 (児童 2 年。27名 木曜日 3 講時) 「英語 B①」 (メディア 2 年。22名金曜日 2 講時) 「英会話 (OC) I」 (言語 1 年メディア 4 年。5 名金曜日 4 講時) 後期 「英会話 (OC) II」 (言語 1 年。5 名。火曜日 1 講時) 「英語 B②」 (食物 1 年。21名。水曜日 1 講時) 「英語 A②」 (食物 1 年。24名。水曜日 3 講時) 「英語 A②」 (建築 2 年。11名。水曜日 4 講時) 「英語 B②」 (人メディア 2 年。24名。木曜日 2 講時) 「英語 B②」 (児童 2 年。18名。金曜日 3 講時) 「英語 B②」 (児童 2 年。25名。金曜日 4 講時)			
学生指導	随時指導			

活 動	
学外活動	徳島文理大学附属幼稚園 (前期・月曜日 1 講時。週 1 回) (後期・月曜日 1 講時。週 1 回)
学内活動	オープンキャンパス模擬授業担当

氏 名	原 井 俊 典 （ はらい としのり ）			
所属・職の種類	短期大学部 音楽科 教授			
最終学歴	兵庫教育大学大学院 （ 教育学修士 ）			
着任の年月	平成 7 年 6 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島文理大学音楽学部非常勤講師			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
その他の研究活動	形態	発表の年月	発 表 会 場	概 要
[音楽制作・演奏] イルミネーション 点灯式のファン ファーレ及び楽曲 演奏	単	2024年12月 3 日	徳島文理大学 5 号館 前広場	ファンファーレ、及び歌謡曲の編 曲、パソコンプログラミングによる キーボードの演奏。
ミュージックプラ スコンサート 編曲、プログラミ ング、キーボード 演奏	単	2024年 5 月18日	徳島文理大学アカン サスホール	歌謡曲の編曲、およびパソコンプロ グラミングによるキーボードの演 奏。
「クリスマスPops コンサート」編曲 およびプログラミ ング	単	2023年12月18日	徳島文理大学 2 号館 1 階アクティブラウ ンジ	ポップス曲の編曲、およびパソコン のプログラミングによる演奏。
「クリスマスPops コンサート」編曲 およびプログラミ ング	単	2022年12月12日	徳島文理大学 2 号館 1 階アクティブラウ ンジ	ポップス曲の編曲、およびパソコン のプログラミングによる演奏。
コンサート「Power of Music 2022」 編曲およびプログ ラミング	単	2022年 2 月 9 日	徳島文理大学ボスト ンホール	ポップス曲の編曲、およびパソコン のプログラミングを行い、学生が演 奏。
ポップスとイルミ ネーションの楽し い夜を。「クリス マス・ミニコン サート」	合奏	2020年12月17日	徳島文理大学 2 号館 1 階アクティブラウ ンジ	クリスマスソング 2 曲の編曲、演 奏。

教 育

授 業

〔短大関係〕

①前期担当授業科目名

「音楽理論Ⅰ」（短大音楽科1年1名、合計1名。木曜日2講時。）

②後期担当授業科目名

「ポピュラー音楽理論」（短大音楽科1年2名、合計2名。金曜日3講時。）

「コンピュータ音楽Ⅱ」（短大音楽科1年1名、合計1名。2月集中講義。）

「実技A レッスン」（短大音楽科1年1名、合計1名。木曜日5講時。）

〔学部関係〕

①前期担当授業科目名等

「音楽通論」（音楽学部1年7名。木曜日2講時。）

「コンピュータ音楽概論A」（音楽学部1年1名、合計1名。7月集中講義。）

「実技A レッスン」

（音楽学部1年1名、2年1名、3年3名、4年3名。合計8名。月曜日3、4講時、水曜日2～5講時、木曜日3、5講時。）

「実技B レッスン」（音楽学部3年1名。火曜日5講時。）

「合奏」（音楽学部1年～4年。8名。木曜日4講時・金曜日4講時。）

「事前事後指導」※クォーター科目・1部集中講義

（音楽学部4年5名。火曜日3講時・金曜日3講時および集中講義）

②後期担当授業科目名等

「ポピュラー音楽理論」（音楽学部1年4名、3年1名、合計4名。金曜日3講時。）

「コンピュータ音楽概論B」

（音楽学部1年1名、3年1名、4年1名。合計3名。2月集中講義。）

「合奏」（音楽学部1年～4年。8名。木曜日4講時・金曜日4講時。）

「実技A レッスン」

（音楽学部1年1名、2年1名、3年4名、4年3名。合計9名。月曜日4講時、火曜日5講時、水曜日2～5講時、木曜日3、5講時。）

「実技B レッスン」（音楽学部3年1名。合計1名。火曜日5講時。）

〔専攻科・研究生関係〕

なし

〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (9.5) コマ} \\ \text{後期 (10) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (19.5) コマ

〔その他の指導状況〕

*特別レッスン

コンクールや演奏会に出場する学生に対し、本番前の2ヶ月間、週2～3コマの割合で授業以外の特別レッスンを実施。

*卒業研究指導

令和6年度卒業生について、以下4名の卒業研究指導を行った。

〔音楽学部音楽学科〕

- ・タイトル「ピアノ協奏曲 FP.146 第1楽章」F.プーランク作曲（編曲および電子オルガン演奏の指導）
- ・タイトル「春が来るたび思い出す」（作詞、作曲、音楽制作の指導）
- ・タイトル「∞」（作曲および電子オルガン演奏の指導）

〔短期大学部音楽科〕

なし

学生指導	*チューターとしての指導 ・「就職に関する指導」 就職活動の心構えや取り組み方についてコースのホームルームを実施。またエントリーシートや履歴書の書き方指導、面接指導等を個別に実施した。 ・「個人相談」 悩みを抱えている学生について、個別に面談実施した。 ・「教育実習についての指導」 心構えや実習時の注意点などを個別に指導した。 *教務委員としての指導 ・「単位不足の学生に対する履修指導」
活 動	
学外活動	なし
学内活動	*第16回徳島音楽コンクール／実行委員会事務局長 *第16回徳島音楽コンクール／電子楽器部門審査委員長 *学力充実対策講座（全学共通教育センター）における指導 *音楽学部ホームページ委員・短期大学部ホームページ委員 *全学研究倫理委員会 *全学教務委員会委員 *徳島文理大学附設音楽教室講師（電子オルガン） 小学3年生2名指導。

氏 名	熊 谷 公 博 （ くまたに きみひろ ）			
所属・職の種類	短期大学部音楽科 教 授 （ 音楽学部声楽主任 ）			
最終学歴	イタリア国立ブレーシャ音楽大学オペラ科 （ 学 位 ）			
着任の年月	平成 4 年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島文理大学音楽学部非常勤講師			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
		令和 2 年 1 月	杜のホスピタル	熊谷公博バリトンコンサート出演。
			倉敷市公民館	Ami des Beaux-artsにおいて、 バリトン独唱で出演。
		同年10月	志度音楽ホール	熊谷公博バリトン演奏会
		同年11月	文理小学校	徳島文理小学校徳島文理大学音楽学 部連携教授陣招聘特別コンサートに 出演。 G・マリ奥特ィ学部長と共演。
		令和 3 年12月	志度、テアトロン野 外ホール	さぬき市役所Uターン政策課と、 ニューマーク社（さぬき市）による、 さぬき市UターンPRMv「帰ってお いでよさぬき市へ！」を演奏。 YouTubeに登録。
		令和 4 年12月	香川・聖母幼稚園	クリスマスコンサート出演
		令和 5 年 2 月	むらさきホール	声楽コースによるオペラ「フィガロ の結婚」抜粋の指導、出演
		同年 3 月	ボストンホール	生涯学習講座ミニコンサート指導、 出演
		同年 3 月	愛媛県	楠野麻衣ソプラノコンサートにおい て、ピアノ伴奏で出演。
		令和 6 年 2 月	むらさきホール	徳島文理大学定期演奏会において、 女声合唱によるトスティの歌曲の指 導、指揮
同年 3 月	むらさきホール	生涯学習講座（コーラス・キーボー ド）修了演奏会指導、出演		

		同年 5 月、 8 月	ミュージックプラス コンサート	バリトン独唱及び音楽（オペラ 2 重 唱）指導
		同年11月、12月	むらさきホール	第67回徳島文理大学定期演奏会に て、女声合唱でイタリア古典歌曲の 指導、指揮
		令和 7 年 3 月	むらさきホール	生涯学習講座修了コンサート（コー ラス・キーボード）修了演奏会指 導、出演
科研費採択状況 （過去 2 年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去 2 年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去 2 年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「合唱」（全学年を対象。金曜日 2 講時） 「イタリア語」（学 1 を対象。月曜日 5 講時） 個人レッスンで、声楽専攻実技 及び 声楽副専攻実技 香川校にて、「音楽 A」（木曜日 2 講時） ②後期担当授業科目名等 「合唱」（全学年を対象。金曜日 2 講時。） 「イタリア語」（学 1 を対象。月曜日 3 講時） 香川校にて、「音楽 B」（木曜日 2 講時） 個人レッスンで、声楽専攻実技 及び 声楽副専攻実技 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 個人レッスンで、声楽専攻実技 及び 声楽副専攻実技 ②後期担当授業科目名 個人レッスンで、声楽専攻実技 及び 声楽副専攻実技 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 9.4 ）コマ} \\ \text{後期（ 9.4 ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 18.8 ）コマ 〔その他の指導状況〕 ①全学部全学年を対象に、全学共通教育として音楽教室とイタリア語を担当。 （水曜日 5 講時）			

授 業	②一般社会人を対象に、合唱講座を担当（水曜日 2・3・4 講時） ③香川キャンパスにて一般社会人を対象に、合唱講座（ハッピーコーラス）を担当。（2・4 週 木曜日 3 講時）
論文等指導	短大2年・学部4年・専攻科の声楽卒業試験（卒業演奏）にむけての指導。
学生指導	4年生、チューターとしての面接。 単位不足や個人相談への特別指導、就職に対する助言・指導や個別面接の訓練。
活 動	
学外活動	香川音楽コンクール審査員 香川ジュニア音楽コンクール審査員 高松ピアノコンクール音楽委員 KAWAIコンクール声楽部門審査員
学内活動	広報委員として、沖縄・福岡・香川・徳島の学校訪問を担当。沖縄・香川・徳島の保護者会に参加。 音楽学部カリキュラム委員 徳島音楽コンクール審査員（声楽部門）

氏 名	石 井 恭 二 (い し い き ょ う じ)			
所属・職の種類	短期大学部音楽科 准教授			
最終学歴	武蔵野音楽大学器楽学科管楽器（ホルン）専攻 (芸術学士)			
着任の年月	平成24年 4 月 1 日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立城東高等学校教諭			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				な し
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「音楽科教育法Ⅰ」 (音楽 2 年。7 名。火曜日 2 講時) 「音楽科教育法Ⅲ」 (音楽 3・4 年。7 名。木曜日 2 講時) 「指揮法」 (音楽 2・3・4 年。10 名。集中講義) 「合奏A・C・E・G」 (音楽 1～4 年。18 名。木曜日 4 講時) 「合奏A・C・E・G」 (音楽 1～4 年。18 名。金曜日 4・5 講時) 「ソルフェージュ 1」 (音楽 1～3 年。17 名。月曜日 2 講時) 「音楽A」 (人間生活・食物・建築・口腔 1・3 年。61 名。 木曜日 3 講時) ②後期担当授業科目名等 「音楽科教育法Ⅱ」 (音楽 2 年。7 名。水曜日 4 講時) 「音楽科教育法Ⅳ」 (音楽 3・4 年。6 名。集中講義) 「合奏B・D・F・H」 (音楽 1～4 年。17 名。木曜日 4・5 講時) 「合奏B・D・F・H」 (音楽 1～4 年。17 名。金曜日 4 講時) 「ソルフェージュ 2」 (音楽 1～3 年。17 名。月曜日 2 講時) 「音楽A」 (看護・薬学・総政 1～4 年。14 名。水曜日 1 講時) 「音楽A」 (メデ・心理・保福・理学 1～4 年。47 名。金曜日 2 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「ソルフェージュ 1」 (短音 1 年。2 名。月曜日 2 講時)			

授 業	「音楽科教育法」 (短音1年。1名。火曜日3講時) 「音楽」 (短音他1年。3名。火曜日3講時) ②後期担当授業科目名 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (7) コマ} \\ \text{後期 (7) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (14) コマ
論文等指導	な し
学生指導	・チューターとしての面接 オフィスアワーや空き時間を使って、音楽学部・短大音楽科の管弦打楽器専攻生の面接を実施。(学習・実技練習・進路等について) ・教育実習生評価授業見学及び指導 (市場中学校) ・ウィンドオーケストラ定期演奏会出演学生指導：10月27日(日) ・管楽器クリスマスコンサート出演学生指導：12月20日(金) ・定期演奏会出演学生指導：11月30日(土) 12月1日(日)
活 動	
学外活動	〔その他の活動〕 ・第16回徳島音楽コンクール金管楽器部門・打楽器部門審査員 徳島文理大学：10月12日(土) ・第16回徳島音楽フェスティバル金賞受賞コンサート審査員 徳島文理大学：11月9日(土)
学内活動	・文理大学ウィンドオーケストラでの演奏 定期演奏会：10月27日(日) 文理幼稚園・小学校コンサート：2月28日(金) ・文理大学定期演奏会での演奏 徳島キャンパス：11月30日(土) 香川キャンパス：12月1日(日) ・文理大学OBオーケストラでの演奏：3月10日(日) ・音楽教室ホルン社会人レッスン：月に2回実施

氏 名	井 村 幸 子 (いむら さちこ)
所属・職の種類	短期大学部 音楽科 准教授
最終学歴	アメリカ シェナンドー大学音楽院 音楽療法修士課程 (Master of Music Therapy) 修了
着任の年月	2004 (平成16) 年 4 月 1 日
直前の職歴 (学校・企業等)	なし
教 育	
授 業	学部：前期担当授業科目名 「音楽療法論臨床Ⅱ」集中講義音楽学部 8 名 「音楽療法論臨床Ⅲ」火曜日 2 講時音楽学部 3 年生 3 名 「音楽療法実習Ⅱ A」月曜日 4、5 講時音楽学部 3 年生 3 名 「音楽療法実習Ⅲ」月曜日 4、5 講時音楽学部 4 年生 1 名 「音楽療法実習指導」月曜日 2 講時、音楽学部 3 年生 3 名、4 年生 1 名 「音楽療法総合演習Ⅱ A」水曜日 2 講時音楽学部 4 年生 1 名 「文理学」木曜日 4 講時音楽学部 1 年生 4 名 後期担当授業科目名 「音楽療法論臨床Ⅳ」火曜日 2 講時音楽学部 3 年生 3 名 「音楽療法実習Ⅱ B」月曜日 4、5 講時音楽学部 3 年生 3 名 「音楽療法実習Ⅲ」月曜日 1、2 講時音楽学部 4 年生 1 名 「音楽療法実習指導」月曜日 2 講時音楽学部 3 年生 3 名、4 年生 1 名 「音楽療法総合演習Ⅱ B」水曜日 2 講時音楽学部 4 年生 1 名 「文理学」水曜日 4 講時音楽学部 1 年生 4 名 短期大学部：前期担当授業科目名 「音楽療法概論Ⅰ」火曜日 5 講時音楽科 1 年生 1 名 「音楽療法論臨床Ⅱ」集中講義音楽科 1 年生 1 名 「(療法) 実技 AⅠギター」木曜日 5 講時音楽科 1 年生 1 名 「文理学」木曜日 4 講時音楽科 1 年生 1 名 後期担当授業科目名 「(療法) 実技 AⅡギター」火曜日 5 講時音楽科 1 年生 1 名 「文理学」水曜日 4 講時音楽科 1 年生 1 名 専攻科：前期担当授業科目名 「音楽療法インターンシップ」水曜日 3、4 講時、金曜日 2 講時 1 名 後期担当授業科目名 「音楽療法インターンシップ」水曜日 3、4 講時 1 名 「修了プレゼンテーション」金曜日 2 講時 1 名 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (11.25) コマ} \\ \text{後期 (8.25) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (19.5) コマ
論文等指導	修了プレゼンテーション 1 名、卒業プレゼンテーション 1 名

学生指導	・学部および短大、専攻科音楽療法コース7名をチューターとして支援。 ・音楽学部1年生の担任。 ・地域学：地域貢献取り組み発表会の指導。 ・音楽療法コース学生コミュニティ TBUMTC Call & Responseを支援。 ・入学前教育1名。 ・外国人編入生のサポート。
活 動	
学外活動	講演会（演奏会） ・令和6年度とくしま共生アートプロジェクト推進事業「障がい者アート活動支援のためのワークショップ：集まれ！みんなで音楽を楽しもう!!」徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターと共催（6月14日） ・第71回四国老人福祉施設関係者研究大会情報交換会オープニング演奏指導と歌唱（8月22日） ・上板町STOPフレイル with 徳島文理大学「STOPフレイル！STARTミュージック！in 上板」（8月9日、9月16日） ・コートダジュール虹の橋音楽演奏会（3月4日） 同窓会 ・アカンサス会同窓会本部幹事、創立130周年ホームカミング実行委員 ・アカンサス会徳島県支部副支部長
学内活動	入試・広報 ・オープンキャンパスにおいて、入試説明会、音楽学部・短大音楽科音楽療法入門講座（全ての回）を実施。短大ウェルカムデイ担当（2月15日）。 ・ライブ配信模擬授業担当（5月20日） ・進学説明会松山ブロック（5月16日） ・大学案内撮影、執筆 ・入試広報部沖縄パンフレット撮影 ・SNS（Instagramとfacebookによる広報）担当 短期大学部認証評価音楽科担当 卒業（修了）研究発表 ・音楽専攻科器楽専攻音楽療法コース修了プレゼンテーション（1月23日） ・音楽学部および短期大学部音楽科音楽療法コース卒業プレゼンテーション（2月7日） 音楽療法士就職フォーラム 河野優子氏（徳島県社会福祉事業団 児童デイフラット未来 児童発達支援管理責任者）を招き、音楽学学部・音楽科学生を対象としたフォーラムを開催（1月10日） ローバッカー博士による集中講義 ・在学生対象、卒業生も参加可「音楽療法論臨床Ⅱ」集中講義を実施（6月13-18日） ・ローバッカー博士による音楽療法リカレント教育（6月15日） 全国音楽療法士養成協議会 令和6年度全国音楽療法士養成協議会総会（7月1日） 音楽療法士資格申請 全国音楽療法士養成協議会への資格申請点検。学生が資格申請をおこなうための書類の「個人実習表」作成を指導し、施設を訪問、押印を要請（2月）

学内活動	各種委員会委員など ・音楽学部広報委員（学生募集対策室）、人権教育推進委員、インターンシップ推進委員、徳島音楽コンクール実行委員会事務局、各種演奏会受付 保護者会沖縄会場音楽学部担当者（9月7日）
------	--

氏 名	則 包 光 徳（ のりかね みつのり ）			
所属・職の種類	短期大学部 商科 教 授（学科長）			
最終学歴	中央大学法学部法律学科（ 法学士 ）			
着任の年月	平成24年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	株式会社百十四銀行より 財団法人香川経済研究所へ出向			
研 究（業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 （過去 2 年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去 2 年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去 2 年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔大学院関係〕 〔専攻科関係〕 〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「金融資産運用」（人間生活学部 4 年 月曜日 1 講時） 「総合政策特別演習Ⅱ」（総合政策 3 年14名 金曜日 4 講時） 「情報処理」（音楽学部 1 年 1 名 金曜日 2 講時） ②後期担当授業科目名等 「情報処理」（音楽学部 1 年 1 名 火曜日 3 講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「金融資産運用」（商科 1 年11名、商科 2 年 3 名 月曜日 1 講時） 「マーケティング」（商科 2 年生10名 火曜日 2 講時） 「商品学」（商科 2 年生18名 木曜日 3 講時） 「情報リテラシー」（生活科学科食物専攻 1 年生 5 名 金曜日 2 講時） （商科 1 年生15名、2 年生 3 名） （言語コミュニケーション学科 1 年生 4 名）			

授 業	②後期担当授業科目名 「総合ゼミナール」（商科1年15名 水曜日5講時） 「経営学Ⅱ」（商科2年10名 月曜日1講時） 「経営学Ⅰ」（商科1年20名、2年1名、月曜日4講時） 「情報機器演習」（言語コミュニケーション学科1年3名） （商科2年12名 火曜日2講時） 「情報リテラシー」（音楽科1年2名 火曜日3講時） 「中小企業経営論」（商科1年3名 水曜日2講時） 「情報リテラシー」（生活科学科生活科学専攻1年5名 金曜日2講時） 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 5 ）コマ} \\ \text{後期（ 6 ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 11 ）コマ 〔大学院等の論文等の指導〕 なし
学生指導	オフィスアワーの曜日・時間をできるだけ制約せず、学生に対応した。 商科1年生と2年生のチューターとして、学習指導、就活指導など個人面談を日常的に実施した。 また、前期に総合政策学部3年生の就職活動に関連する講義（総合政策特別演習Ⅱ）を担当しているため、総合政策学部の学生から就職活動の指導を要請されることがあり、前期・後期を通じて授業外で履歴書やエントリーシートの書き方、面接対応などの指導を実施した。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 日本ビジネス実務学会会員 〔公的機関の活動〕 徳島市入札監視委員会委員 〔その他の活動〕 徳島 進学説明会（5/8） 在学生および直近卒業生の近況と写真を添えた学科チラシに織り込み、県内高校の教員に配布。 徳島ブロック進学説明会（6/25） 商科のチラシを作成。在学生の状況や卒業生の進路先などを写真入りで紹介した資料を配布。 美馬ブロック進学説明会（6/20） 穴吹高校に卒業生、つるぎ高校に在学生や卒業生がいるため、在学生の近況、卒業生の進路などを紹介しながら、商科をアピールできた。 徳島中央高校 進路説明会（2/7） 事務、営業、販売などの仕事について、1年～3年生 計15人に40分の授業を2回実施。事務と経理の仕事について説明。 最終学歴を高校から大学に変更すると、生涯賃金が相当症状することや、学費など経済的な負担を軽減できる奨学金の効用を説明。 短大冊子や商科のチラシを配布。
学内活動	①広報活動 学科紹介のパンフレットを作成し、県内の高校などに配布 オープンキャンパスにおける商科の活動を企画、運営

学内活動	②学内の委員会 全学研究委員会委員 SD推進委員会委員 短期大学部入試委員長 自己点検・評価委員会委員 中途退学防止委員会委員
------	--

氏 名	森 本 卓 治 （ もりもと たくじ ）			
所属・職の種類	短期大学部商科 教 授			
最終学歴	岡山大学法学部 （ 法学士 ）			
着任の年月	令和 4 年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	株式会社百十四銀行より百十四ビジネスサービス株式会社へ出向			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 （過去 2 年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去 2 年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去 2 年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「金融資産運用」 （総合科目 D 「FP技能士養成講座」） （商科 1 年 12 名、商科 2 年 3 名、人間生活学部 4 年 1 名、 月曜日 1 講時） 「くらしと法（日本国憲法を含む）」 （生活科学科食物専攻 1 年 1 名、保育科 2 年 18 名、商科 2 年 2 名、月曜日 4 講時） 「ビジネス実務総論」（商科 2 年 14 名、火曜日 3 講時） 「社会人基礎力総論」（商科 1 年 10 名、水曜日 4 講時） 「現代社会と法」（商科 2 年 14 名、木曜日 1 講時） 「文理学」（商科 1 年 14 名、木曜日 4 講時） ②後期担当授業科目名 「経済学Ⅰ」（商科 1 年 15 名、月曜日 2 講時） 「くらしと法（日本国憲法を含む）」「生活関連法」 （生活科学科生活科学専攻 1 年 2 名、言語コミュニケーション学科 1 年 4 名、商科 1 年 15 名、音楽学科 1 年 1 名 人間生活学部 4 年 4 名、木曜日 3 講時） 「経済学Ⅱ」（商科 2 年 13 名、木曜日 3 講時） 「総合ゼミナール」（商科 1 年 15 名、木曜日 5 講時） 「金融論」（商科 1 年 5 名、金曜日 1 講時）			

授 業	「財政学」 (商科2年 2名、金曜日4講時) [全コマ数] $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (6) コマ} \\ \text{後期 (6) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (12) コマ
学生指導	[学生指導の方針] ・日頃から学生との距離を近く保ち、学生とコミュニケーションを積極的に行うことを目指している。それによって学生の性格や嗜好、価値観等を知り、それを踏まえた上で、学生個々にあった指導を行うことを心掛けている。 ・オフィスアワーについては、できるだけ時間を限定せず、常に入りやすい研究室であることを心掛ける。 [個人面談の実施] ・2024年入学の商科1年生担任として、学習指導・就職活動指導・生活指導等を実施。 ・担任の学生については前後期複数回の個人面談を実施するとともに、個別に面談の希望申出のあった学生、及び都度指導が必要であると感じた学生に対しては随時面談を実施。 ・担任以外の学生についても、面談の希望がある学生については随時面談を実施。内容は担当科目についての指導、日常生活の悩みの相談、就職活動についてのアドバイスなど様々な内容。 [保護者との連携] ・出席率低下・成績不振など、特に必要と考えられる学生については、保護者に対しても連絡を取り、連携して指導を行う。 ・保護者との連携は、問題が発生した初期の段階で行うよう心掛ける。 ・保護者会で面談した保護者に対しては、普段の学生生活について忌憚のない話を行い、また保護者の質問等にもきめ細かく対応することにより、指導方針などの理解を得るよう心掛ける。 [就職指導] ・自己分析、業界分析、履歴書の書き方や面接練習等を実施。 ・学生が面接を受ける際に、出来るだけ自分の言葉で話せるように心掛けて指導を行う。 ・出来る限り、企業面談時に学生個々が長所を発揮しやすいように指導する方針。
活 動	
学外活動	[学会活動関係] 日本ビジネス実務学会会員
学内活動	[学内の委員会、研究部会の委員] ①短期大学部総合選抜入試運営委員会 ②短大インターンシップ委員会 ③R7年実施新入生セミナー運営委員会 [その他] ・オープンキャンパス 商科において学科紹介・体験授業等を実施 ・短大紹介冊子 冊子での商科のページを作成

学内活動	・ チラシ作成 短大商科紹介用チラシを作成 ・ PC検定開催 学内で実施したPC検定（４回分）について開催手続を実施 ・ 資格取得奨励制度 短期大学部の資格取得奨励制度の内容を見直し
-------------	---

氏名	山村晃（やまむら あきら）			
所属・職の種類	短期大学部 商科 教授 入試広報部長			
最終学歴	徳島大学教育学部中学校教員養成課程理科（教育学士）			
着任の年月	平成30年４月１日			
直前の職歴 （学校・企業等）	徳島県立新野高等学校 校長			
研 究 （業績：過去５年間）				
著書・学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕		なし	なし	なし
科研費採択状況 （過去２年間）	該当なし			
研究助成金の交付等 （過去２年間）	該当なし			
特許申請状況 （過去２年間）	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「化学Ａ」（食物栄養１年、21名。月曜日３講時） 「化学Ａ」（人間生活、メディアデザイン、人間福祉、理学療法１年計14名。金曜日２講時） ②後期担当授業科目名等 「化学Ａ」（児童２年、４名。木曜日３講時） 「化学Ａ」（看護１年、口腔保健１年、総合政策１年、音楽２年計14名。金曜日３講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「情報サービス演習」（受講生２名 金曜日４講時） ②後期担当授業科目名 「情報サービス演習」（受講生２名 月曜日４講時）			

授 業	〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (3) コマ} \\ \text{後期 (3) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (6) コマ 〔その他の指導状況〕 学力充実対策講座「化学」(4年生1名、2年生1名 前・後期とも月曜日5講時) 公務員試験対策講座「化学」
学生指導	・年間7回のオープンキャンパスで、オープンキャンパス学生スタッフに対する事前指導 ・教員採用試験の直前面接指導(6月)
活 動	
学外活動	①広報担当者とし高校巡回広報活動 ・小松島高等学校、富岡西高等学校の2校を担当している。 年間6回程度不定期に訪問して本学の広報を行う。 ②徳島県立富岡西高等学校 学校運営協議会委員 学校運営協議会委員として 年間3回富岡西高校での協議会に出席し同校の課題について提言している。
学内活動	①入試広報部業務 【イベント】・オープンキャンパスやWebによるオープンキャンパスの企画・運営、学科説明会・施設見学会の企画運営 【インターネット関係広報】 大学ホームページの各種サイトの管理・運営、進学サイト等への登録、 【冊子等の作成】・大学案内等受験生向け発行物の作成、入試ガイドブックの作成、大学通信アカンサスの作成 【学生募集活動】・高等学校巡回広報活動、進学説明会、ブロック別進学説明会、進学個別相談会、留学生募集、受験生問い合わせ窓口対応、受験生等訪問者対応 【外部への情報発信】・受験情報誌等に学部学科紹介を掲載、動画やSNSによる情報配信、報道機関への資料提供、外部からの各種アンケートへの回答 ②大学運営 定例部局長会、(11回)、定例合同教授会(11回)、徳島キャンパス部局長懇談会(8回、学長の指示により各種検討会の作業部会を立ち上げて立案する。)香川キャンパス部局長等懇談会(11回、香川キャンパスの各事務部より行事の連絡調整) ③委員会活動 ・全学入試委員会委員・広報担当者会、自己点検・評価委員会委員、人権教育推進委員会委員、就職支援委員会委員、国際交流委員会委員、教員・保育士養成対策委員会委員、公務員試験対策講座実行委員会委員、沖縄支部保護者会事務局、本学ブランディング事業内部評価委員

氏 名	佐尾山 秀 樹 (さおやま ひでき)			
所属・職の種類	短期大学部商科 准教授、徳島キャンパス就職支援部 副部長			
最終学歴	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 高度学校教育実践専攻修了教職修士（教職修第6号）			
着任の年月	2024年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立みなと高等学園 校長			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕				
〔論文〕				
〔発表〕				
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「教育の方法及び技術」 （音楽1年、食栄4年、児童3年、心理2・3・4年。32名。火曜日3講時） ②後期担当授業科目名等 「情報と職業」（メディア2・3・4年。35名。火曜日2講時） 「情報科学」（建築3年。1名。金曜日4講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「図書館情報技術論」（商科2年、人間生活4年。2名。水曜日1講時） 第1クォーター「会計学」（商科2年。16名。月曜日2講時、金曜日2講時） ②後期担当授業科目名 「情報ネットワーク論」（商科2年。1名。月曜日3講時）			

授 業	〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (3) コマ} \\ \text{後期 (3) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (6) コマ 〔その他の指導状況〕 令和6年度前期・後期教員養成対策講座 面接を担当
学生指導	①個別進路相談…担当学科（食物栄養学科、建築デザイン学科、商科、食物専攻）の学生に対して就職に関する進路相談を実施した。 ②学科別就職説明会…年間に担当各学科3回にわたり、就職活動の流れや時期に応じた留意事項について説明した。 ③インターンシップ…公的機関（法務省・県庁・市役所など）のインターンシップの実施の取りまとめを行った。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ①日本商業教育学会会員 〔公的機関の活動〕 ①阿波西高校 学校運営協議会会長 ・令和6年7月22日 第1回学校運営協議会 ・令和6年10月5日 阿波西高校文化祭 ・令和6年11月2日 第2回学校運営協議会 ・令和7年2月20日 第3回学校運営協議会 〔その他の活動〕 ①2024年度四国地区大学人権教育研究協議会 監査委員 ・徳島県大学人権教育研究大会（8月28日） ・第75回徳島県人権教育研究大会（10月18日） ・第45回部落解放・人権徳島地方研究集会（1月28日）
学内活動	①広報活動・高校訪問 ・県内高校巡回 徳島商業高校、阿波西高校 年間各校7回訪問 ・県外高校巡回 広島県32校訪問（9月5日、6日） ・進学説明会（5月8日）、ブロック別進学説明会（6月20日、25日） ・大学保護者会（和歌山支部）就職支援部として参加（9月7日） ②合同教授会・短大教授会（毎月1回） ③就職セミナーの運営 年間を通して行う就職支援部主催のセミナーの運営 ④職業訓練サービスガイドライン研修受講（修了日 令和7年1月24日） ⑤令和6年度保護者向け就職セミナー 保護者を対象とした就職セミナーの計画と運営（令和7年3月22日）

氏 名	岡 本 武 由 (おかもと たけよし)			
所属・職の種類	短期大学部商科 准教授			
最終学歴	近畿大学 商経学部 経済学科 (経済学士)			
着任の年月	令和 6 年 4 月 1 日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県赤十字血液センター 事業部長 徳島赤十字ひのみね総合療育センター シニアスタッフ			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
[著書]				該当なし
[論文]				該当なし
[発表]				該当なし
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	[短大関係] ①前期担当授業科目名 商科 1 年 「医療事務概論」 (12名、第 1 Q 水曜日 2 講時、木曜日 1 講時) 「医療事務各論Ⅰ」 (12名、第 2 Q 水曜日 2 講時、木曜日 1 講時) 商科 2 年 「医事コンピューター実務」 (15名、第 1 Q 水曜日 4 講時、木曜日 2 講時) 「医学一般」 (14名、第 2 Q 水曜日 4 講時、木曜日 2 講時) ②後期担当授業科目名 商科 1 年 「医療事務各論Ⅱ」 (12名、第 3 Q 水曜日 3 講時、木曜日 1 講時) 「医療秘書概論」 (12名、第 4 Q 水曜日 3 講時、木曜日 1 講時) 商科 2 年 「電子カルテ実務」 (14名、第 3 Q 水曜日 2 講時、木曜日 2 講時) 「介護保険事務総論」 (8 名、第 4 Q 水曜日 2 講時、木曜日 2 講時) [全コマ数] { 前期 (4) コマ } { 後期 (4) コマ } 計 (8) コマ			

授 業	〔その他の指導状況〕 ①前期集中講義（８月～９月 計３コマ） 「医療事務総論」（36名、１コマ） 「医療事務各論」（36名、１コマ） 「医療秘書概論」（35名、１コマ）
学生指導	商科１年 ・各授業を医療事務コースの基礎講座として位置付けた。 ・特に第１Ｑ～第３Ｑに実施した「医療事務概論」「医療事務各論Ⅰ・Ⅱ」の各授業については、学生の絶え間ない学習意欲を引き出すよう一連の授業として積み重ね方式で進めた。 ・小テストや添削指導などにより学生の理解度を把握し個別指導につなげた。 ・「医療秘書概論」の授業においては、学外見学実習を徳島赤十字病院で実施し実務担当者による説明や病院内の事務部門の見学等により見識が深まるよう努めた。 商科２年 ・病院内で行われている医療事務業務の実際を理解するため１年次の基礎講座を基に医事コンピューター、電子カルテシステムの入力操作が習得できるよう指導した。 ・各種検定の受検を積極的に奨励し、受検者に対しては、検定対策の指導・助言を行った。 ・学外見学実習を「医学一般」および「介護保険事務総論」の各授業で実施し、徳島県赤十字血液センターと健祥会プレゼンテーションをそれぞれ訪問し、各種の体験等を通じて見識が深まるよう努めた。
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ・日本医療秘書学会会員
学内活動	・オープンキャンパス 模擬授業担当（７/14、８/18） ・「電子カルテ技能検定」監督（11/16） ・「医事コンピューター技能検定」監督（11/16）

氏 名	川 道 映 里 （ かわみち えり ）			
所属・職の種類	短期大学部 商科 講師			
最終学歴	和歌山大学 経済学部（学士（経済学））			
着任の年月	平成30年 4 月			
直前の職歴 （学校・企業等）	（株）阿波銀行退職後、全国でマナー講師・マナーコンサルタントとして活動			
研 究 （業績：過去 5 年間）				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 「感じがいいと思 われる敬語の話し 方」	単	令和 4 年 2 月	ナツメ社	どのようなシチュエーションでもス マートに、楽に、簡単に対応できる よう実際のビジネスシーンを中心と した、さまざまなフレーズを紹介。 同じことを伝える場面でも、相手と の関係性や状況に応じて表現を変 え、伝わる言葉を選ぶ工夫をしてい く。これが本書の目的である。
「10歳までに身に つけたい一生困ら ない子どものマ ナー」	共	令和 4 年 4 月	青春出版社 （中国にて出版）	小学生が自分で読める、わかりやす い言葉遣いで語りかけるように書い たマナー本。楽しくマナーを伝えら れるように、動物のイラストを用い て、家の中でのマナー、テーブルマ ナー、公共のマナーなどを紹介。 項目ごとに、保護者の方へのメッ セージを掲載し、子どもの思いやり の心を育むヒントとなるよう伝える。 ＜共著者：西出ひろ子＞
〔論文〕 短期大学部商科に おける簿記指導の あり方について —検定指導から会 計学の学びへの考 察—	共	令和 4 年 9 月	徳島文理大学研究紀 要第104号	日商簿記検定取得に向けた講義を行 う中で、簿記の基礎をいかに教える か、会計理論学習は必要なのか、 会計リテラシーはどのように習得す るのか等の課題がある。今後の学習 方針を検討するため、企業と卒業生 へアンケートを実施し考察した。そ の結果、簿記検定の資格取得だけ ではなく、理論の学習も必要であると 分析された。今後は、コンピュータ 会計を導入しそれぞれの財務諸表に よる理論を学習することにより、企 業の財務分析や経営戦略の考察など を取り入れていく。 ＜共同研究者＞田尾公生（徳島文理 大学）、長濱太造（徳島文理大学）
企業課題を学生の	単	令和 6 年 9 月	徳島文理大学研究紀	2023年度徳島県事業「ミラトク」の

視点で解決する地域貢献への取り組み—徳島県事業「ミラトク」参加による成果と課題— 〔発表〕		要第108号	実践報告を行い、企業の課題解決に向けたフューチャーセッションの内容、動画制作、アンケート結果、成果と課題を整理した。「ミラトク」は企業と学生の双方にとって有益な事業であるが、短大2年間でいかに学生が行動変容できるのかが課題であり、地域経済の活性化に繋がるのかが求められている。
科研費採択状況 （過去2年間）	該当なし		
研究助成金の交付等 （過去2年間）	該当なし		
特許申請状況 （過去2年間）	該当なし		
その他の研究活動	〔監修〕 東芝テック株式会社広報誌「てつくぶらざ」季刊発行 連載：「敬語の使い方」約8,000部 令和6年 ① https://www.toshibatec.co.jp/tecplaza/pdf/index_voll25.pdf 令和6年7月 ② https://www.toshibatec.co.jp/tecplaza/pdf/index-voll26.pdf 令和6年10月 ③ https://www.toshibatec.co.jp/tecplaza/pdf/index-voll27.pdf 令和7年1月 〔解説記事〕 毎日新聞掲載「金額の相場に渡し方—年明け前に知っておきたいお年玉のマナー」 https://mainichi.jp/articles/20241228/k00/00m/040/263000c 令和6年12月 〔その他〕		
教 育			
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名 「金融資産運用」（総合政策1名、月曜日1講時） 「簿記論Ⅱ」（総合政策1名、月曜日2講時、火曜日3講時） 「社会生活とマナー」（人間生活1名、月曜日4講時） ②後期担当授業科目名等 「コミュニケーション論」（保健福祉1年77名、水曜日2講時） 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「金融資産運用」（商科1年12名・2年3名、月曜日1講時） 「簿記論Ⅰ」（商科1年16名、月曜日2講時、火曜日3講時） 「簿記論Ⅱ」（商科1年16名、月曜日2講時、火曜日3講時） 「社会生活とマナー」 （生活科学専攻1年6名、食物専攻1年4名、言語コミュニケーション学科1年5名、月曜日4講時） 「ビジネス実務演習」（商科2年17名、金曜日1講時） 「キャリアプランニングⅠ」		

授 業	(商科1年16名、言語コミュニケーション学科1年6名、生活科学科生活科学専攻2年3名、金曜日3講時) ②後期担当授業科目名 「簿記演習Ⅰ」(商科1年15名、月曜日3講時、火曜日3講時) 「簿記演習Ⅱ」(商科1年15名、月曜日3講時、火曜日3講時) 「総合ゼミナール」(商科1年15名、水曜日5講時) 「ホスピタリティ入門」 (生活科学科生活科学専攻2年1名・1年2名、商科2年10名、言語コミュニケーション学科1年4名、木曜日4講時) 「ビジネスマナー初級」(商科1年12名、金曜日3、4講時) 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (6) コマ} \\ \text{後期 (6) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (12) コマ 〔その他の指導状況〕
学生指導	・商科2年生担任として、多数の個人面談の実施し就職活動の指導を行った。履歴書やエントリーシートの添削、面接練習など多岐にわたる。 ・出席率低下の学生については、初期の段階で保護者と連携しサポートを行った。 ・日商簿記検定や秘書技能検定では、理解度に合わせた個別の補講や、検定前対策講座を行いサポートした。 日商簿記検定試験前の補講：15時間 ・オープンキャンパスにおいて司会や短大の紹介などを1年生が担当し、パワーポイントの原稿作成や事前練習を徹底した。 ・短大フェスタでは、水引ストラップ作りの準備や役割分担決定、当日のサポートなど多岐にわたる。 ・「地域学」において、徳島県事業「ミラトク」の取組みについて発表し、学生指導を行った。 〔学外実習〕 ・「海外大学等とのオンライン交流事業」における学生指導、複数の打ち合わせを実施 「食におけるエシカル消費の在り方」をテーマに、「食におけるエシカル消費」及び「食からできるエシカル消費」を内容に含んだ「ハンドブック改訂版」を制作。 TFT主催「おにぎりアクション」に参加。 (商科1年3名参加) ・ホテルの見学、テーブルマナー講習会引率(ホテルアナガ) ・病院の見学、先輩職員との座談会(田岡病院) ・とくしま農山漁村応援し隊事業「八朔の収穫作業」に参加 〔大学院等の論文等の指導〕
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ・日本ビジネス実務学会会員 ・日本商業教育学会会員 〔公的機関の活動〕 ・農林漁家民宿向け動画作成及びスキルアップ研修会実施委員長

学外活動	・とくしま農山漁村応援し隊事業協働活動調整・活性化業務委託業者選定委員 ・徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議委員 ・徳島市男女共同参画プラン推進評価委員 〔各種講演〕 ・6月14日 「再就職のためのビジネスマナー」 自衛隊徳島地方協力本部 ・6月6日 「相手を思いやるマナー・接遇の重要性-第1回-」 徳島健診センター ・6月13日 「相手を思いやるマナー・接遇の重要性-第2回-」 徳島健診センター ・10月1日 「内定者のためのビジネスマナー」 徳島新聞社グループ ・12月20日 「情報の伝達に影響を与える表情・態度・言葉遣い “その根底にある信頼関係の重要性”」 麻布大学教職員研修会 ・2月26日 「再就職のためのビジネスマナー」 自衛隊徳島地方協力本部 ・3月24日 「新入職員のためのビジネスマナー」 健祥会グループ 〔出張講座〕 ・9月6日 「面接対策マナー講座」 池田高等学校辻校3年生35名 (進学説明) ・5月15日 香川県進学説明会 ・5月28日 阿南光高校訪問 ・6月27日 阿南・那賀ブロック進学説明会 ・7月11日 名西高校進路ガイダンス ・2月20日 池田高校進路ガイダンス、模擬授業 (その他) ・11月21日 自衛隊徳島地方協力本部より「感謝状」贈呈 ・せとうち観光専門職短期大学 非常勤講師「ビジネスコミュニケーション」 15回集中講義 ・卒業生の転職に伴う、就職指導（履歴書の添削など）
学内活動	〔学内の委員会、研究部会の委員〕 広報担当者 就職支援委員会委員 〔短期大学部の委員〕 ・短大就職委員会委員長 ・入学前ガイダンス運営委員会責任者 ・短大ホームページ委員 ・短大オープンキャンパス運営委員 ・短大認証評価ワーキンググループ委員 〔その他〕 「ビジネスマナー初級」学内研究授業 令和6年11月 ・ブログとInstagramの更新担当 ・ホームページの更新 ・オープンキャンパスとライブ配信の企画・模擬授業を担当 ・高大接続の学びのセミナー模擬授業を担当 ・短大フェスタ企画、準備、学生指導 ・ウエルカムデイ司会、スライド制作、学生指導 ・入学前ガイダンス責任者、司会、スライド制作、学生指導 ・「総合型選抜入試・ミライのわたし」面接担当 ・秘書技能検定監督

氏 名	青 山 佳 裕 (あおやま よしひろ)											
所属・職の種類	短期大学部一般総合科目 准教授 企画部 副部長											
最終学歴	広島大学教育学部教科教育学科数学教育学専修卒業 (教育学士)											
着任の年月	令和 3 年 4 月 1 日											
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立城東高等学校 校長											
研 究 (業績：過去 5 年間)												
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要								
〔著書〕				該当なし								
〔論文〕				該当なし								
〔発表〕				該当なし								
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし											
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし											
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし											
その他の研究活動	該当なし											
教 育												
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「数学 A」(心理 1 年。14 名。月曜日 4 講時・水曜日 4 講時) ②後期担当授業科目名等 「数学 A」(人間生活 1 年。6 名。金曜日 2 講時) 「生徒指導 (進路指導を含む)」(心理 2 年。26 名。水曜日 2 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名等 「人権教育」 (言語コミュニケーション 2 年、音楽 2 年、他。18 名。金曜日 3 講時) ②後期担当授業科目名等 「生徒指導 (進路指導を含む)」 (食物専攻 2 年、言語コミュニケーション 2 年、他。39 名。月曜日 5 講時) 〔全コマ数〕 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">前期 (3) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">計 (6) コマ</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">後期 (3) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> <td></td> </tr> </table>				{	前期 (3) コマ	}	計 (6) コマ	{	後期 (3) コマ	}	
{	前期 (3) コマ	}	計 (6) コマ									
{	後期 (3) コマ	}										

学生指導	全学共通教育センター学習支援アドバイザー 教員採用審査直前講座面接指導 2 回（各回85分） 令和 6 年 6 月 3 日・10日
活 動	
学外活動	〔その他の活動〕 広報活動・高校訪問 ・高校訪問 城西高校、城西高校神山校、脇町高校 年間各校 6 回程度訪問 ・進学説明会・ブロック別進学説明会 令和 6 年 5 月 8 日、6 月 25 日・26 日 ・島根県広報活動 令和 6 年 9 月 11・12・13 日
学内活動	①企画部業務 ・研究科・大学・短期大学人事関係業務、学部学科収容定員の管理等 ・中期目標・中期計画の進捗管理（令和 2 ～ 6 年度担当部署別行動計画の進捗管理、令和 7 年度事業計画書・令和 6 年度事業報告書取りまとめ など） ・申請業務（新設学科届出、大学等における修学の支援に関する申請書作成、医療系学科の実習施設変更承認、各学科のカリキュラム変更手続き、学則変更の届出 など） ②委員会活動等 合同教授会（11回）、短期大学部教授会（11回） 人権教育推進委員会（1 回） 自己点検・評価実施委員会（大学）（1 回）、 自己点検・評価実施委員会（短期大学部）（1 回） ③入試関係業務 試験監督（東京地区） I 期 A・B 日程

氏 名	永 本 智 富 (な が も と ち ふ)			
所属・職の種類	短期大学部一般総合科目 助教			
最終学歴	徳島大学大学院 創成科学研究科 地域創成専攻 博士前期課程 修了 修士			
着任の年月	令和 4 年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学国際部国際交流課事務主任 (併任) 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「外国語総合科目 C ①中国語」 (食物栄養 1 年・2 年、保健福祉 1 年、人間生活 2 年・メディアデザイン 1 年・2 年・4 年、建築デザイン 1 年・4 年。計 104 名。火曜日 3 講時) (総合政策 1 年・2 年・3 年、人間生活 1 年、児童 1 年・2 年、心理 1 年。計 37 名。木曜日 1 講時) ②後期担当授業科目名等 「外国語総合科目 C ②中国語」 (食物栄養 1 年・3 年、心理 1 年・2 年、メディアデザイン 1 年、建築デザイン 1 年・3 年、総合政策 1 年・2 年・3 年、人間生活 1 年・2 年 計 90 名。火曜日 3 講時) (食物栄養 1 年、児童 1 年、保健福祉 1 年・3 年 計 37 名。木曜日 1 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名等 「外国語総合科目 C ①中国語」 (言語コミュニケーション 1 年。計 3 名。火曜日 3 講時)			

授 業	〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (2) コマ} \\ \text{後期 (2) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (4) コマ 〔その他の指導状況〕 中国語チャートタイムの指導 前期：2024年5月～6月 計10回 毎週木曜日12：00～13：00 後期：2024年10月～12月 計10回 毎週金曜日12：00～13：00
論文等指導	なし
学生指導	・外国人留学生の学習及び生活などの指導 ・短期留学参加希望者への相談及び指導 ・HSK 1 級中国語検定試験受験生指導
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 ・中国語教育学会会員 ・日本中国語学会会員 ・日本語教育学会会員 ・日本計画行政学会会員 〔公的機関の活動〕 ・民生委員・児童委員美波町担当 ・徳島県日本語教育事業運営委員会委員 〔その他の活動〕 ・台湾高大連携校新民高級中学への訪問、本学への進学説明会を実施 2024. 9 ・台湾高大連携校樹徳家事商業職業学校への訪問、本学への進学説明会の実施 2024. 9 ・台湾協定校中山医学大学への訪問、本学の学生との交流、本学への進学説明会を実施 2024. 9 ・台湾協定校中山医学大学（看護学科・理学療法学科）、病院見学、本学の学生との交流を実施 2024. 9 ・台湾協定校義守大学への訪問、本学への進学説明会を実施 2024. 9 ・台湾高大連携校南湖高級中学への訪問、本学への進学説明会を実施 2025. 3 ・台湾高大連携校新民高級中学への訪問、本学への進学説明会を実施 2025. 3 ・台湾高大連携校樹徳家事商業職業学校への訪問、本学の学生との交流、本学への進学説明会の実施 2025. 3 ・台湾協定校中山医学大学への訪問、本学への進学説明会を実施 2025. 3 ・台湾協定校義守大学への訪問、本学への進学説明会を実施 2025. 3 ・台湾協定校淡江大学への訪問 2025. 3
学内活動	〔国際交流課〕 ・台湾・中国協定校・高大提携校との調整業務 ・外国人留学生の募集・入学後学習支援及び生活支援 ・協定校から本学へ派遣する交換留学生の受入れ業務 ・海外学生の受入業務 夏期日本語・日本文化研修（大学生コース・高校生コース） プログラムの企画・実施・全体の運営 ・学生海外留学への派遣業務 ・オンライン台湾留学の企画・実施・全体の運営

学内活動	秋期台湾中山医学大学短期留学プログラムの企画・実施・全体の運営 台湾中山医学大学看護学科・理学療法学科交流プログラムの企画・実施・全体の運営 春期台湾義守大学短期留学プログラムの企画・実施・全体の運営 春期台湾淡江大学短期留学プログラムの企画・実施・全体の運営 ・外国人留学生対象新入学生オリエンテーションの企画・実施・全体の運営 ・外国人留学生対象日本語能力試験対策講座の企画・実施・全体の運営 ・外国人留学生対象史跡研修の企画・実施・全体の運営 ・本学で実施する中国語HSK検定試験 試験監督 2024. 11 〔大学運営〕 ・オープンキャンパス 国際交流課において留学プログラムの説明及び相談 ・短期大学部教授会 毎月1回 ・インターンシップ推進委員会 2024. 6. 7 ・試験監督（一般入試Ⅰ期A・一般入試Ⅱ期）2025. 2. 3、2025. 2. 22 ・国際交流委員会 2024. 9. 13、2025. 3. 19
-------------	---

氏 名	金 俔 希 (きむ ぎょんひ)			
所属・職の種類	短期大学部一般総合科目 助教			
最終学歴	仁済大学校 (INJE UNIVERSITY) 人文社会科学学部日語日文学科卒業 (文学学士)			
着任の年月	令和 4 年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学国際部国際交流課チーフアドバイザー (併任) 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 〔発表〕				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	〔大学院関係〕 該当なし 〔専攻科関係〕 該当なし 〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「外国語総合科目 A① (韓国語)」(食物 1 年。5 名。水曜日 5 講時) 「外国語総合科目 A① (韓国語)」(生活、薬、総政、心理各 1 年。18 名。木曜日 1 講時) ②後期担当授業科目名等 「外国語総合科目 A② (韓国語)」(食物、薬、各 1 年。10 名。木曜日 1 講時) 「外国語総合科目 A② (韓国語)」(生活、心理各 1 年。8 名。木曜日 4 講時) 〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「外国語総合科目 A① (韓国語)」 (短生活、短商科、短言語各 1 年。6 名。水曜日 5 講時)			

授 業	②後期担当授業科目名 「外国語総合科目A②（韓国語）」（短言語1年。3名。木曜日1講時） 「外国語総合科目A②（韓国語）」（短商科1年。1名。木曜日4講時） 〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期（ 2 ）コマ} \\ \text{後期（ 2 ）コマ} \end{array} \right\}$ 計（ 4 ）コマ 〔その他の指導状況〕 語学センター企画講座 「韓国語チャットタイム」における語学指導 （前期：令和6年5月8日～6月26日までの毎週水曜日12：20～12：50、 後期：令和6年10月16日～12月18日までの毎週水曜日12：20～12：50） 「ステップアップ講座：韓国語能力試験（TOPIK）受験対策講座」 後期：令和6年10月16日、23日、30日の計3回。TOPIK I（初級）対策 〔大学院等の論文等の指導〕 該当なし
学生指導	・長期、短期留学参加に関する個別相談 ・検定試験（TOPIK韓国語能力試験）対策指導 ・その他語学学習全般に関する個別相談 ・韓国夏期短期留学参加学生に対する事前オリエンテーション ・韓国春期短期留学参加学生に対する事前オリエンテーション ・協定校への交換留学派遣学生に対するオリエンテーション
活 動	
学外活動	〔学会活動関係〕 〔公的機関の活動〕 徳島地域留学生交流推進協議会会報「かずらばし」編集委員会委員 徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」講師登録 〔その他の活動〕
学内活動	①徳島文理大学ハラスメント防止委員 令和6年度徳島文理大学ハラスメント防止委員・相談員合同研修会に参加し、「大学におけるハラスメントについて」について理解を深めるとともに規程・ハラスメント防止対策ガイドライン・相談の流れについて情報交換を行った。（令和6年8月5日） ②国際交流委員会事務局 第一回委員会：令和6年9月13日（金） 第二回委員会：令和7年3月19日（水）に、事務局員として出席 ③国際部国際交流課業務 ・外国人留学生の受け入れ及び学習・生活支援 ・夏期韓国短期留学派遣プログラム企画運営及び引率 ・春期韓国短期留学派遣プログラム企画運営及び引率 ・長期交換留学生派遣プログラム企画運営及び帰国した学生の単位置換認定支援業務 ・夏期日本語・日本文化研修受入れ（韓国・台湾の協定校からの短期プログラム受入れ） （大学生コース：令和6年6月30日～7月9日、

学内活動	高校生コース：令和6年7月15日～7月23日) ・海外学術交流協定大学（韓国）との連絡業務 ・学術交流協定校からの来賓対応 ・海外の指定校、業務提携エージェント企業との留学生募集に関する連絡業務 ・外国人留学生募集・入試業務支援
------	--

参 考 資 料

- 全 学 授 業 ア ン ケ ー ト
- 在学生対象・学修状況アンケート
- 卒業予定者対象・大学生活満足度アンケート

授業アンケート集計結果						徳島文理大学	
実施年度	2024年度 前期		対象	短期大学部（全体）			
対象数	1,370	回答数	1,081	回答率(%)	78.9	有効回答数	1,067
1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)				461	0.43	3.24	
部分的に読んだ(3点)				451	0.42		
ほとんど読まなかった(2点)				100	0.09		
まったく読まなかった(1点)				55	0.05		
2. 受講する前（学期はじめ）、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)				513	0.48	3.40	
どちらかというに興味があった(3点)				476	0.45		
どちらかというに興味がなかった(2点)				65	0.06		
まったく興味がなかった(1点)				13	0.01		
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)				688	0.64	3.58	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)				323	0.30		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)				48	0.04		
わかりにくい内容であった(1点)				8	0.01		
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能				956	89.60		
自立性				341	31.96		
協同性				257	24.09		
考え抜く力				315	29.52		
交渉力				172	16.12		
発信力				186	17.43		
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
説明内容				826	77.41		
授業の進め方				602	56.42		
教科書・パワーポイントなどの資料				420	39.36		
課題や宿題の内容（量も含む）				293	27.46		
教室の設備				360	33.74		
7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
優(4点)				406	0.38	3.19	
良(3点)				476	0.45		
可(2点)				170	0.16		
不可(1点)				15	0.01		
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
満足(4点)				689	0.65	3.60	
どちらかという満足(3点)				346	0.32		
どちらかという不満足(2点)				17	0.02		
不満足(1点)				15	0.01		

授業アンケート集計結果						徳島文理大学	
実施年度	2024年度 後期		対象	短期大学部（全体）			
対象数	3,666	回答数	3,019	回答率(%)	82.4	有効回答数	2,959
1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)				1,352	0.46	3.21	
部分的に読んだ(3点)				1,090	0.37		
ほとんど読まなかった(2点)				317	0.11		
まったく読まなかった(1点)				200	0.07		
2. 受講する前（学期はじめ）、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)				1,408	0.48	3.40	
どちらかというに興味があった(3点)				1,343	0.45		
どちらかというに興味がなかった(2点)				177	0.06		
まったく興味がなかった(1点)				31	0.01		
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)				1,983	0.67	3.62	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)				846	0.29		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)				116	0.04		
わかりにくい内容であった(1点)				14	0.00		
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能				2,674	90.37		
自立性				961	32.48		
協同性				821	27.75		
考え抜く力				918	31.02		
交渉力				516	17.44		
発信力				536	18.11		
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
説明内容				2,279	77.02		
授業の進め方				1,684	56.91		
教科書・パワーポイントなどの資料				1,179	39.84		
課題や宿題の内容（量も含む）				826	27.91		
教室の設備				973	32.88		
7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
優(4点)				1,166	0.39	3.24	
良(3点)				1,356	0.46		
可(2点)				408	0.14		
不可(1点)				29	0.01		
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
満足(4点)				1,887	0.64	3.61	
どちらかという満足(3点)				998	0.34		
どちらかという不満足(2点)				57	0.02		
不満足(1点)				17	0.01		

授業アンケート集計結果						徳島文理大学	
実施年度	2024年度 前期		対象	大学全体			
対象数	33,522	回答数	23,231	回答率(%)	69.3	有効回答数	23,007
1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)				9,078	0.39	3.17	
部分的に読んだ(3点)				9,881	0.43		
ほとんど読まなかった(2点)				2,820	0.12		
まったく読まなかった(1点)				1,228	0.05		
2. 受講する前（学期はじめ）、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)				8,741	0.38	3.24	
どちらかというに興味があった(3点)				11,421	0.50		
どちらかというに興味がなかった(2点)				2,375	0.10		
まったく興味がなかった(1点)				470	0.02		
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)				12,724	0.55	3.47	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)				8,597	0.37		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)				1,403	0.06		
わかりにくい内容であった(1点)				283	0.01		
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能				20,260	88.06		
自立性				8,819	38.33		
協同性				6,687	29.07		
考え抜く力				9,327	40.54		
交渉力				4,449	19.34		
発信力				3,492	15.18		
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
説明内容				17,127	74.44		
授業の進め方				14,151	61.51		
教科書・パワーポイントなどの資料				11,097	48.23		
課題や宿題の内容（量も含む）				8,363	36.35		
教室の設備				7,935	34.49		
7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
優(4点)				9,675	0.42	3.23	
良(3点)				9,202	0.40		
可(2点)				3,986	0.17		
不可(1点)				144	0.01		
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
満足(4点)				13,470	0.59	3.54	
どちらかという満足(3点)				8,619	0.37		
どちらかという不満足(2点)				756	0.03		
不満足(1点)				162	0.01		

授業アンケート集計結果					徳島文理大学		
実施年度	2024年度 後期		対象	大学全体			
対象数	33,452	回答数	22,129	回答率(%)	66.2	有効回答数	21,935
1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)				8,962	0.41	3.18	
部分的に読んだ(3点)				9,253	0.42		
ほとんど読まなかった(2点)				2,518	0.11		
まったく読まなかった(1点)				1,202	0.05		
2. 受講する前（学期はじめ）、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)				8,520	0.39	3.27	
どちらかというに興味があった(3点)				11,126	0.51		
どちらかというに興味がなかった(2点)				1,932	0.09		
まったく興味がなかった(1点)				357	0.02		
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)				12,411	0.57	3.49	
どちらかというとわかりやすい内容であった(3点)				8,128	0.37		
どちらかというとわかりにくい内容であった(2点)				1,187	0.05		
わかりにくい内容であった(1点)				209	0.01		
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能				19,651	89.59		
自立性				8,323	37.94		
協同性				6,335	28.88		
考え抜く力				8,402	38.30		
交渉力				4,250	19.38		
発信力				3,410	15.55		
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
説明内容				16,576	75.57		
授業の進め方				13,374	60.97		
教科書・パワーポイントなどの資料				10,353	47.20		
課題や宿題の内容（量も含む）				7,746	35.31		
教室の設備				7,271	33.15		
7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
優(4点)				9,411	0.43	3.26	
良(3点)				8,839	0.40		
可(2点)				3,564	0.16		
不可(1点)				121	0.01		
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
満足(4点)				12,744	0.58	3.54	
どちらかというと満足(3点)				8,412	0.38		
どちらかというと不満足(2点)				681	0.03		
不満足(1点)				98	0.00		

在学生対象・学修状況アンケート集計結果					徳島文理大学
実施年度	2024年度後期	対象	短期大学部（全体）		
対象者数	109	回答数	103	回答率(%)	94.5
2) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください〔複数選択可〕					
設問		回答数	選択率		
専門的な勉強		77	0.75		
基礎的な勉強（語学やプレゼンスキルなど）		46	0.45		
最先端の研究		9	0.09		
資格や免許の取得		62	0.60		
社会貢献（ボランティアなど）		14	0.14		
自由な時間を楽しむ（旅行や読書、芸術活動など）		49	0.48		
学友との交流（サークル活動を含む）		28	0.27		
起業などのビジネス		1	0.01		
スポーツやトレーニング		6	0.06		
その他		0	0.00		
3) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください〔必須〕					
設問		回答数	比率	加重平均	
30分未満(0点)		43	0.42	0.83	
30分～1時間(1点)		40	0.39		
1時間～2時間(2点)		15	0.15		
2時間～3時間(3点)		4	0.04		
3時間以上(4点)		1	0.01		
4) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか〔必須〕					
設問		回答数	比率	加重平均	
増加した(1点)		28	0.27	0.09	
変わらない(0点)		56	0.54		
減少した(-1点)		19	0.18		
5) いま、あなたの卒業後の具体的な目標（夢）が言えますか〔必須〕					
設問		回答数	比率	加重平均	
言える(1点)		60	0.58	0.58	
言えない(0点)		43	0.42		
6) この一年間、学修に対するモチベーション（学修意欲）はありましたか〔必須〕					
設問		回答数	比率	加重平均	
あった(3点)		39	0.38	2.27	
どちらかといえばあった(2点)		57	0.55		
どちらかといえばあったいばなかった(1点)		3	0.03		
なかった(0点)		4	0.04		
7) 学内に気軽に相談できる友人や教職員がいますか〔必須〕					
設問		回答数	比率	加重平均	
いる(1点)		97	0.94	0.94	
いない(0点)		6	0.06		

8) この一年間、大学で授業を受けたくないと思ったことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
あった(1点)	54	0.52	0.52
なかった(0点)	49	0.48	

9) この一年間、将来のあなたに役立ちそうな何か新しい挑戦をしましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
新しい挑戦をした(1点)	76	0.74	0.74
新しい挑戦をしていない(0点)	27	0.26	

10) あなたはストレスに強いですか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	15	0.15	2.93
ややそう思う(4点)	23	0.22	
どちらでもない(3点)	19	0.18	
あまりそう思わない(2点)	32	0.31	
そう思わない(1点)	14	0.14	

11) あなたは自分をコントロールするよりも、信頼できる誰かにコントロールされる方がいい [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	14	0.14	2.88
ややそう思う(4点)	17	0.17	
どちらでもない(3点)	33	0.32	
あまりそう思わない(2点)	21	0.20	
そう思わない(1点)	18	0.17	

12) スマホやPCの一日あたりの平均的な利用時間（学修を含まない）を選択してください [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
30分未満(0点)	8	0.08	1.96
30分～1時間(1点)	5	0.05	
1時間～2時間(2点)	14	0.14	
2時間～3時間(3点)	24	0.23	
3時間以上(4点)	52	0.50	

《授業・教育課程について》			
13) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	28	0.27	3.41
ややそう思う(4点)	25	0.24	
どちらでもない(3点)	17	0.17	
あまりそう思わない(2点)	27	0.26	
そう思わない(1点)	6	0.06	

14) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	17	0.17	3.54
ややそう思う(4点)	45	0.44	
どちらでもない(3点)	22	0.21	
あまりそう思わない(2点)	15	0.15	
そう思わない(1点)	4	0.04	

15) この一年間に受講した授業は興味深い（有益と感じられた）ものでしたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	49	0.48	4.31
ややそう思う(4点)	42	0.41	
どちらでもない(3点)	9	0.09	
あまりそう思わない(2点)	1	0.01	
そう思わない(1点)	2	0.02	

16) あなたは授業でわからないことや宿題などをひとりで学修することができますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	31	0.30	3.83
ややそう思う(4点)	40	0.39	
どちらでもない(3点)	18	0.17	
あまりそう思わない(2点)	12	0.12	
そう思わない(1点)	2	0.02	

17) あなたは集団で学修するより、ひとりで学修する方が好きですか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	20	0.19	3.34
ややそう思う(4点)	23	0.22	
どちらでもない(3点)	41	0.40	
あまりそう思わない(2点)	10	0.10	
そう思わない(1点)	9	0.09	

18) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	83	0.81	0.81
したことがない(0点)	20	0.19	

19) この一年間、授業以外の学修活動（講演会、補習など）に自主的に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	44	0.43	0.43
参加していない(0点)	59	0.57	

《総合評価》			
20) この一年間に本学で体験したこと（学修や課外活動など）に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	52	0.50	4.30
ややそう思う(4点)	35	0.34	
どちらでもない(3点)	13	0.13	
あまりそう思わない(2点)	1	0.01	
そう思わない(1点)	2	0.02	

21) この一年間であなたは自分自身の成長を感じていますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	51	0.50	4.28
ややそう思う(4点)	35	0.34	
どちらでもない(3点)	14	0.14	
あまりそう思わない(2点)	1	0.01	
そう思わない(1点)	2	0.02	

在学生対象・学修状況アンケート集計結果					徳島文理大学
実施年度	2024年度後期		対象	大学全体	
対象者数	3742	回答数	1952	回答率(%)	52.2
2) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください〔複数選択可〕					
設問			回答数	選択率	
専門的な勉強			1698	0.87	
基礎的な勉強（語学やプレゼンスキルなど）			1014	0.52	
最先端の研究			304	0.16	
資格や免許の取得			1213	0.62	
社会貢献（ボランティアなど）			310	0.16	
自由な時間を楽しむ（旅行や読書、芸術活動など）			1065	0.55	
学友との交流（サークル活動を含む）			684	0.35	
起業などのビジネス			56	0.03	
スポーツやトレーニング			233	0.12	
その他			7	0.00	
3) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください〔必須〕					
設問			回答数	比率	加重平均
30分未満(0点)			387	0.20	1.54
30分～1時間(1点)			674	0.35	
1時間～2時間(2点)			525	0.27	
2時間～3時間(3点)			187	0.10	
3時間以上(4点)			179	0.09	
4) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか〔必須〕					
設問			回答数	比率	加重平均
増加した(1点)			753	0.39	0.25
変わらない(0点)			943	0.48	
減少した(-1点)			256	0.13	
5) いま、あなたの卒業後の具体的な目標（夢）が言えますか〔必須〕					
設問			回答数	比率	加重平均
言える(1点)			1226	0.63	0.63
言えない(0点)			726	0.37	
6) この一年間、学修に対するモチベーション（学修意欲）はありましたか〔必須〕					
設問			回答数	比率	加重平均
あった(3点)			612	0.31	2.09
どちらかといえばあった(2点)			986	0.51	
どちらかといえばあった(1点)			280	0.14	
なかった(0点)			74	0.04	
7) 学内に気軽に相談できる友人や教職員がいますか〔必須〕					
設問			回答数	比率	加重平均
いる(1点)			1759	0.90	0.90
いない(0点)			193	0.10	

8) この一年間、大学で授業を受けたくないと思ったことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
あった(1点)	1086	0.56	0.56
なかった(0点)	866	0.44	

9) この一年間、将来のあなたに役立ちそうな何か新しい挑戦をしましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
新しい挑戦をした(1点)	1209	0.62	0.62
新しい挑戦をしていない(0点)	743	0.38	

10) あなたはストレスに強いですか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	234	0.12	2.84
ややそう思う(4点)	431	0.22	
どちらでもない(3点)	422	0.22	
あまりそう思わない(2点)	527	0.27	
そう思わない(1点)	338	0.17	

11) あなたは自分をコントロールするよりも、信頼できる誰かにコントロールされる方がいい [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	221	0.11	2.86
ややそう思う(4点)	422	0.22	
どちらでもない(3点)	521	0.27	
あまりそう思わない(2点)	442	0.23	
そう思わない(1点)	346	0.18	

12) スマホやPCの一日あたりの平均的な利用時間（学修を含まない）を選択してください [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
30分未満(0点)	49	0.03	1.90
30分～1時間(1点)	94	0.05	
1時間～2時間(2点)	387	0.20	
2時間～3時間(3点)	503	0.26	
3時間以上(4点)	919	0.47	

《授業・教育課程について》			
13) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	418	0.21	3.31
ややそう思う(4点)	483	0.25	
どちらでもない(3点)	507	0.26	
あまりそう思わない(2点)	365	0.19	
そう思わない(1点)	179	0.09	

14) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	612	0.31	3.87
ややそう思う(4点)	767	0.39	
どちらでもない(3点)	334	0.17	
あまりそう思わない(2点)	177	0.09	
そう思わない(1点)	62	0.03	

15) この一年間に受講した授業は興味深い（有益と感じられた）ものでしたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	763	0.39	4.19
ややそう思う(4点)	894	0.46	
どちらでもない(3点)	225	0.12	
あまりそう思わない(2点)	52	0.03	
そう思わない(1点)	18	0.01	

16) あなたは授業でわからないことや宿題などをひとりで学修することができますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	634	0.32	3.88
ややそう思う(4点)	774	0.40	
どちらでもない(3点)	272	0.14	
あまりそう思わない(2点)	215	0.11	
そう思わない(1点)	57	0.03	

17) あなたは集団で学修するより、ひとりで学修する方が好きですか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	528	0.27	3.61
ややそう思う(4点)	566	0.29	
どちらでもない(3点)	518	0.27	
あまりそう思わない(2点)	257	0.13	
そう思わない(1点)	83	0.04	

18) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	1389	0.71	0.71
したことがない(0点)	563	0.29	

19) この一年間、授業以外の学修活動（講演会、補習など）に自主的に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	776	0.40	0.40
参加していない(0点)	1176	0.60	

《総合評価》			
20) この一年間に本学で体験したこと（学修や課外活動など）に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	648	0.33	4.07
ややそう思う(4点)	902	0.46	
どちらでもない(3点)	316	0.16	
あまりそう思わない(2点)	60	0.03	
そう思わない(1点)	26	0.01	

21) この一年間であなたは自分自身の成長を感じていますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	700	0.36	3.99
ややそう思う(4点)	789	0.40	
どちらでもない(3点)	273	0.14	
あまりそう思わない(2点)	128	0.07	
そう思わない(1点)	62	0.03	

2024年度 卒業生対象大学生生活満足度アンケート集計結果										短期大学部（全体）	
性別	男性	女性		在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上	対象者数	62
	2	56			61	0	0	0	0	回答数	61
卒業後の進路	就職	進学	未定		あなたの成績について 一番多かったのは		優	良	可	回答率(%)	98.4
	51	6	4				23	31	7		

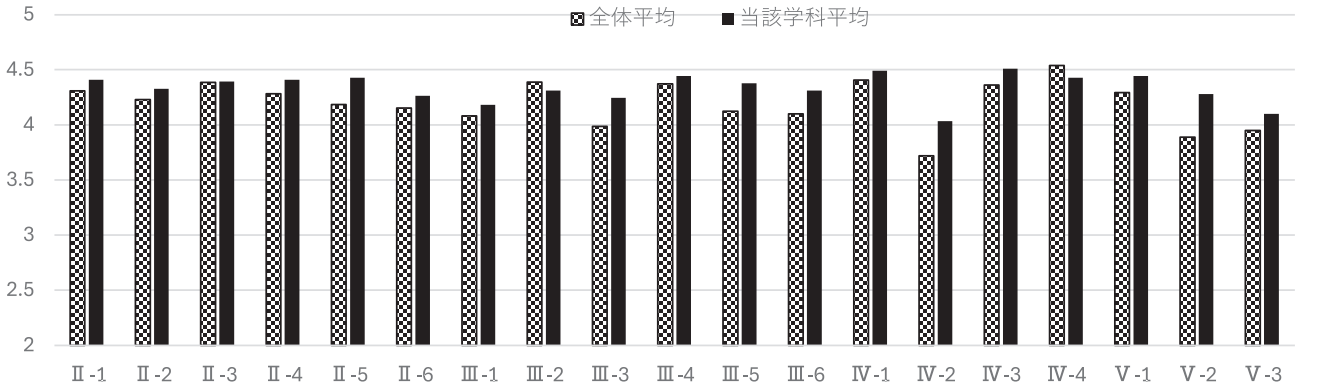
Ⅱ. 授業・教育課程について（全体として）							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	33	20	8	0	0	4.41
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	29	24	7	1	0	4.33
3	専門的な知識や技能（免許・資格を含む）を修得できましたか	36	15	8	2	0	4.39
4	教育に対する熱意は感じられましたか	36	14	11	0	0	4.41
5	授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか	36	15	10	0	0	4.43
6	課題（宿題やレポートなど）の量は適切でしたか	29	19	13	0	0	4.26

Ⅲ. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします（全体として）							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	30	17	11	1	2	4.18
2	図書館は利用しやすかったですか	33	17	9	1	1	4.31
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	33	15	9	3	1	4.25
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	36	17	7	1	0	4.44
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	36	17	5	1	2	4.38
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	32	20	6	2	1	4.31

Ⅳ. キャンパスライフについてお尋ねします							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	38	15	8	0	0	4.49
2	課外活動（部活やイベントなど）に満足しましたか	26	15	17	2	1	4.03
3	頼りになる教員に出会えましたか	39	14	8	0	0	4.51
4	よき友と出会えましたか	37	15	7	2	0	4.43

Ⅴ. 総合評価をお願いします							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	37	15	8	1	0	4.44
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	32	18	8	2	1	4.28
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	29	16	11	3	2	4.10

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)



2024年度 卒業予定者対象大学生生活満足度アンケート集計結果										大学全体	
性別	男性	女性		在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上	対象者数	886
	268	460			85	587	79	2	1	回答数	754
卒業後の進路	就職	進学	未定		あなたの成績について一番多かったのは		優	良	可	回答率(%)	85.1
	268	460	26				332	314	108		

Ⅱ. 授業・教育課程について（全体として）							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	358	300	73	16	7	4.31
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	314	326	93	15	6	4.23
3	専門的な知識や技能（免許・資格を含む）を修得できましたか	410	256	66	12	10	4.38
4	教育に対する熱意は感じられましたか	358	284	86	18	8	4.28
5	授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか	349	252	109	30	14	4.18
6	課題（宿題やレポートなど）の量は適切でしたか	320	272	123	34	5	4.15

Ⅲ. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします（全体として）							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	321	251	124	39	19	4.08
2	図書館は利用しやすかったですか	437	206	85	19	7	4.39
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	326	220	112	64	32	3.99
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	398	266	66	21	3	4.37
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	375	218	76	49	36	4.12
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	322	265	112	30	25	4.10

Ⅳ. キャンパスライフについてお尋ねします							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	433	230	64	19	8	4.41
2	課外活動（部活やイベントなど）に満足しましたか	252	200	192	58	52	3.72
3	頼りになる教員に出会えましたか	445	187	87	20	15	4.36
4	よき友と出会えましたか	530	145	48	16	15	4.54

Ⅴ. 総合評価をお願いします							
No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	388	249	85	14	18	4.29
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	280	228	168	38	40	3.89
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	279	258	149	36	32	3.95

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)

